

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Jブロック】

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
J	音楽	合唱	びわ湖ホール声楽アンサンブル	○	○	○	○	歌い継ぎたい 美しい日本のうた	◆オープニング 故郷(ふるさと) (唱歌) 作詞:高野辰之 作曲:岡野貞一 ◆校歌 各校校歌演奏 ◆歌詞に込められた思いを感じてみよう 世界に一つだけの花(J-POP/SMAP) 等 ◆歌唱指導 校歌、Believeまたは参加校希望曲 *演奏曲は各校のリクエストにも対応いたします。	
J	音楽	オーケストラ等	公益財団法人九州交響楽団	○	○	○	○	『情景描写』 ～作曲家や演奏者が楽器を使って何を伝えようとしているのでしょうか情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう～	1. ロッシーニ/『ウィリアム・テル』序曲より スイス軍の行進 2. 山下康介/『楽器紹介(仮題)』 3. 小山清茂/管弦楽のための木挽歌 4. 指揮者体験コーナー ♪小学校…ピゼー/歌劇『カルメン』より 前奏曲の一部分、 中学校…ブラームス/ハンガリー舞曲 第5番の一部分、5. オーケストラと演奏しよう『太鼓の名人』♪ ヴェルディ/『レクイエム』より 怒りの日の冒頭部分 6. 西田猛子構成 グリーグ/音楽物語「ペール・ギュント」、E.C.1.オーケストラ演奏で校歌を合唱♪等	
J	音楽	オーケストラ等	京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	○	「魅力発見！オーケストラは楽しい」	●ピゼー作曲/カルメン「前奏曲」 ●ベートーヴェン作曲/交響曲第5番「運命」より第一楽章 ●パッハ/グノー作曲/アベマリア(ソプラノ独唱) ●オーケストラと共演*ケテルビー作曲/ベルシャの市場にて ★指揮者体験コーナー*ブラームス作曲/ハンガリー舞曲 ●ロージャース作曲/サウンド・オブ・ミュージックより(メソソプラノ独唱)[アンコール] ヨハン・シュトラウスII作曲/ラテンキー行進曲 等	
J	演劇	児童劇	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	○	○	○	-	座・高円寺レパートリー『ピン・ボン』	『ピン・ボン』 構成・演出 佐藤信 美術・演出 tuperu tuperu (ツペラ ツペラ/亀山達矢、中川敦子) 振付・演出 竹屋啓子 音楽 磯田取 照明プラン 横原由祐 音響プラン 島猛 衣裳 STORE	
J	演劇	児童劇	劇団風の子九州	○	○	○	-	空想力は生きる力！「このゆびと～まれ！」公演	「やだ、やだ あっかんべー！」 作・演出/あさのゆみこ 音楽・効果/曲尾友克 美術/あさのゆみこ	
J	演劇	演劇	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	○	○	○	○	座・高円寺レパートリー『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』	『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』 原作:宮沢賢治 上演台本:佃典彦 演出:西沢栄治 美術:長田佳代子 振付:神在ひろみ 音楽:園田容子 照明プラン:横原由祐 音響プラン:島猛 衣裳:仲村祐紀子	
J	演劇	ミュージカル	演劇集団遊芸社	○	○	○	-	音楽劇『インソップランドの動物たち』	音楽劇『インソップランドの動物たち』 原作/インソップ寓話 構成・演出/関矢幸雄 音楽・演奏指導/Thema Tana(テン・バナ) 美術/中地智 照明/佐久間巨照 衣装/本田朋子 演出補/花輪充 制作/田辺慶一	
J	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団	○	○	○	○	～韋駄天(いだてん)が大活躍の古典ファンタジー～ 絵本語りとともに楽しむ 能「舍利(しやり)」～	■能「舍利」	R3 (新規)
J	伝統芸能	邦楽	東京打撃団(和太鼓)	○	○	○	○	和太鼓 東京打撃団公演	1) 萬来[富田和明/作曲] 2) 焔迅[横山亮介/作曲] 3) 輪[露木一博/作曲] 4) 空透彩[内藤哲郎/作曲]小学校の場合は「お馴染みの曲のコーナー」 5) X[高田淳/作曲] 6) 《日本の伝統的な祭りの太鼓打法の紹介》(太鼓体験/発表コーナー) 7) 碧空[村山二朗/作曲] 8) 大太鼓[加藤拓哉/作曲] 9) 篠笛独奏[村山二朗/作曲]～華疾風[加藤拓哉/作曲]	

【C区分団体】

G・H・I・J	音楽	オーケストラ等	京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	-	夢いっばいコンサート	■ウィリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」/ロッシーニ作曲 ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲 ■すいすいずっばい(童謡/大智五重奏) ■人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より(歌)/オッフエン(バック)作曲 ■「アルルの女」よりメヌエット、フランドール/ピゼー 作曲 ■校歌をオーケストラ演奏で歌おう♪ ■ベストセレクション/ケーン作曲 ■交響詩「魔法使いの弟子」(ナレーション付)/デュカ作曲 等	
H・I・J	音楽	音楽劇	ミラマール・オペラ	○	○	○	○	オペラ「おんじょうり」 命と叫びかけの大切さを知るために	オペラ「おんじょうり」 作曲 神光 原作 さねとうあきら 台本 若林一郎 演出 三浦安浩 振付 三浦安浩	
G・H・I・J	演劇	児童劇	劇団風の子九州	○	○	○	-	「あっかんべー！」は勇気の言葉 「やだ、やだ あっかんべー！」公演	「やだ、やだ あっかんべー！」 作・演出/あさのゆみこ 音楽・効果/曲尾友克 美術/あさのゆみこ	
H・I・J	演劇	ミュージカル	劇団ショーマンシップ	○	○	○	-	笑って！泣いて！心揺さぶる物語を子供たちへ	『ないたまおに』 原作:浜田廣介 脚色・演出:仲谷一志 音楽:山浦弘志 振付:近藤真人 制作総指揮:仲谷一志	
G・I・J	舞踊	バレエ	谷穂子バレエ団	○	○	○	○	チャイコフスキー三大バレエの世界	白鳥の湖、眠れる森の美女、くるみ割り人形 作曲/ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 脚本/演出/振付 高部尚子	
G・H・I・J	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人京都能楽囃子大同明会	○	○	○	○	囃子堂 音楽として聴く能	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・演シ) 6. 三番三共演 7. 神楽 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー	
I・J	伝統芸能	邦楽	オーラ	○	○	○	○	日本の自然と音 ～尺八～	■楽器の解説(尺八・篠笛・能管・能篋などを紹介) ■能の造音 古典(解説) ■能の楽種 古典(解説) ■子供のためのポップスメロ ■ソネット(I-Vより) 三木稔 作曲 ■Doldrums IIIb ～尺八と聴衆のための協奏曲～ 山本和智 作曲	
I・J	伝統芸能	演芸	「笑てっ亭」上方落語と英語落語	○	○	○	○	「笑てっ亭」上方落語と英語落語	●落語の解説 ●英語落語「寿屋敷」等 ●英語落語「動物園」等 ●上方落語チャレンジ(体験コーナー)	
I・J	伝統芸能	演芸	落語と紙切り	○	○	○	○	落語と紙切り	●寄席入門 ●紙切り ●落語 ●紙切り大集り ●紙工劇落語「牛ほめ」など	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については、実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し、文化庁(事務局)、実施団体、実施校間において、必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため、各企画の出演希望調査では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から、「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomojijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

	A・B区分団体								
	J105	J209	J242	J420	J426	J524	J614	J916	J1106
	びわ湖ホール芦屋 アンサンブル	公益財団法人 九州交響楽団	京都フィルハーモニー 室内楽団	特定非営利活動法人 劇団新緑ネットワーク	劇団風の子九州	特定非営利活動法人 新緑ネットワーク	演劇集団芸術社	公益財団法人 片山家音楽・ 歌舞保存財団	東京打撃団 (肥太鼓)
巡回プロダクション	J	J	J	J	J	J	J	J	J
新団体の有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
6月1日									
6月2日									
6月3日									
6月4日									
6月5日									
6月6日									
6月7日									
6月8日									
6月9日									
6月10日									
6月11日									
6月12日									
6月13日									
6月14日									
6月15日									
6月16日									
6月17日									
6月18日									
6月19日									
6月20日									
6月21日									
6月22日									
6月23日									
6月24日									
6月25日									
6月26日									
6月27日									
6月28日									
6月29日									
6月30日									
7月1日									
7月2日									
7月3日									
7月4日									
7月5日									
7月6日									
7月7日									
7月8日									
7月9日									
7月10日									
7月11日									
7月12日									
7月13日									
7月14日									
7月15日									
7月16日									
7月17日									
7月18日									
7月19日									
7月20日									
7月21日									
7月22日									
7月23日									
7月24日									
7月25日									
7月26日									
7月27日									
7月28日									
7月29日									
7月30日									
7月31日									
8月1日									
8月2日									
8月3日									
8月4日									
8月5日									
8月6日									
8月7日									
8月8日									
8月9日									
8月10日									
8月11日									
8月12日									
8月13日									
8月14日									
8月15日									
8月16日									
8月17日									
8月18日									
8月19日									
8月20日									
8月21日									
8月22日									
8月23日									
8月24日									
8月25日									
8月26日									
8月27日									
8月28日									
8月29日									
8月30日									
8月31日									
9月1日									
9月2日									
9月3日									
9月4日									
9月5日									
9月6日									
9月7日									
9月8日									
9月9日									
9月10日									
9月11日									
9月12日									
9月13日									
9月14日									
9月15日									
9月16日									
9月17日									
9月18日									
9月19日									

	C区分団体								
	K263	K316	K442	K621	K711	K940	K1132	K1329	K1330
	舞臺フィルムハーモニ 室内楽団	ミラマール・オペラ	劇団風の子九州	劇団シェンシップ	谷橋子バレエ団	一般社団法人 京都能楽電子方 明眸会	「笑でっす」 上方落語と実演落語	落語と紙切り	
G/H/I/J	G/H/I/J	H/I/J	G/H/I/J	H/I/J	G/I/J	G/H/I/J	I/J	I/J	I/J
オーケストラ等	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
6月1日									
6月2日									
6月3日									
6月4日									
6月5日									
6月6日									
6月7日									
6月8日									
6月9日									
6月10日									
6月11日									
6月12日									
6月13日									
6月14日									
6月15日									
6月16日									
6月17日									
6月18日									
6月19日									
6月20日									
6月21日									
6月22日									
6月23日									
6月24日									
6月25日									
6月26日									
6月27日									
6月28日									
6月29日									
6月30日									
7月1日									
7月2日									
7月3日									
7月4日									
7月5日									
7月6日									
7月7日									
7月8日									
7月9日									
7月10日									
7月11日									
7月12日									
7月13日									
7月14日									
7月15日									
7月16日									
7月17日									
7月18日									
7月19日									
7月20日									
7月21日									
7月22日									
7月23日									
7月24日									
7月25日									
7月26日									
7月27日									
7月28日									
7月29日									
7月30日									
7月31日									
8月1日									
8月2日									
8月3日									
8月4日									
8月5日									
8月6日									
8月7日									
8月8日									
8月9日									
8月10日									
8月11日									
8月12日									
8月13日									
8月14日									
8月15日									
8月16日									
8月17日									
8月18日									
8月19日									
8月20日									
8月21日									
8月22日									
8月23日									
8月24日									
8月25日									
8月26日									
8月27日									
8月28日									
8月29日									
8月30日									
8月31日									
9月1日									
9月2日									
9月3日									
9月4日									
9月5日									
9月6日									
9月7日									
9月8日									
9月9日									
9月10日									
9月11日									
9月12日									
9月13日									
9月14日									
9月15日									
9月16日									
9月17日									
9月18日									
9月19日									

通園ロケーション	A・B区分団体								
	J105	J209	J242	J420	J426	J524	J614	J916	J1106
	びわ湖ホール芦屋 アンサンブル	公益財団法人 九州交響楽団	京都フィルハーモニー 室内楽団	特定非営利活動法人 劇団旗の子九州	劇団旗の子九州	特定非営利活動法人 新編旗の子九州	演劇集団芸術家	公益財団法人 片山家音楽・ 京舞保存財団	東京打撃団 (祝太鼓)
通園ロケーション	J	J	J	J	J	J	J	J	J
前日休みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
9月20日 月									
9月21日 火									
9月22日 水									
9月23日 木									
9月24日 金									
9月25日 土									
9月26日 日									
9月27日 月									
9月28日 火									
9月29日 水									
9月30日 木									
10月1日 金									
10月2日 土									
10月3日 日									
10月4日 月									
10月5日 火									
10月6日 水									
10月7日 木									
10月8日 金									
10月9日 土									
10月10日 日									
10月11日 月									
10月12日 火									
10月13日 水									
10月14日 木									
10月15日 金									
10月16日 土									
10月17日 日									
10月18日 月									
10月19日 火									
10月20日 水									
10月21日 木									
10月22日 金									
10月23日 土									
10月24日 日									
10月25日 月									
10月26日 火									
10月27日 水									
10月28日 木									
10月29日 金									
10月30日 土									
10月31日 日									
11月1日 月									
11月2日 火									
11月3日 水									
11月4日 木									
11月5日 金									
11月6日 土									
11月7日 日									
11月8日 月									
11月9日 火									
11月10日 水									
11月11日 木									
11月12日 金									
11月13日 土									
11月14日 日									
11月15日 月									
11月16日 火									
11月17日 水									
11月18日 木									
11月19日 金									
11月20日 土									
11月21日 日									
11月22日 月									
11月23日 火									
11月24日 水									
11月25日 木									
11月26日 金									
11月27日 土									
11月28日 日									
11月29日 月									
11月30日 火									
12月1日 水									
12月2日 木									
12月3日 金									
12月4日 土									
12月5日 日									
12月6日 月									
12月7日 火									
12月8日 水									
12月9日 木									
12月10日 金									
12月11日 土									
12月12日 日									
12月13日 月									
12月14日 火									
12月15日 水									
12月16日 木									
12月17日 金									
12月18日 土									
12月19日 日									
12月20日 月									
12月21日 火									
12月22日 水									
12月23日 木									
12月24日 金									
12月25日 土									
12月26日 日									
12月27日 月									
12月28日 火									
12月29日 水									
12月30日 木									
12月31日 金									
1月1日 土									
1月2日 日									
1月3日 月									
1月4日 火									
1月5日 水									
1月6日 木									
1月7日 金									
1月8日 土									
1月9日 日									
1月10日 月									
1月11日 火									
1月12日 水									
1月13日 木									
1月14日 金									
1月15日 土									
1月16日 日									
1月17日 月									
1月18日 火									
1月19日 水									
1月20日 木									
1月21日 金									
1月22日 土									
1月23日 日									
1月24日 月									
1月25日 火									
1月26日 水									
1月27日 木									
1月28日 金									
1月29日 土									
1月30日 日									
1月31日 月									

通園ロケーション	C区分団体								
	K263	K316	K442	K621	K711	K940	K1132	K1329	K1330
	京都フィルハーモニー 室内楽団	ミラマール・オペラ	劇団旗の子九州	劇団シューマンシップ	谷橋子バレエ団	一般社団法人 京都音楽電子方 円協会	「長くて平」 上方落語と英語落語	落語と紙切り	
通園ロケーション	J	J	J	J	J	J	J	J	J
前日休みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
9月20日 月									
9月21日 火									
9月22日 水									
9月23日 木									
9月24日 金									
9月25日 土									
9月26日 日									
9月27日 月									
9月28日 火									
9月29日 水									
9月30日 木									
10月1日 金									
10月2日 土									
10月3日 日									
10月4日 月									
10月5日 火									
10月6日 水									
10月7日 木									
10月8日 金									
10月9日 土									
10月10日 日									
10月11日 月									
10月12日 火									
10月13日 水									
10月14日 木									
10月15日 金									
10月16日 土									
10月17日 日									
10月18日 月									
10月19日 火									
10月20日 水									
10月21日 木									
10月22日 金									
10月23日 土									
10月24日 日									
10月25日 月									
10月26日 火									
10月27日 水									
10月28日 木									
10月29日 金									
10月30日 土									

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	コウエキザイダンホウジン ビワコゲイジュツブンカザイダン ----- 公益財団法人びわ湖芸術文化財団		
代表者職・氏名	理事長 山中 隆		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15-1 (京阪電車 石場駅/JR 膳所駅、JR 大津駅)		
電話番号	077-523-7133	FAX番号	077-523-7147
ふりがな 公演団体名	ビワコホールセイガクアンサンブル ----- びわ湖ホール声楽アンサンブル		
代表者職・氏名	監修・びわ湖ホール芸術監督 沼尻竜典		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 同上		
制作団体 設立年月	1996年4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:山中 隆 常務理事:太田喜之 業務担当理事:竹村憲男 理事:岡田修二、大道良夫、佐藤健司 中谷 満、仲間裕子、西井清春 藤野一夫、本田啓子、森西真弓 監事:清水一記、田端克行	理事長兼館長 1人 専任職員(プロパー) 43人 嘱託職員 6人 声楽アンサンブル※ 14人	県派遣職員 7人 期間職員 25人 臨時職員 2人 合計 98人
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	有田 淳
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	太田喜之

※加入条件:音楽大学卒業以上または同等の能力を有する者で満30歳以下の者。またはびわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーとしての在籍期間が3年を満了する者。

制作団体沿革	1996年4月 財団法人びわ湖ホール設立 1998年3月 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール竣工、同年9月開館 2006年4月 指定管理者指定(5年間) 2011年4月 公益財団法人に移行、指定管理者指定(2期目、5年間) 2016年4月 指定管理者指定(3期目、5年間) 2017年4月 公益財団法人びわ湖芸術文化財団に名称変更(財団統合)		
学校等における公演実績	<p>◆オペラ「泣いた赤鬼」 浜田廣介原作、松井和彦作曲 子供向けオペラ「泣いた赤鬼」をびわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーがソリストを務めて上演しています。</p> <p>2009年度 4公演 びわ湖ホール中ホール(2公演)、長浜文化芸術会館しが県民芸術創造館</p> <p>2010年度 2公演 日野町民会館わたむきホール虹、伊吹葉草の里文化センター</p> <p>2011年度 4公演 高島市民会館、藤樹の里文化芸術会館(2公演)、ガリバーホール</p> <p>2012年度 4公演 さざなみホール、野洲文化ホール、リュートプラザ(2公演)</p> <p>2013年度 3公演 守山市民ホール、びわ湖ホール中ホール(2公演)</p> <p>2015年度 4公演 茨木市クワイエットセンター(2公演)、豊栄のさと、守山市民ホール</p> <p>2019年度 12公演 令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業(Gブロック) 11公演 滋賀県内小学校・文化会館巡回公演</p> <p>◆学校巡回公演(音楽鑑賞) 県内の学校に出かけて、約1時間の本格的な音楽公演を体育館等で行っています。 2001年度から2019年度までのべ 182 校 49,646 人の児童が鑑賞。</p> <p>◆ふれあい音楽教室(小学校中学年～高学年) 声楽アンサンブルのメンバー2人とピアニストが小学校の音楽の授業に出かけ、ミニコンサートや合唱指導を行います。 2001年度から2019年度までのべ 258 校 17,831 人の児童が鑑賞。</p> <p>◆びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう! 県内の学校を対象としたオーケストラ公演を実施し、生の音楽と劇場の魅力を伝えます。オーケストラは、日本を代表する楽団である京都市交響楽団の協力を得ています。 2011年度から2019年度までのべ 830 校 62,040 人の児童が鑑賞。</p> <p>◆文化芸術による子供育成総合事業 2019年度 12公演 Gブロック 子供向けオペラ「泣いた赤鬼」 令和元年度は音楽劇(オペラ)で受託しました。マイクを通さないオペラ歌手の歌声の迫力と、本格的な美術・照明・衣裳の舞台効果はどの学校からも大変好評でした。</p> <p>このほか、学校からの依頼に応じて、芸術鑑賞公演を企画・実施しています。</p>		
特別支援学校における公演実績	「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」にて特別支援学校の参加を受け入れています。 2011年度から2019年度までのべ 66 校 2,367 名が鑑賞。 <p>◆文化芸術による子供育成総合事業 2019年度 2校 Gブロック 子供向けオペラ「泣いた赤鬼」 オペラ歌手の生の歌声の迫力と、本格的な美術・照明・衣裳の舞台効果、親しみやすい物語で、子供たちの五感に訴えかけました。「とてもよかった。ここ数年で一番。児童・生徒もいい反応だった。来年も来てほしい」と学校からも大変好評でした。</p>		
参考資料の有無	A Aの提出が困難な場合	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ID: PW: <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 https://youtu.be/FGbll9h8Zgo ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 びわ湖ホール声楽アンサンブル】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生												
企画名	歌い継ぎたい 美しい日本のうた												
本公演演目	びわ湖ホール声楽アンサンブル「歌い継ぎたい 美しい日本のうた」特別プログラム 公演時間(80分*) *感染症対策により密集・密接を防ぐ必要がある場合は、文化庁と相談のうえ柔軟に対応いたします。												
著作権	制作団体が所有	○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無										
演目概要	<p>私たちには、日本の美しい自然と情景、そしてそこに暮らす人々のきめ細やかな心情として歌い継がれてきた日本の心の歌があります。懐かしい原風景を思い起こさせてくれる童謡や唱歌は、世代を超えていつの時代にも愛されてきました。また、その心を受け継いで生まれてくる新しい日本の歌や、時代を映して人々の心に寄り添う歌も、きっと後世に歌い継がれていくことでしょう。そんな次世代に歌い継いでいきたい美しい日本のうたを、みなさんの心に届けます。</p> <p>◆オープニング ふるさと(唱歌/作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一)</p> <p>◆校歌 各校校歌演奏</p> <p>◆声の特徴を聴いてみよう ほたるこい(童謡/女声合唱) 箱根八里(唱歌/作詞：鳥居 枕 作曲：滝 廉太郎/男声合唱) 荒城の月(唱歌/作詞：土井晩翠 作曲：滝 廉太郎)</p> <p>◆日本の四季 唱歌メドレー “さくら～鯉のぼり～ちいさい秋みつけた～雪”</p> <p>◆歌詞に込められた思いを感じてみよう 世界に一つだけの花(J-POP/SMAP)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ともだちになるために(童謡/手話付き)</td> <td>花は咲く(東日本大震災復興支援ソング)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ふるさと(J-POP/嵐-ARASHI-)</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆歌唱指導 校歌、Believe または参加校希望曲</p> <p>◆合同演奏 Believe(合唱曲/作詞・作曲：杉本竜一) または参加校希望曲</p> <p>◆アンコール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>となりのトトロ (ジブリ映画「となりのトトロ」より)</td> <td>フニクリ・フニクラ～鬼のパンツ</td> </tr> </tbody> </table> <p>*演奏曲は各校のリクエストにも対応いたします。</p>			小学校	中学校	ともだちになるために(童謡/手話付き)	花は咲く(東日本大震災復興支援ソング)	ふるさと(J-POP/嵐-ARASHI-)		小学校	中学校	となりのトトロ (ジブリ映画「となりのトトロ」より)	フニクリ・フニクラ～鬼のパンツ
小学校	中学校												
ともだちになるために(童謡/手話付き)	花は咲く(東日本大震災復興支援ソング)												
ふるさと(J-POP/嵐-ARASHI-)													
小学校	中学校												
となりのトトロ (ジブリ映画「となりのトトロ」より)	フニクリ・フニクラ～鬼のパンツ												

<p>演目選択理由</p>	<p>声楽は自分の体が楽器であり、人は誰もがそれぞれ個性ある楽器を持ち合わせています。それは子供たちも同じです。自分の体を楽器として音楽を奏でること、勉強やスポーツのように、鍛錬すれば美しい歌声を響かせられることを本企画をとおして体験していただきます。</p> <p>また、歌には他の楽器と違って言葉があり、言葉を音楽にのせて思いを伝えられることが歌の大きな特徴です。磨き上げられたプロの声楽家の演奏をとおして、歌詞に込められた思いや言葉の力を子供たちに感じていただきます。また、そこで感じたことを自分なりに表現できるよう、プロの声楽家と一緒に歌っていただきます。</p> <p>日本の原風景を思い起こさせてくれる童謡・唱歌の魅力を感じていただき、これからも末永く次世代に歌い継がれるようプログラムを選定しました。</p> <p>演奏は、一人ひとりがオペラやコンサートのソリストとして活躍している歌手8人のアンサンブルでお届けします。一人ひとりの声を際立たせたり、溶け合ったハーモニーの美しさを聴いていただいたり、アンサンブルならではの声の魅力を存分に感じていただきます。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>各学校独自の歌であり、普段から歌い慣れている校歌を題材に、より一層充実した演奏ができる指導を行います。</p> <p>また、合同演奏として、全学年で歌いやすい Believe や各学校の希望に応じた曲の歌唱指導を行い、子供たちの近くで一緒に歌います。プロの声楽家と身近で一緒に歌うことをとおして、歌へのさらなる興味関心を喚起します。</p>		
<p>出演者</p>	<p><u>びわ湖ホール声楽アンサンブル</u></p> <p>びわ湖ホール独自の創造活動の核としてホール開館の1998年に設立。全国から厳しいオーディションで選ばれた劇場専属の声楽家集団として、びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動とし、オペラ公演のみならず多岐にわたる声楽曲に取り組んでいる。依頼を受けて国内各地での公演にも出演するほか、滋賀県内の学校を対象とした公演を行うなど、音楽の普及活動にも積極的に取り組んでいる。2013年第26回大津市文化賞、17年第42回滋賀県文化賞受賞。</p> <p>監修: 沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督) 名誉指揮者: 田中信昭 桂冠指揮者: 本山秀毅 指揮者: 大川修司 2020年度 専属メンバー: 14人 登録メンバー: 61人</p> <p>・専属メンバー 熊谷綾乃、船越亜弥、山田知加、 阪法子、阿部奈緒、上木愛李、藤居知佳子 谷口耕平、蔦谷明夫、坂東達也、宮城朝陽、市川敏雅、平 欣史、美代開太</p> <p>・登録メンバー 飯嶋幸子、岩川亮子、上田祥子、江藤美保、大川 繭、大垣加代子、基村昌代 熊本裕子、栗原未和、黒澤明子、黒田恵美、小林あすき、小林久美子、佐藤路子 嶋田友里恵、清水芳子、白根亜紀、鈴木 望、田島茂代、田中千佳子、谷村由美子 中嶋康子、林 育子、日比直美、平尾 悠、藤村江李奈、本田華奈子、益田早織 松下美奈子、溝越美詩、森 季子、山際きみ佳、吉川秋穂、渡辺玲美 相沢 創、青柳貴夫、内山建人、梅原光洋、角地正範、川野貴之、菊田隼平、河野知久 五島真澄、島影聖人、清水徹太郎、下岡輝永、砂場拓也、竹内公一、竹内直紀 津國直樹、林 隆史、古屋彰久、増田貴寛、松本 晃、松森 治、的場正剛、宮城島 康 迎 肇聡、安田旺司、山本哲也、山本康寛</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 10名 スタッフ: 2名 合計: 12名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>*運搬車両なし (出演者・スタッフ 移動用車両のみ)</p>

【公演団体名 びわ湖ホール声楽アンサンブル】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ <input type="checkbox"/>) 会場設営の所要時間(1時間程度)					
	到着	リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
	10:30	11:00~12:00	13:00~14:20	10分	14:30~15:00	15:00
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	クラス毎 ~ 100名程度まで				
	本公演	1,000名程度までの会場規模が適当				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>◆ワークショップ「ふれあい音楽教室」</p> <p>歌手2人とピアニスト1人が学校に赴き、ミニコンサートや歌唱指導などの実演を交えて、「歌」全般についてわかりやすい授業を行います。また、本公演で行う合同演奏や歌詞についての事前指導を行い、理解を深めて公演当日への期待を膨らませます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノのある部屋(音楽室等)で実施、電子ピアノでも可 ・1回45分~60分程度、2学年毎などおよそ100名程度まで(いずれも応相談) ・1日3回まで実施可能 					
ワークショップ 実施形態の意図	歌い継がれてきた日本の歌の美しさ、日本語の響きの美しさを、少人数の歌手が授業形式で紹介することで、本公演への興味をより一層引き立てます。また、歌を職業とするプロの歌手が身近に子供たちと直接触れ合い、普段の授業にも活きる歌い方の指導を行うことで、歌や歌うことへの関心を高め、公演当日に親しみを持って鑑賞できると考えます。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	これまでに特別支援学校に向けて積極的に事業展開をしてきた実績があり、各学校の実情に合わせて柔軟に対応します。ワークショップについては、基本的には同じ内容で実施可能ですが、特別な配慮や事情がある児童・生徒に合わせて、内容を提案して学校側と相談します。聴覚障害のある児童・生徒にも視覚的に楽しめる工夫を凝らすなど、有意義なワークショップとなるよう努めます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

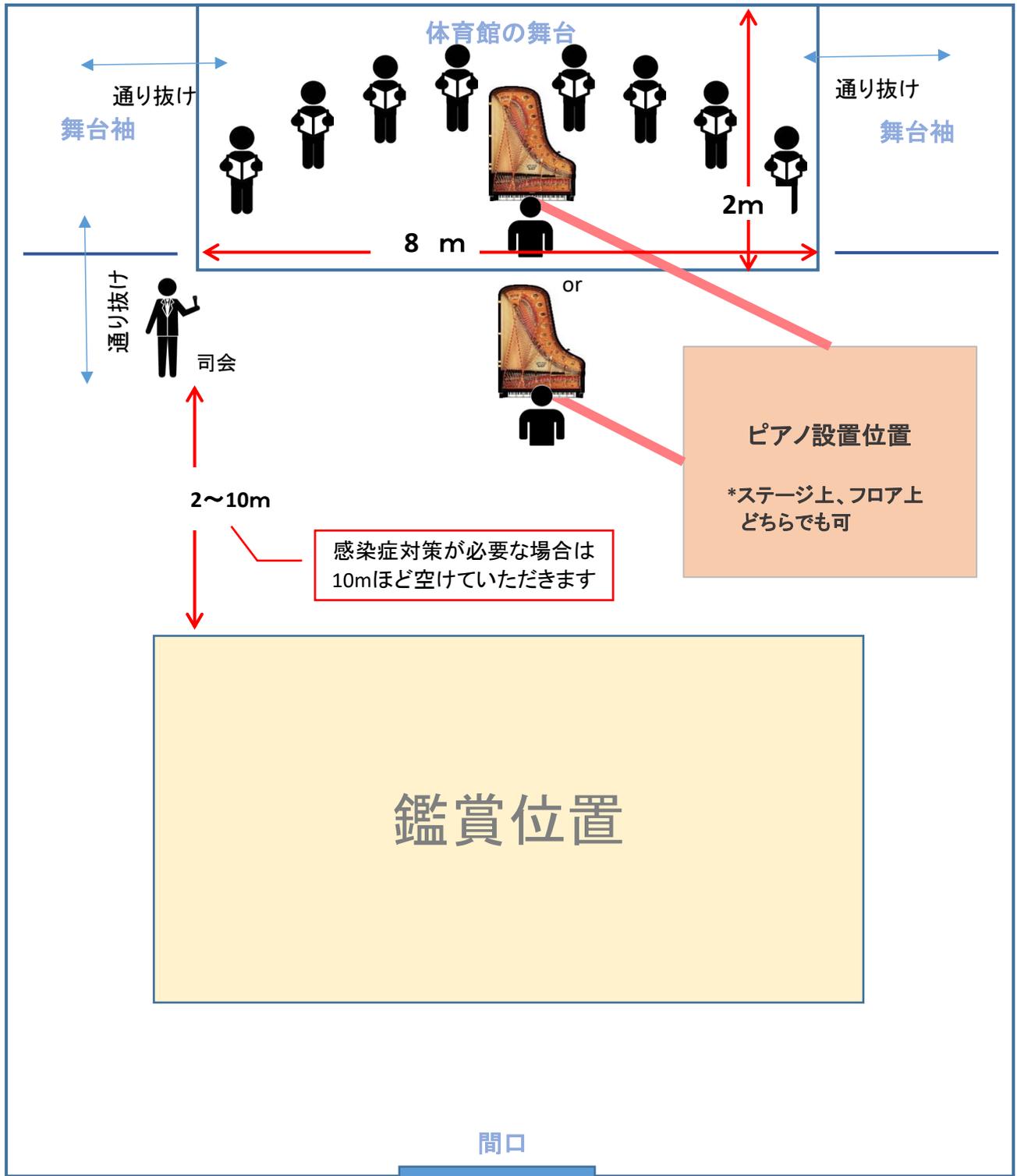
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	105	分野	音楽	種目	合唱	ブロック		区分	A区分
公演団体名	びわ湖ホール声楽アンサンブル			制作団体名	公益財団法人 びわ湖芸術文化財団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男女別の着替え用であるためカーテンがある部屋や窓から見えないようにしていただきたいです。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			中型バス 1台					
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			なし					
	—	搬入車両の横づけの要否 *			不要					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			—					
	—	搬入経路の最低条件			なし					
	—	理由			—					
	—	設置階の制限 *			問わない					
	—	搬入間口について 単位:メートル		幅	—	高さ	—			
WSIについて	可	参加可能人数			1クラス毎～100名程度まで					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			45分～60分程度/コマ(授業時間に合わせられます)					
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			会場収容人数上限まで可					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	約8m	奥行	約2m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			待機できるスペースがある状態		
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要		
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	—			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可			ピアノの事前調律 *	要					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	—	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
可	ピアノの調律は可能な限り直前をお願いしたいですが、難しい場合は3か月以内に行っていれば結構です。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	—	高さ	—
搬入車両の横づけの可否			不要	
横づけができない場合の搬入可能距離			問わない	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

てらしま りくや へんきょく し き
寺嶋 陸也 (編曲・指揮・ピアノ)

とうきょうげいじゆつだいがくそつぎょう どうだいがくいんしゆりよう さつきょくか
東京芸術大学卒業、同大学院修了。作曲家で、ピアニストでもあります。
にほん
日本のほか、フランスやアメリカ合衆国でも演奏しています。また、オ
ペラや合唱曲、日本の楽器のための曲など、これまでに作曲した多くの
がっしやうきょく にほん がっ き さつきょく おお
作品も、世界中で演奏されています。



れいわ ねんど
令和2年度

ぶん か げいじゆつ こどもいくせいそごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

こ せいがく がっしやうこうえん
びわ湖ホール声楽アンサンブル <合唱公演>

うた つ うつく にほん
歌い継ぎたい 美しい日本のうた

こ せいがく
びわ湖ホール声楽アンサンブル

し げんりつげいじゆつがきぎょう こ せんぞく がしゆ
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール専属のオペラ歌手
です。びわ湖ホールで行われるオペラや演奏会
だけでなく、滋賀県内の小学生を対象としたオーケ
ストラのコンサート「音楽会へ出かけよう！」や
がっこう で がっこうじゆんかいこうえん おんがく
学校に出かけていく「学校巡回公演」など音楽の
普及活動も積極的にを行っています。



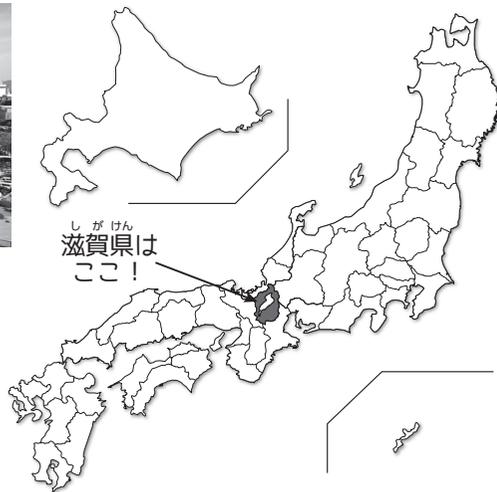
▲コロナが収まったらびわ湖ホールにも
ぜひお越しください！

- [ソプラノ] 飯嶋 幸子 黒田 恵美
[テノール] 清水 徹太郎 古屋 彰久
[司 会] 西村 薫 / 田中 千佳子

- [アルト] 森 季子 八木 寿子
[パ ス] 五島 真澄 的場 正剛



▶ びわ湖ホールは日本一
大きい湖「琵琶湖」の
ほとりの劇場です



し げん
滋賀県は
ここ！



▲主にオペラを上演する
びわ湖ホール大ホール



し がつついたち こくさいおんがく ひ
知ってますか？ ~10月1日は「国際音楽の日」です~
ねん ようせい せつりつ こくさいおんがくひょうぎかい かいぎ よくねん
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年
の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良く
なり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本
では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

ぶん か げいじゆつ こどもいくせいそごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -
わ くに いちりゅう ぶん か げいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すく ぶたい
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台
芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発力やコミュニケーション能力の育成、
将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、
できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

プログラム

オープニング

ふるさと 故郷 作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一 編曲：寺嶋陸也

校歌

声の特徴を聴いてみよう

ほたるこい 編曲：小倉 朗 / 女声合唱

箱根八里 作詞：鳥居 枕 作曲：滝 廉太郎 / 男声合唱

日本の四季

四季の唱歌メドレー

さくら さくら 古謡 編曲：寺嶋陸也 / 女声合唱

鯉のぼり 作曲：弘田龍太郎 編曲：寺嶋陸也 / 男声合唱

ちいさい秋みつけた 作詞：サトウハチロー 作曲：中田喜直

雪 編曲：三善 晃

歌詞に込められた思いを感じてみよう

世界に一つだけの花 作詞・作曲：槇原敬之 編曲：信長貴富

小学校 ともだちになるために

作詞：新沢としひこ 作曲：中川ひろたか 編曲：森 真奈美 / 手話付き

小学校 (高学年) 花は咲く

中学校 作詞：若井俊二 作曲：菅野よう子 編曲：郷間幹男

ふるさと 作詞：小山薫堂 作曲：youth case 編曲：桜田直子

曲目解説 (演奏曲の説明)

◇ ふるさと 故郷

“日本のうた” といえばこの歌、と言えるほど日本全国で愛されて歌い継がれている名曲です。自分の生まれ育った故郷とそこで暮らす人たちの思い浮かべる内容です。

◇ 校歌

みなさんの校歌を、私たちびわ湖ホール声楽アンサンブルが歌ってみます。普段から親しんでいる校歌がどんな風に聞こえてくるでしょうか。

◇ ほたるこい

東北地方のわらべうた（明確な作曲者などがなく、生活のなかで子供に歌い継がれてきた歌）です。虫に親しみを込めて作られ、日本各地で少しずつ歌詞が違ってきます。女声合唱の輪唱の響きに耳を澄ましてみてください。

◇ 箱根八里

神奈川県と静岡県にまたがる箱根峠の険しさを歌う滝廉太郎の名曲です。勇ましい音楽を男声合唱で演奏します。

◇ さくら さくら ~鯉のぼり~ちいさい秋みつけた~雪

日本には移ろいがはっきりしていて美しい4つの季節があります。それぞれの代表曲を歌います。「さくら さくら」は作られた当初の歌詞を女声合唱で歌い、「鯉のぼり」は男声合唱で歌います。「ちいさい秋みつけた」は混声四部合唱で、女声と男声の掛け合いにも注目してください。「雪」も混声四部合唱ですが、この曲の雰囲気表現しているいろんな声に耳を澄ましてみてください。

◇ 世界に一つだけの花

2016年に解散したSMAP（ジャニーズ）が歌い、「平成の時代に流行した好きな歌」の第1位に選ばれた曲です。歌詞が伝えるメッセージに注目してください。

◇ ともだちになるために【小学校】

「人が出会うのは、みんなともだちになるためなんだよ」というメッセージが込められた温かい歌です。手の動きで言葉を表す手話を覚えてみましょう。耳の聞こえない人ともお話ができるようになります。

◇ 花は咲く【小学校(高学年)・中学校】

2011年に起こった東日本大震災の復興支援のために作られた曲です。歌詞にある“私”とは誰のことでしょうか。歌詞の内容に思いを巡らせてみてください。

◇ ふるさと

2010年の「第61回NHK紅白歌合戦」のために作られた嵐（ジャニーズ）の曲です。大人になっても心のよりどころとなるふるさと。みなさんにとってのふるさとを思い浮かべてみてください。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書（実演芸術）

分野、種目（該当する種目に○を付してください。）

分野	種目
【音 楽】	合唱, <input checked="" type="checkbox"/> オーケストラ等 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分複数申請の有無(該当する方に○を付してください。) あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん きゅうしゅうこうきょうがくだん		
制作団体名	公益財団法人 九州交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 櫻井 文夫		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒814-0133 福岡市城南区七隈一丁目 11 番 50 号 未永文化センター内 (最寄バス停: 西鉄バス荒江四角停)		
電話番号	092-822-8855	F A X 番号	092-822-8833
ふりがな	こうえきざいだんほうじん きゅうしゅうこうきょうがくだん		
公演団体名	公益財団法人 九州交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 櫻井 文夫		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒814-0133 福岡市城南区七隈一丁目 11 番 50 号 未永文化センター内 (最寄バス停: 西鉄バス荒江四角停)		
制作団体 設立年月	1953年(昭和28)年10月		
制作団体組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 櫻井文夫 副理事長 川崎隆生 ほか2名 専務理事 柴田耕志 ほか理事3名、監事2名 評議員13名	楽 団 員 61名 事 務 局 員 18名 (令和2年8月1日現在)	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	営業担当/宮坂 奈津子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	事務局長/野下 直樹

制作団体沿革	<p>1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州一円の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。</p> <p>初代常任指揮者・石丸寛(現・永久名誉音楽監督)。その後、森正、安永武一郎(現・永久名誉指揮者)、フォルカー・レニッケ、黒岩英臣、小泉和裕、山下一史、大山平一郎、秋山和慶が歴任し、2013年からは小泉和裕が音楽監督を務める。また桂冠指揮者に秋山和慶、名誉客演指揮者に小林研一郎を擁する。</p> <p>アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、中学生の未来に贈るコンサート、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど福岡県を中心に九州各地で年間約130回の演奏活動を行っている。</p> <p>2006年から「九響シリーズ」9タイトル、小泉和裕が音楽監督就任後「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第9番」、「マーラー／交響曲第8番《千人の交響曲》」、「マーラー／交響曲第3番」のCDを発売。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。</p>
学校等における公演実績	<p>令和2年度（8公演） 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」－巡回公演事業－：8公演</p> <p>令和元年度（52公演） 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」－巡回公演事業－：9公演 福岡県市町村振興協会「中学生の未来に贈るコンサート」：39公演 福岡県教育委員会「舞台芸術感動体験事業」：2公演 佐世保地域文化事業財団「子どものための音楽鑑賞体験教室」：2公演</p> <p>平成30年度（64公演） 文化庁「文化芸術による子供の育成事業」－巡回公演事業－：9公演 福岡県市町村振興協会「中学生の未来に贈るコンサート」：51公演 福岡県教育委員会「舞台芸術感動体験事業」：2公演 佐世保地域文化事業財団「子どものための音楽鑑賞体験教室」：2公演</p>
特別支援学校における公演実績	<p>文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」－巡回公演事業－ 宮崎県立みなみのかぜ支援学校 令和元年 6月21日（金）</p> <p>福岡県市町村振興協会「中学生の未来に贈るコンサート（室内楽公演）」 福岡県立田主丸特別支援学校 令和元年 11月25日（月） 福岡県立築城特別支援学校 令和元年 11月26日（火） 福岡県立太宰府特別支援学校 令和元年 11月27日（水） 福岡県立小郡特別支援学校 令和元年 11月28日（木）</p>

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
A の提出が困難な場合		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名:公益財団法人九州交響楽団】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生					
企 画 名	<p>『情景描写』 ～ 作曲家や演奏者が楽器を使って何を伝えようとしているのでしょうか 情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう ～</p>					
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>1. ロッシーニ／「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進</p> <p>2. 山下康介／『楽器紹介(仮題)』</p> <p>3. 小山清茂／管弦楽のための木挽歌</p> <p>4. 指揮者体験コーナー ♪ 小学校…ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 の一部分 中学校…ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 の一部分</p> <p>5. オーケストラと演奏しよう 『太鼓の名人』 ♪ ヴェルディ／「レクイエム」より 怒りの日 の冒頭部分 ～・～・～・～・～・～・～・ 休憩 ～・～・～・～・～・～・</p> <p>6. 西田紘子構成 グリーク／音楽物語「ペール・ギュント」</p> <p>1) 「イングリッドの嘆き」</p> <p>2) 「山の魔王の宮殿にて」</p> <p>3) 「オーセの死」</p> <p>4) 「朝」</p> <p>5) 「ペール・ギュントの帰郷」</p> <p>6) 「ソルヴェイグの歌」</p> <p>E.C.1.オーケストラ演奏で校歌を合唱 ♪</p> <p>E.C.2.ヨハン・シュトラウスⅠ世／ラデツキー行進曲</p> <p>♪ = 児童生徒の共演参加曲目 公演時間 (小学校：90分、中学校：100分)</p>					
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	○	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無	

<p>演 目 概 要</p>	<p>1. ロッシーニ／「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進 スイスに平和をもたらした国軍の行進と民衆の歓喜が描かれている。</p> <p>2. 山下康介／『楽器紹介（仮題）』 オーケストラで使用する楽器の特徴を紹介する当楽団オリジナル作品。</p> <p>3. 小山清茂／管弦楽のための木挽歌 「テーマ」～「盆踊り」～「朝のうた」～「フィナーレ」 一つの民謡が少しずつ変化しながら生まれ育っていく様子が描かれている。</p> <p>4. 指揮体験コーナー 小学生…ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 の一部分 数ある歌劇の中でも最も有名な「カルメン」の冒頭に演奏される楽曲。軽快なテンポと勇壮な響きが特徴。 中学生…ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 の一部分 短調のエネルギッシュな曲。中間部のテンポの揺れ動きを指揮体験で表現する。</p> <p>5. ヴェルディ／「レクイエム」より「怒りの日」の冒頭部分 最後の審判の情景。 CMやゲーム音楽でも知られる曲の冒頭部分を当楽団がオリジナルで編曲。 大太鼓や小太鼓、檜太鼓や締太鼓など打楽器でオーケストラと共演する。 ワークショップや本公演までの練習の成果を披露する。</p> <p>6. 西田紘子構成 グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」 ナレーションや登場人物の台詞を入れた、当楽団オリジナル脚本。 曲目解説のほか、特徴的な部分を抜き出した演奏を交える。</p> <p>E.C.1. オーケストラ演奏で校歌を合唱 E.C.2. ヨハン・シュトラウスⅠ世／ラデツキー行進曲</p>
<p>演目選択理由</p>	<p>本事業のテーマである『情景描写』を表現した曲目をプログラム。 本公演後半のメインプログラム、グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」は、ナレーションや登場人物の台詞を入れた当楽団オリジナル脚本と、情景や登場人物の気持ちを表現した生の演奏で、児童生徒は物語の世界観を膨らませることができ。前説では、あらすじのほか登場人物や情景をパネルで紹介し、物語の理解を深める。また、特徴的な部分を抜き出した演奏を交えることで、楽器の特徴や音色を生かした情景描写を感じることができる。</p>

<p>児童・生徒の共演参加又は体験の形態</p>	<p>【指揮体験】 ワークショップで「お手本 DVD」を見ながら拍子やリズムを説明し、ピアノ伴奏を指揮して指揮練習する。本公演では児童生徒の代表が指揮体験でオーケストラと共演する。本公演当日のオーケストラ合わせリハーサルでは、指揮者が指揮体験者へ直接指導する。</p> <p>【打楽器で共演】 ワークショップでバチの持ち方の指導から始め、ピアノ伴奏でリズム練習をする。「お手本 DVD」を見て共演曲の全体のイメージを説明し、本公演では児童生徒の代表が打楽器でオーケストラと共演する。指揮体験と同様に、本公演当日オーケストラと合わせリハーサルを行う。</p>		
<p>出演者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指揮者：梅田 俊明（10月）、栗辻 聡（11月） ・ 司会者：江原 陽子 ・ オーケストラ：九州交響楽団 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>フルート：3名、オーボエ：2名 クラリネット：2名、ファゴット：2名 ホルン：4名、トランペット：2名 トロンボーン：3名、チューバ：1名 ティンパニ：1名、打楽器：3名 ハープ：1名、ピアノ：1名 第一ヴァイオリン：12名 第二ヴァイオリン：10名 ヴィオラ：8名、チェロ：8名 コントラバス：6名</p> </div>		
<p>公演出演予定者数 （1公演あたり）</p>	<p>出演者：71名 <u>スタッフ：8名</u> 合計：79名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量：4t 車長：8.5m 台数：1台</p>

<p>公演に当たっての 会 場 条 件</p>	<p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>													
<p>会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安</p>	<p>前日仕込み(有・無)、会場設営の所要時間(2 時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="391 1326 1417 1500"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 時</td> <td>8 時～10 時</td> <td>14 時～15 時半</td> <td>15 分</td> <td>15 時半～16 時半</td> <td>17 時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開演時間の目安は 14 時乃至 13 時 30 分、演奏時間は概ね 2 時限(90 分～100 分)です。</p>		到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8 時	8 時～10 時	14 時～15 時半	15 分	15 時半～16 時半	17 時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出									
8 時	8 時～10 時	14 時～15 時半	15 分	15 時半～16 時半	17 時									
<p>児童・生徒の 参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>～ 90 名(1 学年)程度。 複数学年参加希望の場合、例えば、ワークショップ実施 2 時限のうち、1 時限目【鑑賞指導】は複数学年が参加し、2 時限目【実技指導】は 1 時限目参加のうち 1 学年のみ参加も可。</p>												
	<p>本 公 演</p>	<p>限定なし。</p>												

ワークショップ
実施形態及び
内容

【鑑賞指導】

1. 『ドレミの“いろは”』

“ドレミの歌”を使って、「音の構成（知識面）」や半音や調性などの「音の特徴（知覚面）」を説明し、「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学ぶ。

2. 『音楽の三大要素』

これを知ると、クラシックのみならずポップスや童謡・唱歌まで音楽がおもしろくなる！

- ①「メロディ」…クラシックのみならず、ポップスや童謡・唱歌まであらゆるジャンルの音楽に共通する「ソドレミの法則」を説明し、「ソドレミ」で始まる曲を演奏する。
- ②「ハーモニー」…長調と短調の特徴や違いを説明し演奏することで、その曲が持つ“カラー”を感じてもらう。例えば、短調曲のベートーヴェン／交響曲第5番「運命」を長調で演奏する。
- ③「リズム」…指揮体験や打楽器共演の練習を通して、様々な拍子やリズムを説明する。

3. 『情景描写』

「ヴィヴァルディ／四季」や、「グリーグ／ペール・ギュント 朝」など情景を表わす曲を演奏する。

【実技指導】

1. 『指揮体験』練習

「お手本 DVD」を見ながら拍子やリズムを説明し、ピアノ伴奏を指揮して指揮練習する。

2. 『打楽器で共演』練習

二つのパートに編曲した楽譜を用い、打楽器（太鼓）でオーケストラと共演する指導を行う。児童生徒が視覚でリズムを理解しやすいよう各パートのフレーズ毎に楽譜を色分けする。

バチの持ち方の指導から始め、ピアノ伴奏でリズム練習をする。「お手本 DVD」を見て共演曲の全体のイメージを説明する。また、本公演までの練習の進め方を指導する。

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>【鑑賞指導】</p> <p>「本公演を100倍楽しむ！」ために、“音”や“音楽の三大要素”を説明した上で、本事業のテーマである情景を表わす曲を演奏し、何を表現しているのか？を想像しながら聴いてもらい、本公演プログラムのイメージを膨らませてもらう。</p> <p>また、あらゆるジャンルの「ソドレミ」で始まる曲でメロディのおもしろさや、長調曲の短調演奏でハーモニーの不思議を感じてもらう。</p> <p>【実技指導】</p> <p>本公演で練習の成果を十分に発揮し、プロオーケストラとの共演という貴重な体験を充実したものにする。「お手本DVD」を活用した練習の中で、チームワークの重要性を体感し、協調性を身に付けてもらう。</p>
<p>特別支援学校での 実施における工夫点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップ実施前に実施校を訪問し、児童生徒の状況を把握する。 2. 過去の公演映像を参考に当楽団の企画意図や公演内容、児童生徒参加プログラムを詳細に説明し学校の協力を得る。 3. その上で、演奏曲目の変更や演奏時間の短縮も視野に入れ、必要に応じてプログラムや共演参加について学校と協議する。 4. 共演参加プログラムに無理がないか、どのような形であれば参加が可能かなど、児童生徒の状況や学校の要望に沿った公演が実施できるよう工夫する。 5. ワークショップの共演練習では、説明と同時に楽団員が演奏する姿を形で覚え、繰り返し練習で体感してもらう。当日リハーサルや本公演では、楽団員が側と一緒に演奏し、児童生徒が不安に感じないよう心がける。 6. 入退場時間や休憩時間などタイムスケジュールに余裕を持つ。 7. 鑑賞中の離席や声など想定される点を事前にオーケストラへ説明し、スタッフで情報を共有する。
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

公益財団法人九州交響楽団

第1ヴァイオリン *1st Violins*



飯田拓斗
Takuto Iida



○大山佳織
Kaori Oyama



小田葉月
Hazuki Oda



木村紀子
Noriko Kimura



佐藤仁美
Hitomi Sato



齋藤羽奈子
Hanako Saito



樽見かおり
Kaori Tarumi



葉石真衣
Mai Haishi



本村朋子
Tomoko Motomura



李 軍
Jun Li

第2ヴァイオリン *2nd Violins*



荒川友美子
Yumiko Arakawa



小野本福子
Fukuko Onomoto



榊 裕子
Yuko Sakaki



貞国みどり
Midori Sadakuni



佐藤美和
Miwa Sato



竹下芳乃
Yoshino Takeshita



永田由美
Yumi Nagata



南 奈菜
Nana Minami



○山下大樹
Hiroki Yamashita

ヴィオラ *Violas*



黒川律子
Ritsuko Kurokawa



猿渡友美恵
Yumie Saruwatari



田邊元和
Motokazu Tanabe



○細川 泉
Izumi Hosokawa



矢島千愛
Chiai Yajima



ブライアン・ルー
Bryan Lew

チェロ *Cellos*



飯塚雅史
Masafumi Iitsuka



石原まり
Mari Ishihara



清水潔子
Kiyoko Shimizu



鈴木 淳
Atsushi Suzuki



宮田浩久
Hirohisa Miyata



○山本直輝
Naoki Yamamoto

コントラバス *Contrabasses*



浅野宏樹
Hiroki Asano



井上貴裕
Takahiro Inoue



竹本規矩也
Kikuya Takemoto



山本和彦
Kazuhiko Yamamoto

フルート *Flutes*



○大村友樹
Yuki Omura



八木ちはる
Chiharu Yagi



山下浩二
Koji Yamashita



小林 牧
Maki Kobayashi



○佐藤太一
Taichi Sato



徳山奈美
Nami Tokuyama

オーボエ *Oboes*

クラリネット *Clarinets*



荒木こずえ



松本 努

ファゴット *Bassoons*



草野雅行



埜口浩之

ホルン *Horns*



岡本秀樹
Hideki Okamoto



木村睦美
Mutsumi Kimura



佐々木悠子
Yuko Sasaki



瀬尾達也
Tatsuya Seo



林 伸行
Nobuyuki Hayashi

トランペット *Trumpets*



小野本明弘
Akihiro Onomoto



○松居洋輔
Yosuke Matsui



本村孝二
Koji Motomura

トロンボーン *Trombones*



○高井郁花
Ayaka Takai



山下秀樹
Hideki Yamashita



古荘恭英
Takahide Furusho

バス・トロンボーン *Bass Trombone*

テューバ *Tuba*



鈴木浩二
Koji Suzuki

ティンパニ&パーカッション *Timpani & Percussion*



伊藤拓也
Takuya Ito



黒川英之
Hideyuki Kurokawa



○森 洋太
Yota Mori

インスペクター

田邊元和
黒川英之

ステージマネージャー

木口龍之介

ライブラリアン

柳堂涼香

< ○ = 首席 >

令和2年11月1日現在

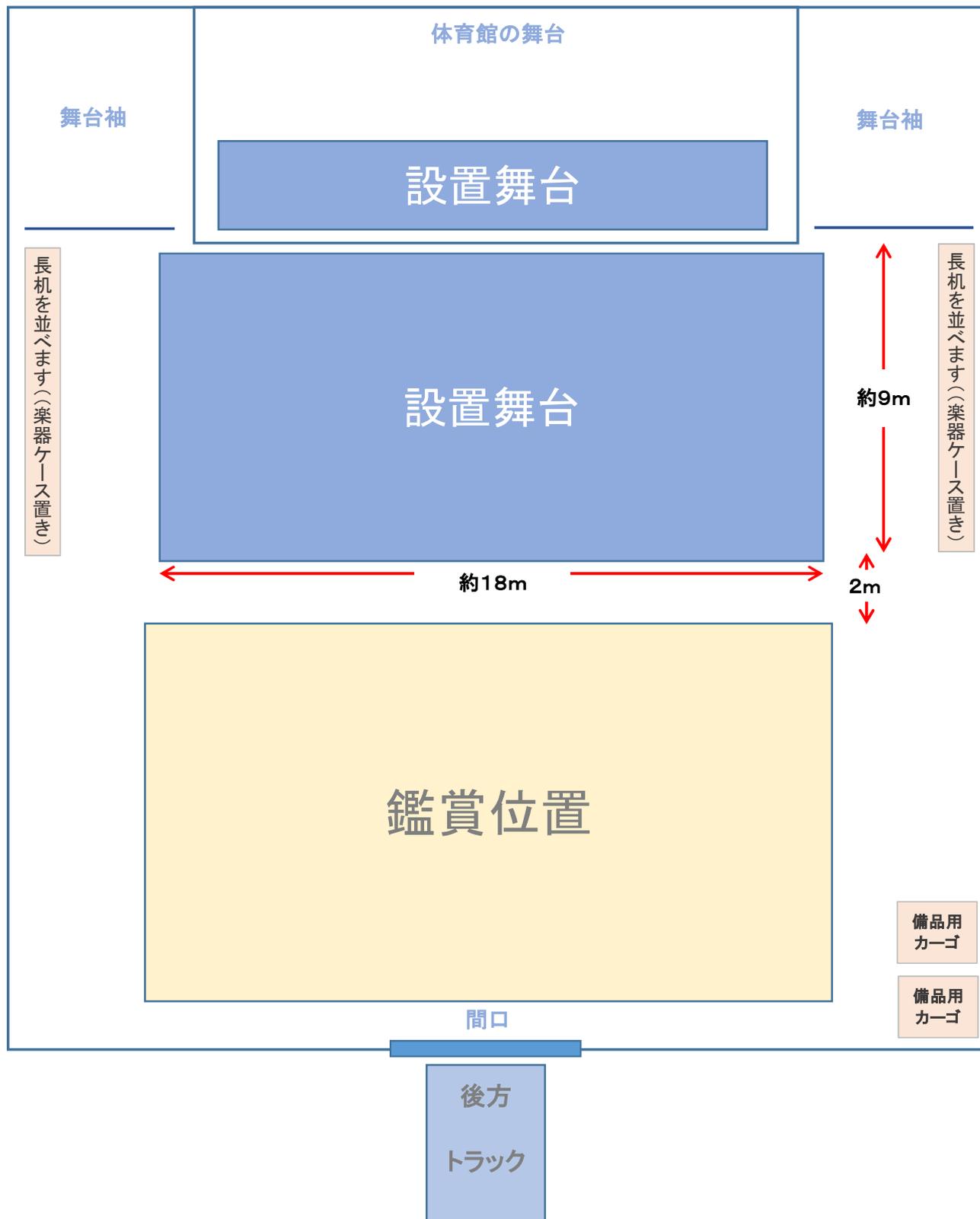
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—実施条件等確認書①】

ID	209	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	公益財団法人 九州交響楽団				制作団体名	公益財団法人 九州交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者、司会者、男性、女性の昼食や着替え用であるため、カーテンやブラインドがある部屋を希望します。カーテンやブラインドがなければ、模造紙等で目隠しをお願いします。3部屋(指揮者、男性、女性)は必須です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさ台数 *			4tトラック	1台	大型バス	4台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(車長:8.5メートル)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・搬入口に直接トラックゲートを下ろすことが可能であれば最も望ましい。 ・出来る限り段差のない経路(スロープ等の設置)が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 ・舗装された経路が望ましい。 				
		理由			大型楽器、備品、平台などを搬入するため				
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2メートル	高さ	2メートル		
WSIについて	可	参加可能人数			~ 90名(1学年)程度。 複数学年参加希望の場合、例えば、ワークショップ実施2時限のうち、1時限目【鑑賞指導】は複数学年が参加し、2時限目【実技指導】は1時限目参加のうち1学年のみ参加も可。				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし	
	可	所要時間の目安 単位:分			小学校…前半45分+後半45分(計90分) 中学校…前半50分+後半50分(計100分) ※前半と後半の間に休憩(10~15分)あり。				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安」を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			必要スペースを設置舞台として使用できれば、鑑賞人数に制限はありません。				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18メートル	奥行	9メートル (ステージ不含)	高さ	制限なし
	可				舞台袖スペースの確保 *		要		
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *		備品があっても可。 長机を2~3台置くスペースがあればなお可。		
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	舞台設置スペースに陽が差し込む場合に使用します。		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律 *	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	・ワイヤレスマイク:3本、パイプ椅子:90脚、長机:15台を公演当日の朝、体育館にご準備ください。								
可	・演奏可能な室温を保てるような対策(夏場:エアコン・扇風機など、冬場:エアコン・ストーブなど)をお願いします。								
可	・舞台下にひな壇を組みます。フロアを傷を付けないために、設置舞台部分に養生シートを敷いてください。全面敷でも可。								
可	・出演者はステージで黒靴を着用します。入口で泥砂を落とし、黒靴で体育館⇄控室を移動します。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2メートル	高さ	2メートル
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30メートルくらいまで			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

公益財団法人九州交響楽団



当楽団は企画にテーマを掲げ、企画意図を明確にし、ワークショップから本公演まで一貫性のあるテーマでプログラムを構成します。

本公演後半にはクラシック音楽の名曲をプログラミングします。理解しながら名曲を聴くことができるよう、分割演奏や楽器紹介、作曲家や作品の時代背景の分かりやすく説明したナレーションを交え、児童生徒の芸術鑑賞能力の向上に繋がります。

『企画名・本公演メインプログラム』

平成30年度 『情景描写』 ～ 情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう ～

スメタナ／連作交響詩「わが祖国」より「ヴルタヴァ（モルダウ）」

令和元年度 『体感オーケストラ！』 ～ 拍子とリズムをマスターしよう ～

ストラヴィンスキー／バレエ組曲「火の鳥」（1919年版）

令和2年度 『踊る！大管弦楽団』 ～ 踊りを通して世界の文化にふれよう ～

ファリャ／バレエ音楽「三角帽子」 ※新型コロナウイルス感染予防のためプログラム変更

令和3年度 『情景描写』 ～ 情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう ～

グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」

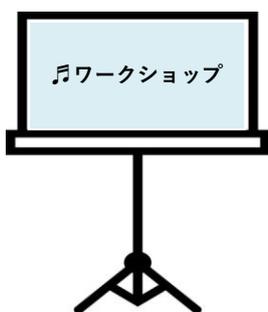
令和3年度 テーマ：『情景描写』

～ 作曲家や演奏者が楽器を使って何を伝えようとしているのでしょう

情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう ～

<鑑賞指導>

「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学びます。



※情景を想像しながら鑑賞

- ・『ドレミのいろは』 “ドレミの歌”を使って「音の構成（知識面）」や、半音・調性などの「音の特徴（知覚面）」を説明します。
- ・『音楽の三大要素』 コレを知ると色々なジャンルの音楽が楽しくなります！「メロディ」、「ハーモニー」、「リズム」が合わさって音楽が出来ていることを分かりやすく説明し、演奏でそれらを感じてもらいます。
「ソドレミの法則」の説明や、短調曲の長調演奏で曲が持つ“特徴”や“カラー”を感じてもらいます。
- ・『情景描写』 情景を表わす曲を演奏し、作曲家や演奏家が伝えたい情景を想像し、本公演のイメージを膨らませてもらいます。

<実演指導>

プロオーケストラとの共演という貴重な体験を充実したものにします。

- ・「お手本DVD」を観て指揮体験や打楽器共演の全体を説明しイメージを持ってもらいます。
- ・「お手本DVD」に合わせて練習を進めます。
- ・打楽器練習では、二つのパートに編曲した楽譜を用いピアノ伴奏でリズム練習を行います。



※指揮お手本DVD



※打楽器お手本DVD



※手拍子でリズムをとります



※口伝でリズムを伝えます

指揮 = 梅田 俊明 (10月)

指揮 = 粟辻 聡 (11月)



管弦楽 = 九州交響楽団

司会 = 江原 陽子



<プログラム>

1. ロッシーニ / 「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進

スイスに平和をもたらした国軍の行進と民衆の歓喜が描かれています。

2. 山下康介 / 『楽器紹介 (仮題)』

オーケストラで使用する楽器の特徴を紹介する当楽団オリジナル作品。

3. 小山清茂 / 管弦楽のための木挽歌

「テーマ」～「盆踊り」～「朝のうた」～「フィナーレ」、一つの民謡が少しずつ変化しながら生まれ育っていく様子が描かれています

4. 指揮者体験コーナー ♪

小学校…ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲 の一部分

中学校…ブラームス / ハンガリー舞曲 第5番 の一部分



※指揮者による指揮指導



※オーケストラの指揮体験

5. オーケストラと演奏しよう 『太鼓の名人』 ♪

ヴェルディ／「レクエム」より 怒りの日 の冒頭部分

最後の審判の情景が描かれています。CMやゲーム音楽でも知られる曲の冒頭部分を見
児童生徒との共演のために当楽団がオリジナルで編曲しました。



※児童生徒自身が工夫しながら練習を進めます



※心に残るオーケストラとの共演

6. 西田紘子構成 グリーグ／音楽物語「パール・ギュント」

ナレーションや登場人物の台詞を入れた、当楽団オリジナル脚本です。

曲目解説のほか、特徴的な部分を抜き出した演奏を交えます。



※理解して演奏を聴けるナレーション



※楽器紹介を交えた分割演奏

E.C.1. オーケストラの演奏で校歌合唱 ♪



※フルオーケストラの伴奏で校歌合唱



※オーケストラの伴奏で校歌合唱

E.C.2. ヨハン・シュトラウスⅠ世／ラデツキー行進曲 ♪



※公演の最後は手拍子でオーケストラと共演



VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <input type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分複数申請の有無(該当する方に○を付してください。) あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん きょうとふいは一もに一しつないがっそうだん		
	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団		
代表者職・氏名	理事長 田中美幸		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室 (京都市営地下鉄「烏丸御池」駅)		
電話番号	075-212-8275	FAX 番号	075-212-8277
ふりがな 公演団体名	きょうとふいは一もに一しつないがっそうだん		
	京都フィルハーモニー室内合奏団		
代表者職・氏名	理事長 田中美幸		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室 (京都市営地下鉄「烏丸御池」駅)		
制作団体 設立年月	1972 年 5 月		

<p>制作団体 組織</p>	<p>役職員</p> <p>理事長：田中美幸 副理事：西田二郎、内田双喜 理事：木村守、深尾昌峰、小林明、内田義行、増永理彦</p>	<p>団体構成員及び加入条件等</p> <p>正会員：田中美幸、松田学、木村守、深尾昌峰、小林明、越川雅之、森本真裕美、市川えり子、岸さやか、村井博之、内田義行、西田二郎、増永理彦、増永のり子、児玉幸子、中西京子、湊健太郎、内田双喜、立石文一、立石美佐子、安本昌美、村田真生、小林純子。 正会員加入条件：積極的に活動を推進する音楽家と音楽に関心のある個人、総会における議決権を有する者</p>	
<p>事務体制の担当</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>専任 ・ 他の業務と兼任</p>	<p>本事業担当者名</p>	<p>田中美幸</p>
<p>経理処理等の 監査担当の有無</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>有 ・ 無</p>	<p>経理責任者名</p>	<p>湊健太郎</p>
<p>制作団体沿革</p>	<p>1972年5月 京都フィルハーモニー室内合奏団 創立。</p> <p>1979年5月 有限会社 京都フィルハーモニー室内合奏団 成立。</p> <p>平成2年度 藤堂音楽賞受賞。</p> <p>2000年1月 特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 認証。</p> <p>2002年10月 イタリアツアーで好評を博す。</p> <p>平成14年度 京都新聞大賞文化学術賞受賞。</p> <p>2006年から 社団法人 日本オーケストラ連盟準会員。</p> <p>2012年5月 創立40年を迎える。</p> <p>2015年度 第3回ウィーンフィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞</p> <p>2016年度 佐川吉男音楽奨励賞受賞。</p> <p>2017年5月 創立45年を迎える。</p> <p>2014年4月～2019年9月 音楽監督に 齊藤一郎を迎える。</p> <p>2020年4月 ミュージックパートナーに 柳澤寿男を迎える。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>1972年創立以来、小学校公演延べ3000校、約190万人の生徒が鑑賞。</p> <p>2003年度から毎年、京都コンサートホールでファミリーコンサートを主催 (年3回。5月、7月、12月)。</p> <p>18年間、佐賀県唐津市肥前町で「早春コンサート」を継続実施(毎年2月)。</p> <p>関西公共ホールにて0歳児からのコンサートを毎年、多数実施。</p> <p>京都府内および京都市内小学校で多数公演。</p>		

	<p>2014年伊丹市立小学校全校を巡回公演（17校）。</p> <p>2012年、2014年、鳥取県内小学校にて巡回公演（10校）。</p> <p>2012年度より毎年京都府「次世代文化継承・発展」事業に参加。ワークショップを展開（3回×4校）。</p> <p>2014年2016年2018年福井県全県小学生音楽鑑賞会実施 （セントラル愛知交響楽団との合同演奏）</p> <p>2018年度滋賀県栗東市全小学校音楽鑑賞会実施。</p> <p>毎年京都府内3～4ヶ所の支援学校で鑑賞会を実施。</p> <p>長岡京市、京都市で中学校吹奏楽部のクリニックを実施。</p> <p>平成30年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「和歌山県、三重県地方の子どものための舞台芸術による地域交流の場づくりと巡回公演」</p>	
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>毎年、中丹支援学校、丹波支援学校、八幡支援学校、向日が丘支援学校、城陽支援学校（いずれも京都府立）にて公演およびワークショップを実施。文化庁巡回公演でも各地支援学校で演奏。</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p> <p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合限定公開 URL</p> <p>1)前半</p> <p>2)後半</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>1) https://www.youtube.com/watch?v=ZryPIYx-k5c</p> <p>2) https://www.youtube.com/watch?v=UPY2qY6x6ys</p>

公演・ワークショップの内容 【公演団体名京都フィルハーモニー室内合奏団】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生				
企画名	「魅力発見！オーケストラは楽しい」				
本公演演目	<ul style="list-style-type: none"> ●ビゼー作曲/カルメン「前奏曲」(3分) ●楽器の紹介 (10分) ●ベートーヴェン作曲/交響曲第5番「運命」より第一楽章(5分) ●アンダーソン作曲/シンコペーテッドクロック (3分) ●バッハ・グノー作曲/アベマリア (ソプラノ独唱) (3分) ●カバレフスキー作曲/組曲「道化師」よりギャロップ (2分) 				
原作/作曲	～休憩～ (15分)				
脚 本	●オーケストラと共演しましょう！(8分)				
演出/振付	<ul style="list-style-type: none"> *ケテルビー作曲/ペルシャの市場にて ★指揮者体験コーナー *ブラームス作曲/ハンガリー舞曲(10分) ●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！(3分) ●ケーニッヒ作曲/ポストホルンギャロップ (4分) ●ロージャース作曲/サウンド・オブ・ミュージックより (メゾソプラノ独唱) (4分) <p>[アンコール] ヨハン・シュトラウスⅡ作曲/ラデツキー行進曲 (3分)</p> <p>公演後、弦楽器体験または質問コーナーがあります。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 (コンサート：休憩を含み 90分 + 弦楽器体験または質問コーナー15分)</p>				
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無

演 目 概 要

●ビゼー作曲/カルメン「前奏曲」

世界中で一番上演回数が多いのがフランスの作曲家ビゼーが作ったオペラ「カルメン」です。スペインのタバコ工場で働く女性カルメンの恋の物語を描いています。この前奏曲には闘牛で有名なスペインの闘牛士の歌も登場します。

●楽器の紹介

オーケストラの中のたくさんの楽器を一つずつ聴いていきます。各楽器の音色、形、名前、特徴を覚えましょう。

●ベートーヴェン作曲/交響曲第5番「運命」より第一楽章

ダダダーンで始まるこの曲は世界中の誰もが知っています。この曲に込められた若いベートーヴェンの情熱がほとばしる名曲をご堪能ください。

●アンダーソン作曲/シンコペーテッドクロック

アメリカの作曲家アンダーソンは楽しい曲をたくさん作曲しました。シンコペーテッドクロックは、時計が規則的に時を刻む様子を表していますが、時々リズムが狂ってしまいます。打楽器が活躍します。

●バッハ・グノー作曲/アベ・マリア (メゾソプラノ独唱)

フランスの作曲家グノーがバッハの平均律クラヴィア曲集にメロディーをつけた美しい曲です。メゾソプラノの澄んだ美しい声をお聴きください。

●カバレフスキー作曲/組曲「道化師」よりギャロップ

運動会などでよく流れる「ギャロップ」です。ロシアの作曲家カバレフスキーが子供のために作曲した児童劇『発明家と道化役者』のための中の一曲です。ギャロップとは馬が走るリズムから生まれた形式です。

~休憩~

●オーケストラと共演しましょう！ * ペルシャの市場にて/ケテルビー

学校で使用している、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、打楽器を使ってオーケストラと共演しましょう。

オーケストラの一員として重要なパートを演奏していただきます。

★指揮者体験コーナー

●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！

日頃ピアノ伴奏で歌っているあなたの学校の校歌をオーケストラの伴奏で歌ってみましょう。

●ケーニッヒ作曲/ポストホルンギャロップ

(ポストホルンとホウキのラッパでの演奏)

ポストホルンとは昔、郵便配達時に郵便が来たことを伝えるための楽器です。そしてもう一つの楽器はホウキ？楽器？聴いてのお楽しみです。

●サウンド・オブ・ミュージックより(メゾソプラノ独唱)

コンサートの最後は皆さんがよく知っているミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」からサウンド・オブ・ミュージックとドレミの歌をお聴きください。

アンコール：ヨハン・シュトラウスⅡ作曲/ラデツキー行進曲

シュトラウス作曲のラデツキー行進曲を皆さんの手拍子を交えてお届けします。

<p>演目選択理由</p>	<p>前半＝オーケストラの各楽器を紹介して、オーケストラに興味を持ってもらう導入をします。またどこかで聴いた名曲、打楽器が活躍する曲、歌の曲など退屈することなく、楽しくオーケストラ入門ができます。</p> <p>後半＝児童との共演がメインです。ワークショップで習ったことを本番でその力を発揮しましょう。また指揮者体験もできます。そしてオーケストラ伴奏で校歌を歌うのは感動的です。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>1) 学校で使用している鍵盤ハーモニカ、リコーダー、打楽器とオーケストラとの共演。</p> <p>2) オーケストラ伴奏での校歌斉唱。</p> <p>3) アンコールのラデツキー行進曲において、児童の手拍子の参加。</p> <p>4) 公演終了後に、児童対象に弦楽器を体験してもらいます。 (状況により質問コーナーに変更します)</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮者1名、歌手(司会)1名、第一ヴァイオリン5名、第二ヴァイオリン5名、ヴィオラ4名、チェロ3名、コントラバス2名、フルート2名、オーボエ2名、クラリネット2名、ファゴット2名、ホルン2名、トランペット2名、トロンボーン1名、チューバ1名、打楽器4名、ピアノ1名</p> <p>計40名</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者：40名 スタッフ：6名</p> <hr/> <p>合計：46名</p>	<p>機材等 運搬方 法</p>	<p>積載量 2 t 車長 6.5m 台数 1台</p>

公演・ワークショップの内容 【公演団体名京都フィルハーモニー室内合奏団】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生				
企画名	素晴らしいオーケストラの世界へ				
本公演演目	<ul style="list-style-type: none"> ●ブラームス作曲/ハンガリア舞曲第五番 (3分) ●楽器紹介 (10分) ●メンデルスゾーン作曲/交響曲第4番「イタリア」より第四楽章 (6分) ●ビゼー作曲/オペラ「カルメン」よりハバネラ (メゾソプラノ) (3分) ●カバレフスキー作曲/組曲「道化師」より (12分) 				
原作/作曲	プロローグ～ギャロップ～パントマイム～叙情的情景～ガボット～エピソード ～休憩～ (15分)				
脚 本	●オーケストラと共演しましょう]*合唱or吹奏楽 (5分)				
演出/振付	<ul style="list-style-type: none"> ★指揮者体験コーナー* ブラームス ハンガリー舞曲 (10分) ●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう! (3分) ●ケーニッヒ作曲/ポストホルンギャロップ (ポストホルンとホウキのラッパ) (4分) ●ロー作曲/マイフェアレディより踊り明かそう(メゾソプラノ) (3分) 				
	[アンコール] ヨハン・シュトラウスⅡ/ラデツキー行進曲 (4分)				
	* 終演後に質問コーナーがあります。				
	公演時間 (コンサート休憩を含み90分 + 質問コーナー15分)				
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無

演 目 概 要

●ブラームス/ハンガリア舞曲第五番

ブラームスは若い頃にハンガリーを旅して民謡を採取し、このハンガリア舞曲集を発表しました。中でもこの第五番は一番人気があります。

オーケストラの重厚で情熱的な響きをご堪能ください。

●楽器の紹介

オーケストラの中のたくさんの楽器を一つずつ聴いていきます。各楽器の音色、形、名前、特徴を覚えましょう。

●メンデルスゾーン：交響曲第4番「イタリア」より第四楽章

モーツァルトと並び称され神童と呼ばれたメンデルスゾーンは、忘れ去られていたバッハを復活させた人です。裕福な家庭に生まれた彼は各地を旅してその印象を曲として残しています。この「イタリア」もその一つで、イタリアで古くから親しまれているタランテラという舞曲を取り入れています。

●ビゼー/オペラ「カルメン」よりハバネラ（メゾプラノ）

世界中で一番上演回数が多いのがフランスの作曲家ビゼーが作ったオペラ「カルメン」です。スペインのタバコ工場で働く女性カルメンの恋の物語を描いています。スペインのハバネラという舞曲を使って恋心を歌う、情熱的な歌です。

●カバレフスキー/組曲「道化師」より

運動会などでよく流れる「ギャロップ」が入った組曲です。ロシアの作曲家カバレフスキーが子供のために作曲した児童劇『発明家と道化役者』のために作曲されました。色々な形式の音楽が使用されています。

～休憩～

●オーケストラと共演しましょう！

ご希望の合唱曲をオーケストラ伴奏で共演。または吹奏楽や金管バンドとオーケストラとの共演。

★指揮者体験コーナー

	<p>指揮者になってオーケストラの指揮をしていただきます。指揮の仕方によってオーケストラの演奏がどう変わるのか！指揮者の重要性が体験できます。</p> <p>●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！</p> <p>日頃ピアノ伴奏で歌っているあなたの学校の校歌をオーケストラの伴奏で歌ってみましょう。</p> <p>●ケーニッヒ/ポストホルンギャロップ</p> <p>(ポストホルンとホウキのラップでの演奏)</p> <p>ポストホルンとは昔郵便配達時に郵便が来たことを伝えるための楽器です。そしてもう一つの楽器はホウキ？楽器？聴いてのお楽しみです。</p> <p>●ロー / マイフェアレディより踊り明かそう (メゾソプラノ)</p> <p>コンサートの最後は皆さんがよく知っているミュージカル「マイフェアレディ」から踊り明かそうを、お聴きください。</p> <p>アンコール/ラデツキー行進曲</p> <p>シュトラウス作曲のラデツキー行進曲を皆さんの手拍子を交えてお届けします。</p>
<p>演目選択理由</p>	<p>前半＝オーケストラの各楽器を紹介して、オーケストラに興味を持ってもらう導入をします。またどこかで聴いた名曲、打楽器が活躍する曲、歌の曲など退屈することなく、楽しくオーケストラ入門ができます。</p> <p>後半＝生徒との共演がメインです。ワークショップで習ったことを本番でその力を発揮しましょう。また指揮者体験もできます。そしてオーケストラ伴奏で校歌を歌うのは感動的です。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) ご希望の合唱曲をオーケストラ伴奏で共演。または吹奏楽や金管バンドでの共演でも可能。 2) オーケストラ伴奏での校歌斉唱。 3) アンコールのラデツキー行進曲において、生徒の手拍子の参加。 4) 公演終了後に質問コーナーを設けて、生徒からの質問に応じ交流をはかります。

<p>出 演 者</p>	<p>指揮者1名、歌手（司会）1名、第一ヴァイオリン5名、第二ヴァイオリン5名、ヴィオ ラ4名、チェロ3名、コントラバス2名、フルート2名、オーボエ2名、クラリネット2 名、ファゴット2名、ホルン2名、トランペット2名、トロンボーン1名、チューバ1名、 打楽器4名、ピアノ1名</p> <p>計 40 名</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出 演 者: 40 名 <u>ス タ ッ フ: 6 名</u> 合 計: 46 名</p>	<p>機 材 等 運 搬 方 法</p>	<p>積 載 量 2 t 車 長 6.5m 台 数 1 台</p>

【公演団体名 京都フィルハーモニー室内合奏団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(1 時間程度)					
	到着	練習	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	セッティング 9:00~10:00 リハーサル 11:00~	本公演13:30~15:00 弦楽器体験/小 質問コーナー/中 15:00~15:15	15分	15時15分~16時15分	16時15分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	200名ぐらいまで				
	本公演	600名ぐらいまで				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>◆小学校 ケテルビー作曲のペルシャの市場にてを共演するために ・演奏者5人と司会兼スタッフ1名を派遣する。・ワークショップの最初に、楽器紹介を兼ねたミニコンサートを実施。 ・本公演にむけて、パート練習30分、合奏練習30分で共演アンサンブルの練習をおこなう。</p> <p>◆中学校(合唱との共演希望校) ・歌手とピアニストと司会兼スタッフ計3名を派遣する。・より美しい声を出すためのウォーミングアップから始め、共演合唱の練習をおこなう。・ワークショップの最初に、京フィルメンバーによるミニコンサートを実施。</p> <p>◆中学校(吹奏楽・金管バンドとの共演希望校) ・奏者5名と司会兼スタッフ1名を派遣する。・楽器のメンテナンス説明を含め、各楽器のクリーニングを実施し、各校の共演希望曲の練習をおこなう。 ・ワークショップの最初に、京フィルメンバーによるミニコンサートを実施。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>◆小学校(児童との共演) リコーダー、鍵盤ハーモニカをはじめとする教育楽器と打楽器をプロの演奏者から学び、取り組みやすく、かつ効果的に本公演での共演実施に結び付ける。</p> <p>◆中学校(合唱共演) プロの適切なアドヴァイスのもと、のびやかに無理なく歌う訓練をおこなう。 ワークショップでプロの音楽家の技術や表現能力を間近で体験し、的確な指導とアドヴァイスで生徒たちの演奏レベル、ならびに感受性の向上を狙う。</p> <p>◆中学校(吹奏楽・金管バンドとの共演希望校) ワークショップでプロの音楽家の技術や表現能力を間近で体験し、的確な指導とアドヴァイスで生徒たちの演奏レベル、ならびに感受性の向上を狙う。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	各学校に合った進行を綿密な打ち合わせをもとに、児童生徒一人一人の実情や到達点に合わせた工夫をおこないます。過去、本事業において、ヴァイオリン体験&共演をおこなった実績があります。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【公演団体名 京都フィルハーモニー室内合奏団】

出演者(予定)

指揮者	柳澤 寿男(ミュージックパートナー)	コントラバス	上野 泰歳
コンサートマスター	釋 伸司(客員コンサートマスター)		宮田 雄規
メゾソプラノ、司会	西村 薫	フルート	市川 えり子
第一ヴァイオリン	森本 真裕美		本庄 ちひろ
	北村 奈美	オーボエ	岸 さやか
	佐野 慎太郎		橋爪 惠梨香
	山根 朋子	クラリネット	松田 学
第二ヴァイオリン	青山 朋永		伊藤 咲代子
	谷口 朋子	ファゴット	田中裕美子
	泉谷 更沙		首藤 元
	黒江 郁子	ホルン	山本愛沙子
	西尾 恵子		大宮 徳子
ヴィオラ	馬場 順子	トランペット	山崎恒太郎
	丸山 智子		小和将太
	三吉 朋子	トロンボーン	村井 博之
	永久 真理子	チューバ	宮田保良
チェロ	石 豊久	打楽器	越川 雅之
	島田留萌		大竹秀晃
	米田 依未		横山 堅司
			奥田 有紀
		ピアノ	笹まり恵

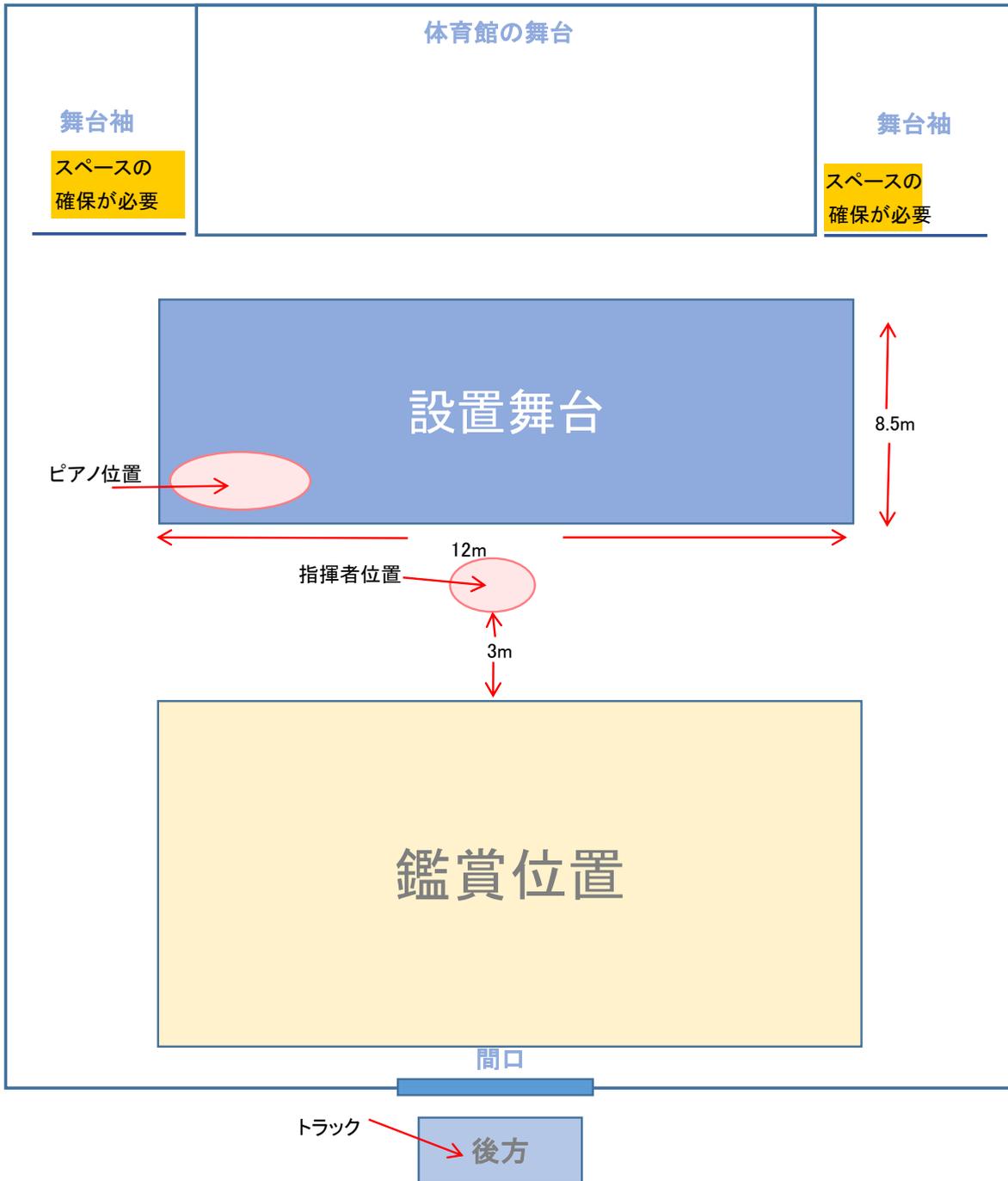
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	242	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	京都フィルハーモニー室内合奏団			制作団体名	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者1室、コンサートマスター1室、男性、女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック 1台	大型バス 2台						
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック1台							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内							
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 							
		理由			大型楽器、平台を搬入するため							
	—	設置階の制限 *			問わない							
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m					
WSについて	可	参加可能人数			200名くらい							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			オーケストラがフロアで演奏し、かつ児童生徒が鑑賞できる人数、約600名くらいまで							
	不可	舞台設置場所 *			フロア							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m	奥行	8.5m	高さ	問わず			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			荷物等がない状態が好ましい				
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	不可	ピアノの調律・移動の要否			指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。				
	不可				ピアノの事前調律 *		要					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量						
	その他特記事項											
不可	半年以内にピアノの調律を行っていない場合は、必ず本公演前までに調律をお願いします。											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



京都フィルハーモニー室内合奏団

京フィル

検索

京フィルの魅力！

◆その一・・・

子供と音楽が大好きな
メンバーばかり

◆その二・・・

楽しい名曲の数々

◆その三・・・

共演も楽しく！

◆もうひとつの魅力

楽器体験



古都京都に誕生して48年。子供たちを魅了する室内オーケストラとして「京フィル」の愛称で親しまれています。「あ～楽しかった！また聴きたい！」という、子供たちの声援から生まれた熱気溢れたコンサートをお届けします。



小学生のためのクラシックコンサート 魅力発見！楽しいオーケストラ

- オペラ「カルメン」より前奏曲 / ビゼー
 - 楽器の紹介
 - 交響曲第5番「運命」より第一楽章 / ベートーヴェン
 - アヴェ・マリア (メゾソプラノ) / バッハ・グノー
 - 組曲「道化師」よりギャロップ / カバレフスキー
～休憩～ (15分)
 - オーケストラと共演しましょう！
ペルシャの市場にて / ケテルビー
 - ★指揮者体験コーナー
 - オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！
 - ポストホルンギャロップ / ケーニッヒ
(ポストホルンとハウキのラッパ)
 - サウンドオブミュージックより / ロジャース
(メゾソプラノ)
- *終演後に弦楽器体験を行います。
(状況により質問コーナーになります。)

中学生のためのクラシックコンサート 素晴らしいオーケストラの世界へ

- ハンガリア舞曲第五番 / ブラームス
 - 楽器紹介
 - 交響曲第4番「イタリア」より第四楽章 / メンデルスゾーン
 - オペラ「カルメン」よりハバネラ/ビゼー (メゾソプラノ)
 - 組曲「道化師」より / カバレフスキー
プロローグ～ギャロップ～パントマイム～
叙情的情景～ガボット～エピローグ
～休憩～ (15分)
 - オーケストラと共演しましょう]*合唱or吹奏楽
 - ★指揮者体験コーナー
 - オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！
 - ポストホルンギャロップ / ケーニッヒ
(ポストホルンとハウキのラッパ)
 - マイフェアレディより踊り明かそう / ロー
(メゾソプラノ)
- *終演後に質問コーナーがあります。

特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団

〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る三文字町200 ミックナカムラ303

☎075-212-8275 FAX075-212-8277 office@kyophil.com

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	<input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ

A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく		
制作団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク		
代表者職・氏名	理事長・牧野 望		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-1-2 (最寄り駅:JR 中央線 徒歩 5 分)		
電話番号	03-3223-7500	F A X 番号	03-3223-7501
ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく		
公演団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク		
代表者職・氏名	理事長・牧野 望		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-1-2 (最寄り駅:JR 中央線 徒歩 5 分)		
制作団体 設立年月	平成 17 年 7 月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:牧野望(マキノノゾミ) 副理事長:鈴木聡 副理事長:西山水木 理事:桑谷哲男、坂手洋二 監事:長谷基弘、平山鉄郎	主な構成員:永井愛/渡辺えり/渡辺美佐子/吉本光宏/横内謙介 [会員総数 12 名] 加入条件:理事長が別に定める入会申込書により、理事長宛に申し込むものとする。会員の入会については特に条件を定めない。	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	和泉将朗、石原直子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	酒井道子

制作団体沿革	<p>舞台芸術の専門家によるグループが、平成 17 年 7 月に NPO 法人として正式に活動を開始。平成 18 年 10 月には、杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」の指定管理者に選出され、同劇場の運営を開始。</p> <p>劇場を拠点とし、子どもを対象とした演劇公演の企画制作や、毎週土曜に幼児から参加できる絵本のイベント、毎週日曜に小中学生に向けたワークショップ、夏休みには親子で楽しめる工作ワークショップなど、数多く実施している。</p> <p>また、付設の演劇学校「劇場創造アカデミー」では、大学や各地域の公共劇場とネットワークを築き、舞台芸術のノウハウを文化・芸術の分野だけでなく、地域のコミュニティで生かしていくための人材を育成。</p> <p>地域の4大祭りと呼ばれる「高円寺びっくり大道芸」「東京高円寺阿波おどり」「高円寺フェス」「高円寺演芸まつり」を積極的に応援協力し、地域の活性化事業を行っている。</p>		
学校等における公演実績	<p>【演劇鑑賞教室】</p> <p>平成 21 年より、杉並区内外の小中高学校の演劇鑑賞教室を、延べ 439 校で実施、34,000 名以上が鑑賞。演劇鑑賞教室並びに学校公演用に制作した舞台作品は、平成 23 年度児童福祉文化賞受賞作品『旅とあいつとお姫さま』、平成 24 年度児童福祉文化賞推薦作品『ピン・ポン』、平成 30 年度児童福祉文化賞推薦作品『ピノッキオ』、平成 30 年度厚生労働省社会保障審議会推薦作品『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』等、受賞作品多数。</p> <p>他、えずこホール、あさひサンライズホール、美深町文化ホール、桐蔭学園シンフォニーホール、茅野市民会館、宮崎県立芸術劇場、目黒パーシモンホールにおける小中学生の団体鑑賞や全国の親子劇場・子ども劇場の会員も多数鑑賞。</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>平成 21 年より杉並区内外の小中学校で実施。</p> <p>当該等事業では平成 24～令和元年度に『ピン・ポン』全国各地 98 校で開催、令和 2 年度に『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』15 校で開催予定。</p> <p>【その他】</p> <p>平成 24 からの当該事業で『ピン・ポン』『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』巡回公演を実施。令和2年度の予定も含め、全国各地 116 校で上演。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成 24 年度からの当該事業で『ピン・ポン』の上演及びワークショップの実績あり。特別支援学校は 15 校、2,220 人以上が鑑賞。</p> <p>当該事業以外では、平成 27 年に茨城県の特別支援学校から直接依頼を受け『ピン・ポン』学校公演を実施。</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>https://vimeo.com/392219032/b648d44ca8</p> <p>ID: PW:</p>
	A の提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	座・高円寺レパトリー『ピン・ポン』		
本公演演目 原作／作曲 脚本 演出／振付	『ピン・ポン』 構成・演出 佐藤 信 美術・演出 tupera tupera(ツペラ ツペラ/亀山達矢、中川敦子) 振付・演出 竹屋 啓子 音楽 磯田 収 照明プラン 横原 由祐 音響プラン 島 猛 衣裳 STORE		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>【あらすじ】</p> <p>ある日、女の子がひとりで原っぱで眠っていると、どこからかピンポン玉がたくさん転がってきます。そこはピンポン玉が生きているふしぎな世界。そこで恥ずかしがり屋の男の子ピンと元気いっぱい女の子ポンに出会います。ピンとポンと遊んだり、旅をしたり、やがてピンとポンに新しい家族が生まれ、たくさん子どもたちと過ごしなが、女の子は成長していきます。ある朝、女の子が目覚めると、そこはいつもの散歩道。でも、もうさみしくありません。心の中にはいつでもかけがえのない友達がいるからです。</p> <p>【見どころ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セリフはありません。低学年の児童でもわかりやすいように、視覚的な要素をたくさん使った作品です。 ・さまざまな楽器の生演奏と何百個ものカラフルなピンポン玉がとび出して物語を展開します。日常の身の周りにあるものを使って、それがまるで生きているように見える、オブジェクト・シアターの手法で児童の想像力をかきたてます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>【上演歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度～令和元年度当該事業で巡回公演を実施しています。 ・平成 22 年から 11 年にわたり、座・高円寺(東京都)、いわき芸術文化交流館(福島県)、茅ヶ崎市民文化会館(神奈川県)、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール(滋賀県)などの公共ホール、都外の小学校での公演を行っています。 ・「国際児童・青少年演劇フェスティバル」(沖縄県)や横浜市鶴見区民文化センターサルビアホール(神奈川県)での上演では、海外のお客様からも評価を得ています。 ・平成 24 年度児童福祉文化賞推薦作品 ・平成 27 年 8 月 香港で公演。 		

<p>演目選択理由</p>	<p>低学年の児童に理解しやすいようシンプルな構成とストーリーで“友達の大切さ”や“生きる喜び”を伝えています。ピンポン玉、スプーン、ドライバー、傘など、身の周りにあるものに命が吹き込まれ、自由に動き出す様子は、子どもたちの想像力をかきたてると同時に、演劇の楽しさを伝えます。</p> <p>大きなホールで行える演目でありながら、限られた狭いスペースでも上演出来る柔軟性を持った作品なので、小学校の体育館公演に最適です。</p> <p>最後に歌がありますが、セリフのない演劇なので、出演者から飛沫が発生することが少なく、衛生面でも安心して鑑賞できる作品です。令和2年7月のコロナ禍のなかでも多くのお客様から支持され、全6回にわたる劇場公演を成功させました。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>物語後半の「ピン」と「ポン」の仲間たちが旅から帰ってくる場面では、子どもたちに参加してもらい、出演者たちと一緒にピンポン玉を操ります。</p> <p>カーテンコールを全員で一緒に踊り、コール&レスポンスの音遊びをします。簡単な手話を伴った振付をその場で指導しますので、事前準備は不要です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>出演者</p>	<p>ピーポーさん役 公門美佳(くもん・みか) ムチャくん役 久保恒雄(くぼ・つねお) クチャくん役 光田圭亮(こうた・かどあき) ミュージシャン 磯田収(いそだ・おさむ) 計4名(予定)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p style="text-align: center;">出演者: 4名 <u>スタッフ: 8名</u> 合計: 12名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4t 車長 9m 台数 1台</p>

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(4 時間程度) <table border="1" data-bbox="389 745 1430 824"> <tr> <th data-bbox="389 745 520 779">到着</th> <th data-bbox="520 745 778 779">仕込み・リハーサル</th> <th data-bbox="778 745 991 779">本公演</th> <th data-bbox="991 745 1098 779">内休憩</th> <th data-bbox="1098 745 1214 779">撤去</th> <th data-bbox="1214 745 1430 779">退出</th> </tr> <tr> <td data-bbox="389 779 520 824">時</td> <td data-bbox="520 779 778 824">8 時～13 時</td> <td data-bbox="778 779 991 824">13 時半～14 時半</td> <td data-bbox="991 779 1098 824">適宜</td> <td data-bbox="1098 779 1214 824">15 時～17 時半</td> <td data-bbox="1214 779 1430 824">17 時半</td> </tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み・リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	時	8 時～13 時	13 時半～14 時半	適宜	15 時～17 時半	17 時半
到着	仕込み・リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
時	8 時～13 時	13 時半～14 時半	適宜	15 時～17 時半	17 時半													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	70 名程度まで(45 分毎に入替可)																
	本公演	350 名程度まで ※350 名以上でも会場条件によって可能になることもあります。																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>・最初に、出演者が作品に関連した短いパフォーマンスと自己紹介を行い、子どもたちの興味をかきたてつつ、これから行うワークショップやお芝居の世界観を共有します。</p> <p>・前半では、出演者と一緒にピンポン玉をつかった遊びや簡単なパントマイムで身体をほぐし、身体と心のコミュニケーションをはかります。</p> <p>・後半には、様々な楽器を使っていろんな音で表現をしたり、手話を取り入れたダンスを体験します。最後は音楽家の生演奏に合わせて全員で身体を動かします。</p> <p>※参加人数によっては複数の学年と一緒にいきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【実施校の教職員の方々より】 観る、聴く、表現する、演奏するなどの様々な活動があり、楽しい雰囲気自然と子どもたちが引き込まれ、積極的にクイズに参加したり演奏者のコールに合わせて楽器を演奏したりして楽しく活動することが出来ました。</p>																	

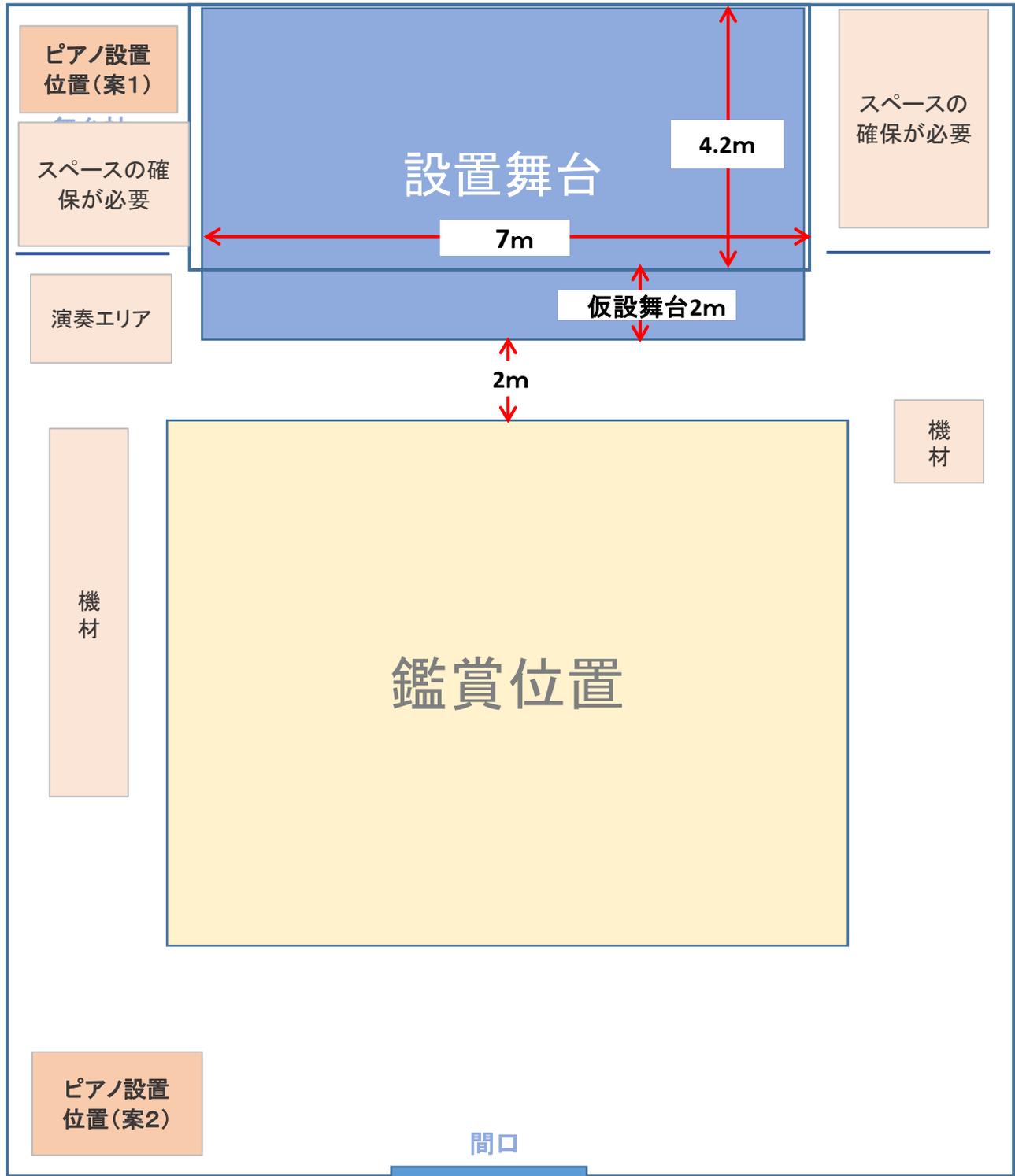
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のお芝居で登場するピンポン玉や、ビニール傘、ロープといった身近にあるものを使いながら身体と心をほぐし、舞台に立つ出演者との共同作業をのびのびと行います。 ・児童自身が音楽づくりに参加し、音楽家・俳優・ダンサーと一緒に演奏することで、表現する力を養い、達成感を持ってもらいます。
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>特別支援学校においても内容を変えずに実施することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台詞がなく、視覚的な要素の大きい作品です。 ・児童と一緒に歌う劇中歌の振り付けに、手話を取り入れています。 ・舞台に誘う場面では、道具を客席まで降ろす等で、子どもたちが移動せずにお芝居に参加できる工夫を行います。 <p>【特別支援学校の教職員の方々より】</p> <p>「セリフはなくても目で見てわかり引き込まれるパフォーマンスで、子どもたちはみな最後まで楽しく見ることができました。演劇等を見る機会の少ない本校の子どもたちにとって、舞台芸術にじかに触れる大変貴重な体験となりました。また、表現に手話を取り入れたり、音響面を工夫してくださるなど、聞こえにくい子どもたちへの細やかな配慮をいただいたことにも、御礼申し上げます。」</p> <p>「さまざまな障害の状態により長時間座って演劇鑑賞することが困難かと思われる多くの児童生徒が、1時間のパフォーマンスに興味関心をもって見続けていたことが、全てを物語っていると思います。無言劇であることから、子ども達がお話の流れを感じられずに、次第に子ども達の関心が失われていくかもしれないという心配は杞憂に終わりました。音楽や効果音と役者さんの動きのみによって登場人物の意志の疎通の様子等が表現され物語が進んでいく一方で、子ども達は舞台で何が起きているのかを集中して見ていました。関心を持って、しかも考えて、結果的に楽しんでいるというすばらしい鑑賞活動になったと思います。」</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	420	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク			制作団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	12名が昼食をとることが出来る、体育館に近い教室を希望します。(体育館内の部屋は不可)							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック 1台							
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			15m以内							
	可	搬入経路の最低条件			特になし							
		理由										
		設置階の制限 *			問わない							
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8	高さ	1.8					
WSについて	可	参加可能人数			70名程度まで							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			45分、もしくは90分							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			350名程度まで							
	可	舞台設置場所 *			ステージ上、またはフロア							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	7m	奥行	4.2m	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			両袖に長机1台分の楽屋スペースが取れる状態				
	可				緞帳 *	不要		バトン *	要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	劇中で暗転の場面があるため					
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。						
	可			ピアノの事前調律 *		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			100A	※主幹電源の必要容量						
	その他特記事項											
	可	鑑賞の際に舞台上を転がるピンポン玉が見える状態にしますので、客席に椅子を用意してもらう場合があります。										
可	会場の分電状況により教室等から別系統の電源をいただくことがあります。											



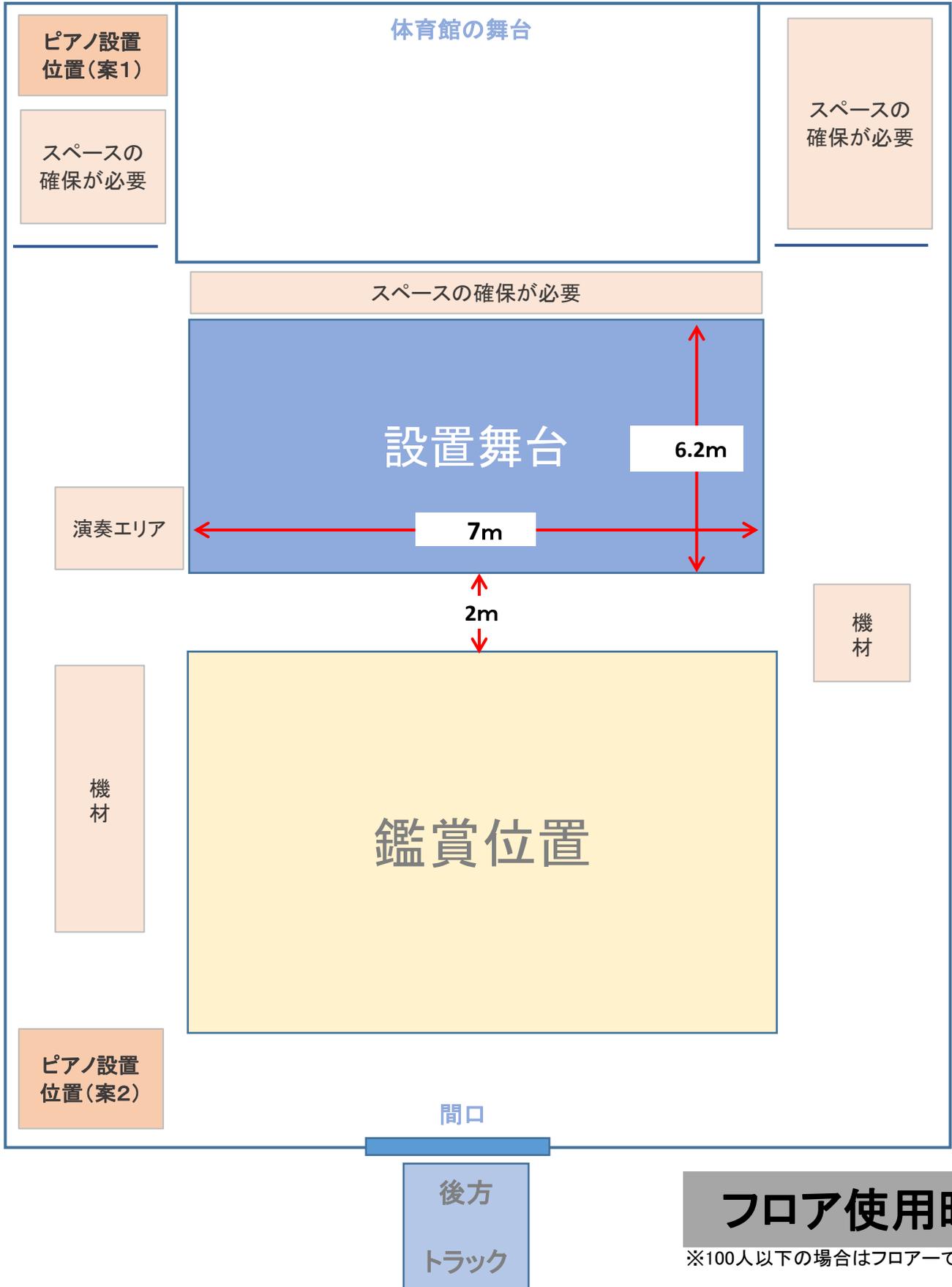
後方
トラック

舞台使用時
※101名以上の場合は舞台で対応

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		15m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

※100人以下の場合はフローアード

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		15m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

『ピン・ポン』ってどんなおはなし？

構成・演出：佐藤信

美術・演出：tupera tupera

振付・演出：竹屋啓子



光、色、音、そして……。目の前に広がる
たくさんのカラフルなピンポン玉の物語を追いながら、
家族だったり、お友達だったり、大切な宝物だったり、
自分の毎日の生活の中にまで想像力を膨らませて、
楽しめるのがこのお芝居。



セリフはほとんどありません。
何百個ものたくさんのピンポン玉、糸やスプーン、
透明のチューブやドライヤー、ビニール傘など、
子どもたちが身近でよくみる"もの"たちが、
いつもとはちょっと違うものになって登場することで、
子どもたちの想像力をかきたて、物語に躍動感をあたえ、
ライブの楽しさを伝えます。



音楽の生演奏に、覚えやすくリズムカルな歌、
コミカルなパフォーマンスやしなやかなダンス、ユーモラスな美術……。
様々な要素が絡み合って、子どもたちに楽しい演劇体験を残します。
お芝居が終わった後は、子どもも大人も、心が弾んできっと元気になれるでしょう!!!



演劇の魅力を知りつくした演出家・佐藤信（座・高円寺芸術監督）と、
カラフルな色彩と豊かな世界観で人気を集める絵本作家tupera tuperaが、
子どもたちのために心をこめてつくったお芝居です

『ピン・ポン』ってどんなおはなし？

構成・演出：佐藤信

美術・演出：tupera tupera

振付・演出：竹屋啓子

●STORY●

野原で眠ってしまった女の子。目を覚ますと、ピンポン玉が楽しそうに遊んでいた
そう、ここはピンポン玉が生きている世界
女の子が出会ったのは、恥ずかしがり屋の男の子ピンと、元気いっぱいの女の子ポン
仲良しの二人と一緒に遊んで、いろいろなところに旅をして……
やがて、ピンとポンに新しい家族が誕生しました
たくさん子どもたちに囲まれて、大家族になったピンとポン
賑やかで楽しい毎日を過ごすうちに、子どもたちもおとなになって……
……ある朝、女の子が目覚ますと、そこはいつもの散歩道
でも、女の子の心の中はとっても暖か。ピンとポンに出会えたから
これからもたくさんの友たちに会えるから



過去の上演校の感想

- 児童にとっても予想もしなかったものだったようです。
静と動や暗と明が場面によって工夫されていることなどから、
いつの間にか児童は劇に引き込まれていったように感じました
- たった4人であれだけの劇を出来るなんてすごい
- 月の目から涙のようにピンポン玉がでてきたりして(中略)不思議で神秘的
- この劇で世界中のみんなを笑顔にして、楽しませてください
- 帰ったらお母さんにじまんしたいです。さいごはハッピーエンドでしたね
- 赤ちゃんが生まれる時は、ワクワクしたし、夜にオバケが出る時は
ドキドキしたし、とても楽しかったです
- いつも使っている体育館だとは思えないくらいステージが広がった
ので、こんなに広がったかなと思ってしまいました



特別支援学校、養護学校、
聴覚支援学校でも、楽しんで鑑賞いただいています。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	○児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

○あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

○(1)公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあいげきだんかぜのこきゅうしゅう 企業組合劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表理事 仮屋 祐一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13 (最寄り駅・・・福岡市営地下鉄空港線 西新駅)		
電話番号	092-841-7889	FAX番号	092-841-7896
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこきゅうしゅう 劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表 仮屋 祐一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13 (最寄り駅・・・福岡市営地下鉄空港線 西新駅)		
制作団体 設立年月	1985年4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 仮屋祐一 理事 浅野由美子 理事 川島二郎 理事 中寫司 監事 矢野ひとみ	【創造部・・・12名】 浅野由美子、川島二郎、中寫司、小池勇治、玉木聡美、 岩永ひろこ、小山隼、高山洋輝、浦美佳、寺崎花絵、稲 永清音、寺尾実里 【企画経営部・・・5名】 仮屋祐一、鈴木恵美、矢野ひとみ、田川智士、 村垣洋子 加入条件等・・・18歳以上の健康な人 (面接・オーディションあり)	
事務体制の担当	○専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	仮屋 祐一

経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無		経理責任者名	鈴木 恵美
制作団体沿革	<p>企業組合劇団風の子九州は、1985 年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後 1993 年に法人独立し現在に至る。 児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。</p>			
学校等における 公演実績	<p>【2019 年度公演実績】 小学校公演：5作品161日 210ステージ 幼稚園・保育園公演：7作品123日 131ステージ 子ども劇場公演：8作品34日 41ステージ その他(行政、学童保育、児童館、自主公演等)：11作品134日 141ステージ 計 523ステージ</p>			
特別支援学校に おける公演実績	<p>【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、福岡県立特別支援学校北九州高等学園、嘉穂特別支援学校、 【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校 【宮崎県】みなみのかぜ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、くろしお支援学校、児湯るびなす支援学校、みやざき中央支援学校 【長崎県】川棚特別支援学校、希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校、諫早特別支援学校、島原特別支援学校、大村特別支援学校、鶴南特別支援学校 【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校 ほか公演実績多数 【福島県】大笹生支援学校 ほか公演実績多数</p>			
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無	
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します。	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: なし PW: なし	
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL		
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子九州】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生			
企画名	空想力は生きる力!「このゆびと〜まれ!」公演			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	このゆびと〜まれ! 作・演出/あさのゆみこ 音楽・効果/曲尾友克 美術/山本佐助、小峯三奈			
著作権	-	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる 有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>劇団風の子九州の作品制作は、企画の段階では原作物の案も出てはくるのですが、今を生きる等身大の子供が主人公として活躍する作品のほうが、劇団の制作姿勢が伝えられると最終的にはオリジナル作品に落ち着きます。今作も劇団員全員で子供を取り巻く状況を出し合い、背景を探り、登場人物を出し合いました。その後、脚本家を中心とした台本プロジェクトに託し、現場の先生方や今作の主人公と同じ小4の子供たちへインタビューを経て出来上がった台本なので等身大の本音を代弁しています。</p> <p>また公演現場では、オリジナル作品ということで子供たちや先生方が<u>作品展開を読めず最後までストーリーに集中</u>していて、わたしたちのモットーとするワクワクドキドキの世界を共感してもらっています。</p> <p>舞台転換も見ものです。中央に直径5m(60cm高)の廻り舞台を設置し、三面の舞台が場面毎にクルクル回転します。また大海原の場面では廻り舞台が三つに分割され、それぞれ独立して動き出し、あっという間に大海原に浮かぶ<u>大海賊船が登場</u>します。目の前のスペクタクルな光景に子供たちは圧倒され、どよめきの声を発します。</p> <p>(あらすじ)</p> <p>ヒロは小学4年生。空想遊び(ごっこあそび)の天才、いつも色々な人物になりきっています。そのためクラスではちょっと浮いた存在。父親は長期入院中で、母親は入院費を稼ぐために残業も多く、ヒロは近所の駄菓子屋のばあちゃん(スエコ)や大工のじいちゃん(銀蔵)に面倒をみてもらっています。ヒロの日課はスエコの飼犬の鉄(テツ)の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大好きな空想の時間。あるときは洞窟探検のヒロ隊長、またあるときは大海賊キャプテンヒロに大変身。</p> <p>ある日、クラスで起きた事件をきっかけに、ヒロはクラスで一番頭のいいマモルを空想の世界へ誘います。喜ぶヒロと戸惑うマモルは遊びの力を呼び戻す空想珠(くうそうだま)を探しに無限島へ!果たして二人に友情が芽生えるのか?</p> <p>子供たちの本来持っている空想する力にエールを送る作品です。</p> <p>*平成27年度文化庁・文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)助成作品 *平成30年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演-採択作品 *令和元年度・令和2年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演-採択作品 *社会保障審議会推薦児童福祉文化財(舞台芸術)</p>			
演目選択理由	<p>子供たちは、空想の世界を遊ぶことや、冒険が大好きです。かつて、子供たちは、暗くなるまで野山をかけめぐり、飽きるまで友達と遊んだものです。かたわらには子供たちを、優しく見守り、声をかけてくれた大人たちもたくさんいました。しかし、<u>現代社会の急激な変化は、様々な形で子供たちの育ちに大きな影響を及ぼしています</u>。子供時代の空想力は将来の専門的な教育を受けるときの強力な推進力になります。しかし今の時代、それを醸成するはずの三間(時間、空間、仲間)はますます奪われ、また大人たちも忙しく、<u>他人の事に無関心にならざるを得ない状況になっているのではないのでしょうか。</u></p> <p>今作の主人公の一人「マモル」には、裕福な家庭でありながら、大なり小なり色々なプレッシャーを受け、子供の本来持つ感性を萎縮させざるえない現代の子供像を投影しています。一方「ヒロ」は決して裕福な家庭環境ではないが、地域の住人に支えられ子供の感</p>			

性を謳歌している空想の天才。

この二人の交流を軸に、劇中劇のような『空想の世界』を随所に織り交ぜ、現代社会が失いつつある家族愛や、人情、友情を描きました。ある先生からは「公立小学校には複雑な家庭環境の子どもたちも通い、地域性も様々だが、この作品は、笑いの壺が随所に散りばめられていて、クラスの子供たちが分け隔てなく笑いながら、最後は主人公たちに共感している。」という声をいただきました。子供たちにとってとても心に残る作品ですので、舞台芸術への登竜門と芸術鑑賞能力の向上につながる演目になると自負しています。

- ◎ 子供たちに、目の前で繰り広げられるスペクタクルな舞台にワクワクしてもらい、想像力・発想力を高めてもらいたいと考えます。また、主人公たちと一緒に空想の世界をおもいっきり遊び、明日への希望に胸を膨らませられる演目ですので、教室や自宅に帰ってから、クラスの友達や先生・保護者らと芝居の話で盛り上がり、コミュニケーション能力の育成に役立ちます。
- ◎ 一緒に観劇してもらおう大人たち(先生、保護者等)には、子供時代を思い起こしていただき、現代の厳しい状況に追い込まれている子供たちを認識し、共感してもらい、もっと寄り添っていただきたいとの思いを込めています。
- ◎ 戦後 73 年を経た今、こどもたちに平和の尊さを伝えるべく、劇中に戦時中の子供たちの生活のエピソードを描いています。日頃の食料が乏しかった時代を想像してもらうことにより、飽食の時代を生きる子どもたちに食べ物を粗末にしてほしくないという思いを伝えたいと考えます。
- ◎ 子どもたちの出演場面は、演劇は表現あそびの延長であるという視点で、なるべくプレッシャーを与えない楽しい動きや歌・ダンスの場面にしています。ラストに客席から海賊船の前に登場した子どもたちが生き生きと歌って踊るシーンは、観客側の子どもたち、先生・親御さんたちにも、子どもたちの前途洋々の未来を感じてもらえます。

*過年度のフィードバックシートには、児童・先生・保護者の皆さんにとっても喜んでもらっている感想がつづられていました。来年度も舞台芸術に興味を持っていただけるよう、引き続き多くの子供たちに届けたい演目です。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

① オープニング

プロローグのヒロの空想の場面。映画「インディージョーンズ」風に洞窟の中で敵に追われているヒロと鉄(人間)にまわりつく、コウモリをクロスと一緒に演じてもらいます。先端にコウモリの付いた針金を持ち演じます。せりふはないが、緊張感の必要な場面。でも「だるまさんがころんだ」のような緊張と緩和のあそび感満載の表現です。ただしお客さんに「この場面をちゃんと伝える。」ということ意識して演じるという事も指導します。コウモリは手作りでも良いし、劇団でも用意できます。出演者上限6名。



*やる気マンマンの子どもたち



*コスチュームにもこだわりました。

② エンディング

子どもたちと出演者でテーマソング「このゆびと～まれ！」の歌をうたいながら踊ってもらいます。ドラマ観劇後の昂揚感にふさわしい楽しく元気な歌と踊りです。可能であれば、各自海賊の衣装や帽子を製作し着けてもらいます。出演者上限 40 名



*やり切った記念撮影！

<p>出 演 者</p>	<p>山本佐助、玉木聡美、おやまじゅん、岩永ひろこ、寺崎花絵、高山洋輝、小池勇治</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 7名 スタッフ: 1名 合 計: 8名</p>	<p>機 材 等 運搬方法</p>	<p>・マイクロバス 車長 7m ・ワゴン車 車長 5m 台 数 2 台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・<u>無</u>) 会場設営の所要時間(3 時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="392 573 1406 689"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:30</td> <td>8:30～11:00</td> <td>11:30～12:15 (午前 4 時限目)</td> <td>13:30～15:15 (午後 5,6 時限目)</td> <td>15:30～17:30</td> <td>17:30</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>*4時限目に出演する子どもたちとのリハーサルが入ります。</p> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</p> <p>*午前公演(前後の日程により可能)の場合は、前日3時間程度の仕込、当日は、1時限目リハーサル、3,4時限目本番、15:00 搬出完了</p>						到着	仕込み	リハーサル	本公演	撤去	退出	8:30	8:30～11:00	11:30～12:15 (午前 4 時限目)	13:30～15:15 (午後 5,6 時限目)	15:30～17:30	17:30
到着	仕込み	リハーサル	本公演	撤去	退出													
8:30	8:30～11:00	11:30～12:15 (午前 4 時限目)	13:30～15:15 (午後 5,6 時限目)	15:30～17:30	17:30													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	～40名																
	本公演	～500名																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>① 劇団側の自己紹介をします。</p> <p>② 子供たちの緊張感をほぐすために、<u>アイスブレイク</u>的なゲームをします。</p> <p>③ おおまかなストーリーを<u>紙芝居</u>形式で伝えます。</p> <p>④ <u>オープニングチームとエンディングチーム</u>に分かれます。</p> <p>☆ オープニングチーム、こもりの登場シーンは舞台空間の実寸に合わせて練習します。効果音に合わせて主人公にゆっくり近づくシーン、あわてて逃げるシーン、からかうシーンなどを練習します。</p> <p>☆ エンディングの歌は、事前に郵送する楽譜やCDで音楽の時間や給食時の校内放送などで覚えてもらい、当日は踊りを中心に練習します。</p> <p>⑤ こもりや海賊の帽子の作り方のヒントを指導します。</p> <p>⑥ 最後に、お互いのチームの練習の成果を見合います。客観的な視点を伝え、本番に向けて良きライバルとしてスイッチが入るようです。</p> <p>*短い時間なので、出演する子供達が本番で表現する事を楽しみに迎えることが出来るようなワークショップを心がけます。</p>																	
ワークショップ 実施形態の意図	<p>子供たちは思春期の入り口にさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前でしゃべる、ましてや人前で演じるということに相当な<u>プレッシャー</u>を感じる子どももいます。そこで、演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「<u>遊びとして楽しんで演じてほしい。</u>」と伝えるためのワークを心がけます。</p> <p>☆ こもりチームは上手(かみて)チーム、下手(しもて)チームに分かれ、リーダーの俳</p>																	

	<p>優を中心に演技を創っていきます。息のあった表現を追及してもらい、<u>協調性を高めてもらいたい</u>と考えます。</p> <p>☆ ダンスチームは歌詞に沿って覚え易い、当て振りの振付を練習し、みんなで思いきり<u>表現する楽しみ</u>を体験してもらいます。</p> <p>☆ 発表の時間は他のグループの表現をお互い見合い、自分たちの表現の振り返りをしてもらい、「<u>観客に伝える表現</u>」というものを再度意識してもらいます。このことにより友達の違った一面を感じ、自分の新たな可能性を発見してもらい、自他共に認め合う事で<u>コミュニケーション能力の育成</u>を図りたいと考えます。</p> <p>*29年度のフィードバックシートのある学校の意見に「3クラスの内、1クラスしか参加できなかったのも他の2クラスの児童のクラスの気持ちはどうだっただろう。」とおもんばかったの記述があったので、希望があれば担当先生方とよく相談して、<u>ワークは全学年、出演は1クラスでの方向に改善</u>したいと考えます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>二回の体験場面は原則として実施できるように工夫しますが、各校、各子どもたちにより被支援の状況が異なるので先生方と綿密な打ち合わせを行い、<u>表現方法の可能性を探っていきます</u>。例としては、全員で鳴り物を持ってリズムをとりながら歌い、先生方が車椅子に一人ずつ付いての車椅子ダンスを披露したこともあります。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

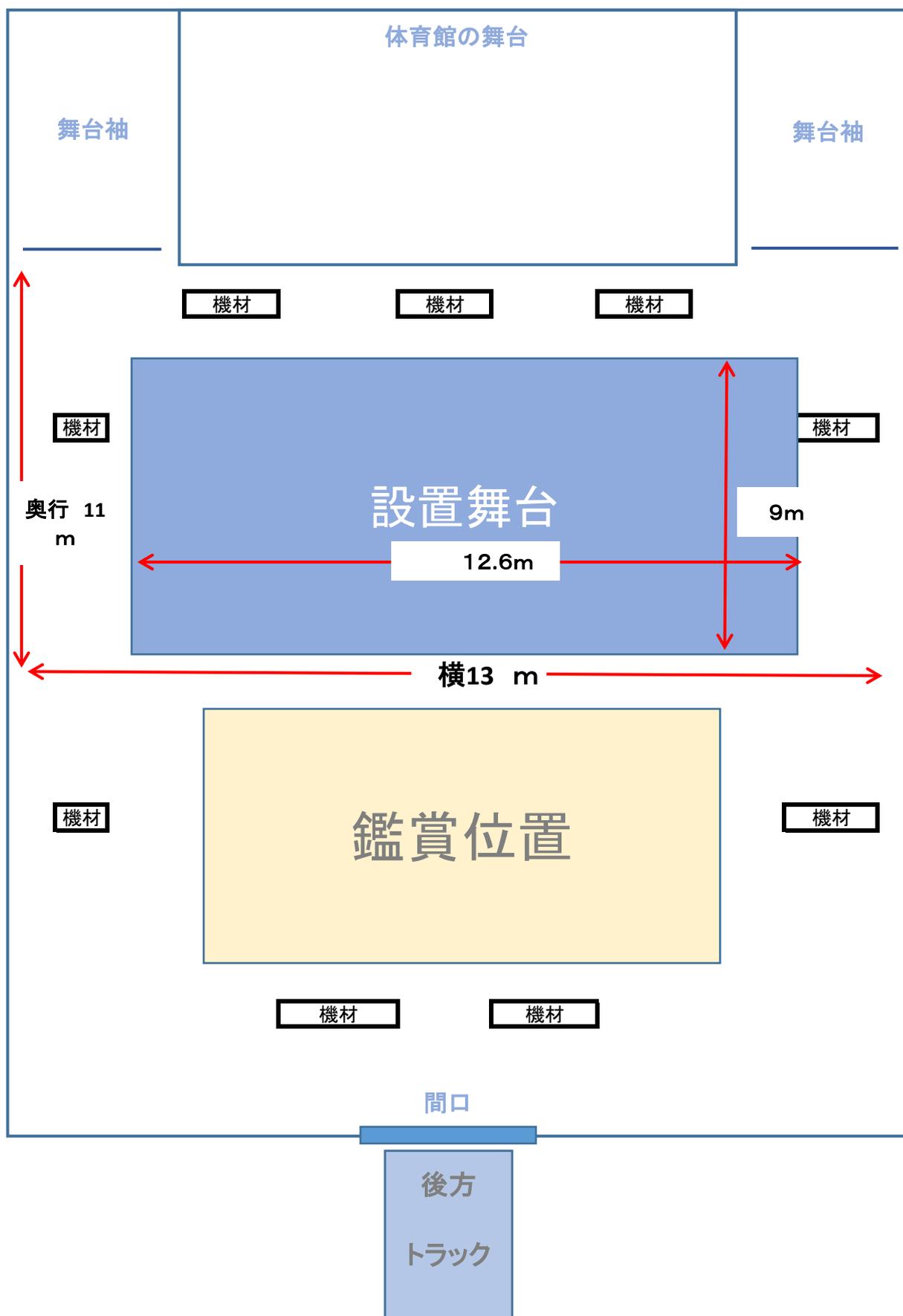
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	426	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	劇団風の子九州			制作団体名	企業組合 劇団風の子九州				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	体育館ステージが控室として使用できない場合は1室必要です。							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			マイクロバ 1台	ワゴン車 1台						
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			マイクロバス(長さ6.99、幅2.08、高さ2.63)m、バン(ワゴン車)(長さ5.38、幅1.88、高さ2.28)m							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない							
	可	搬入経路の最低条件			・雨の場合、道具が濡れない経路が望ましい。							
		理由			音響器材、照明機材、大道具等がある為。							
	可	設置階の制限 *			問わないが、1階が望ましい。							
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8	高さ	1.8					
WSについて	可	参加可能人数			40名程度まで							
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学校4年生					
	不可	所要時間の目安 単位:分			85分程度(途中休憩あり)							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			500名程度まで(上回る場合要相談)							
	不可	舞台設置場所 *			フロアに設置							
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	13	奥行	11	高さ	5			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			着替えられるスペースがあれば良い				
	可				緞帳 *	要(下がらない場合は、控室として1部屋必要です。)		バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	完全遮光でなくても公演可能。一部分でも構いません。要相談。					
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。						
	可			ピアノの事前調律 *		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			50A	(50A以下の場合要相談)※主幹電源の必要容量						
その他特記事項												

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

れいわ にねんど
令和2年度

ぶんかげいじゅつ

こども いくせいそうごうじぎょう

じゅんかいこうえんじぎょう

文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

げきだんかぜ こきゅうしゅう じどうげきこうえん
劇団風の子九州 児童劇公演

このゆびと〜まれ!



ぶんかげいじゅつ こども いくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校、中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

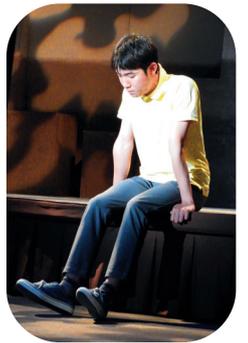
知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1944年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



文化庁



あらすじ

ヒロは、小学校4年生。仕事で帰りの遅いお母さんに代わって、近所のばあちゃんやじいちゃんに面倒をみてもらっています。ヒロの日課は、ばあちゃんの飼っている犬の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大切な時間でした。そう、ヒロの大好きな空想の時間。あるときは洞窟探検、またあるときはヒーローヒロに大変身!

ある日、クラスで一番頭のいいマモルの様子がおかしいと思ったヒロは、マモルを空想の世界に誘います。喜ぶヒロに戸惑うマモル。さあこの二人、空想の世界でどうなっちゃうの?

劇団風の子九州について

~子どものいるとこどこへでもとんでいく~

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠地を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。'子どものいるところ、どこへでもとんでいく、を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島を駆け回ってきました。

90年からは国内だけでなく、韓国・中国・インドネシア・パキスタン・インド・オーストラリアなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人たちとの交流を深めてきています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演『マンナム』を創り上演してきました。アシテジ(国際児童青少年演劇協会)の国際フェスティバルinソウルでは日本代表としても参加しました。

2015年には、劇団創立30周年を迎えることができました。これからも地域で、'子どもたちと共に未来を創る劇団、として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。



〒814-0002 福岡市早良区西新5丁目5-13
 TEL 092-841-7889 FAX 092-841-7896
<https://www.kazenoko-kyushu.com>
 E-mail: info@kazenoko-kyushu.or.jp

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, (演劇), ミュージカル ミュージカル仕立ての演劇公演です
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

(A区分のみ) ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

(あり) ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく		
制作団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク		
代表者職・氏名	理事長 ・ 牧野 望		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-1-2 (最寄り駅:JR 中央線 徒歩 5 分)		
電話番号	03-3223-7500	F A X 番号	03-3223-7501
ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく		
公演団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク		
代表者職・氏名	理事長 ・ 牧野 望		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-1-2 (最寄り駅:JR 中央線 徒歩 5 分)		
制作団体 設立年月	平成 17 年 7 月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	理事長:牧野望(マキノノゾミ) 副理事長:鈴木聡 副理事長:西山水木 理事:桑谷哲男、坂手洋二 監事:長谷基弘、平山鉄郎		主な構成員:永井愛/渡辺えり/渡辺美佐子/吉本光宏/横内謙介 [会員総数 12 名] 加入条件:理事長が別に定める入会申込書により、理事長宛に申し込むものとする。会員の入会については特に条件を定めない。
事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	和泉将朗、石原直子
経理処理等の 監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	酒井道子

制作団体沿革	<p>舞台芸術の専門家によるグループが、平成 17 年 7 月に NPO 法人として正式に活動を開始。平成 18 年 10 月には、杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」の指定管理者に選出され、同劇場の運営を開始。</p> <p>劇場を拠点とし、子どもを対象とした演劇公演の企画制作や、毎週土曜に幼児から参加できる絵本のイベント、毎週日曜に小中学生に向けたワークショップ、夏休みには親子で楽しめる工作ワークショップなど、数多く実施している。</p> <p>また、付設の演劇学校「劇場創造アカデミー」では、大学や各地域の公共劇場とネットワークを築き、舞台芸術のノウハウを文化・芸術の分野だけでなく、地域のコミュニティで生かしていくための人材を育成。</p> <p>地域の4大祭りと呼ばれる「高円寺びっくり大道芸」「東京高円寺阿波おどり」「高円寺フェス」「高円寺演芸まつり」を積極的に応援協力し、地域の活性化事業を行っている。</p>		
学校等における公演実績	<p>【演劇鑑賞教室】</p> <p>平成 21 年より、杉並区内外の小中高等学校の演劇鑑賞教室を、延べ 439 校で実施、34,000 名以上が鑑賞。演劇鑑賞教室並びに学校公演用に制作した舞台作品は、平成 23 年度児童福祉文化賞受賞作品『旅とあいつとお姫さま』、平成 24 年度児童福祉文化賞推薦作品『ピン・ポン』、平成 30 年度児童福祉文化賞推薦作品『ピノッキオ』、平成 30 年度厚生労働省社会保障審議会推薦作品『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』等、受賞作品多数。</p> <p>他、えぞこホール、あさひサンライズホール、美深町文化ホール、桐蔭学園シンフォニーホール、茅野市民会館、宮崎県立芸術劇場、目黒パーシモンホールにおける小中学生の団体鑑賞や全国の親子劇場・子ども劇場の会員も多数鑑賞。</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>平成 21 年より杉並区内外の小中学校で実施。</p> <p>当該等事業では平成 24～令和元年度に『ピン・ポン』全国各地 98 校で開催。令和 2 年度に『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』15 校で開催予定。</p> <p>【その他】</p> <p>平成 24 からの当該事業で『ピン・ポン』『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』巡回公演を実施。令和2年度の予定も含め、全国各地 116 校で上演。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成 24 年度からの当該事業で『ピン・ポン』の上演及びワークショップの実績あり。特別支援学校は 15 校、2,220 人以上が鑑賞。</p> <p>当該事業以外では、平成 27 年に茨城県の特別支援学校から直接依頼を受け『ピン・ポン』学校公演を実施。</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p>https://youtu.be/rb8ocjwun9E</p> <p>ID: PW:</p>
	A の提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	座・高円寺レパトリー『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』		
本公演演目	『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』		
原作 / 作曲 脚 本 演出 / 振付	原作 宮沢 賢治 上演台本 佃 典彦 演出 西沢 栄治 美術 長田 佳代子 振付 神在 ひろみ 音楽 園田 容子 照明プラン 横原 由祐 音響プラン 島 猛 衣裳 仲村 祐妃子		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>宮沢賢治の2つの童話『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』をベースにつくった演劇作品です。「食べる/食べられる」という低学年の児童から大人まで身近に感じてもらえるシンプルなテーマで、“命の大切さ”や“食べることの意味”を伝えます。音楽の要素と分かりやすいストーリーで、学校の教職員からも「食育に関わる内容で、学校の教育内容につながるストーリーでよかった」と好評をいただきました。</p> <p>【あらすじ】 ある国の王様が新しい法律を発令しました。それは家畜の命を取るにも、その家畜自身からの承諾が必要というもの。どうにかして豚から承諾を得ないといけなくなったフランドン農学校の校長に、それを急かす教師や早く食べたい生徒達。しかし自分が食べられることを知ってしまった豚は当然承諾書に判を押そうとはしない。そこで豚の気持ちを紛らわせようと聞かせるお話の内容は、森で迷った2人の猟師が入った料理店でヘンテコな注文をつけられ、やがて食べられそうになるもので…。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【見どころ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原作のもつ命の大切さや、食べることの意味をしっかりと受け止めてもらえる内容となっています。先生方からは1回の観劇の楽しみだけに終わらず、学校教育につながる演目であると評価を受けています。 ・誰もが知っている『注文の多い料理店』を劇中に盛り込むことで、2つの物語を楽しめます。また食べることがテーマの類似した2作品を重ねることで、『フランドン農学校の豚』の伝えたい内容がより心に残る構成になっています。 ・オリジナル曲や躍動感あふれる振付で、明るくポップな舞台になっています。 		

	<p>【上演歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 8 月、7 ステージ。(中学生以下無料で上演) ・平成 30 年 9 月～10 月、13 ステージ。 <p>(内8ステージは東京都杉並区の小学校 4 年生が授業の一環で観劇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年 9 月～10 月、16 ステージ。 <p>(内 12 ステージは東京都杉並区の小学校 4 年生が授業の一環で観劇。一般の方も中学生以下無料で観劇できる回を4ステージ)。</p> <p>【上演予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年 9 月、9 ステージ。(中学生以下無料で上演) ・令和 2 年 9 月、目黒パーシモンホールにて1ステージ。 ・令和 2 年 11 月～12 月、文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演)15 校
<p>演目選択理由</p>	<p>低学年の児童から大人までが身近に感じられる「食べる/食べられる」にまつわる 2 つの童話の一つにしました。一つにまとめるにあたり台本構成を、読売演劇大賞優秀作品賞、〃演劇界の芥川賞、ともいわれる岸田國士戯曲賞の受賞歴があり、なおかつ児童劇の経験豊かな佃典彦に委託することで、児童劇の枠に収まらない大人も子どもも楽しめる演劇作品となりました。</p> <p>【教職員の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラハラしたり、ビックリしたり、考えさせられたりと、面白くて小学生にもピッタリ。 ・ミュージカルのような構成で楽しい。 ・料理長役が死んだ豚の料理を先生や生徒が食べている様子を見て、「僕の命も報われます」と代弁した(あるいは豚自身が言った)のは感動的だった。命の教育にもなる。 <p>【児童より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶたはしんじやったけど、みんなぶたにくをおいしくたべられてよかったです。(7 歳) ・ちゅうもんの多いりょうりてんもくつついていてとてもおもしろかったです。 歌もとてもいい歌でよかったです。(9 歳女子) ・いしょうがかわったふくでおもしろかったです。それに、やくが一人一人こせいがよくあらわれており分かりやすくて、とても楽しかったです。(9 歳女子) ・食べ物をだいにしなければならぬとおもいます。(11 歳男子) <p>【大人の方々より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達に大変よい教育となりました。展開がユニークで大人も楽しめました。 ・最後のシーンは自然と涙が出た。「いただきます」の意味、子供達に伝わりますように。 ・お芝居って観た後の心の変化だと思います。このお芝居をみるのとみないのとではとんでもない違いがあると思います。それぐらい心に響きました。 ・難しい内容かな?と思いましたが、コミカルな前半、ミュージカル仕立ての部分や、劇中劇の「注文の多い料理店」など、ギュッと中身のつまった楽しい劇でした。客席芝居で話しかけてもらえて子供(7 歳と 9 歳)も喜んでいました。 ・ブタ役が入れ替わるところが予想外でそれぞれの登場人物が少しずつブタの気持ちを体験することで、つい私も感情移入し、楽しいのになんだかせつなく、いのちをいただいて生きるという普段はほとんど考えないことに思いをめぐらし、大事に頂きたいと思うと同時に主婦としておいしくお料理できるよう腕を磨かなければと思いました。

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>・ブタ役俳優が客席に逃げる場面では、皆に探すのを手伝ってもらいます。</p> <p>・ブタ鼻を付けられるとブタになってしまう設定で、出演者全員がブタ役に成り代わって演じます。劇中に代表児童1人がブタ鼻(役)のリレーに参加。</p> <p>・お芝居の最後にオリジナルの劇中歌「豚肉料理の歌」(作詞:佃典彦、作曲:園田容子)の一節をキャストと一緒にみんなで歌います。そして、この芝居のテーマでもある「いただきます」のセリフを全員で声を合わせていってもらいます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>校長・山猫 A: 宮島岳史(劇団昴) 教師・山猫 B: 柴田美波(文学座) 生徒 A・紳士 B: 塚本淳也 助手・猟師: 山田宗一郎 生徒 B・紳士 B: 小玉雄大 一年生・料理長: 安川里奈(劇団 SET)または、平体まひろ(文学座)</p> <p>計6名(一部変更の予定有)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 6名 スタッフ: 13名 合計: 19名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4t 車長 9m 台数 2台</p>



【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間(4時間程度)					
	到着	仕込み・リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～13時	13時半～14時半	適宜	15時～18時	18時半
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 ※学校条件によっては前日仕込が必要になる場合もあります。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	70名程度まで(45分毎に入替)				
	本公演	350名程度まで(それ以上でも会場条件によって可能になることもあります。)				
ワークショップ実施形態及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前半に出演者と創作に必要な技術が体験できるゲームを行い、子どもたちの表現することに対する興味をかきたてつつ、ワークショップやお芝居の世界観を共有します。 ・後半はチームを分けて「狩猟する/食べる」をテーマに俳優とともに芝居を創作し発表。 ・オリジナルの劇中歌「豚肉料理の歌」の一節を練習します。 ※人数によっては複数の学年と一緒に行えます。					
ワークショップ実施形態の意図	①俳優のリードと一緒に人前で表現する達成感を持ってもらいます。またスタッフワークに興味がある児童には音出し等スタッフの仕事を手伝ってもらい、皆の協力のもとひとつの舞台ができあがることを体験します。 ②自身が発表するだけでなく、クラスメイトの発表を観劇することでミニ鑑賞体験をし、他者の表現手法やアイデアを学ぶ機会を得ます。					
特別支援学校での実施における工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクを使う事でハッキリとセリフや音楽を届けます。視覚的にも明るく、音楽やダンスもふんだんに盛り込み楽しめますので、特別支援学校においても内容を変えずに実施することができます。 ・俳優が舞台から客席にいく場面では、移動が難しい児童の近くまで行ってお芝居に参加できる工夫を行います。 					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

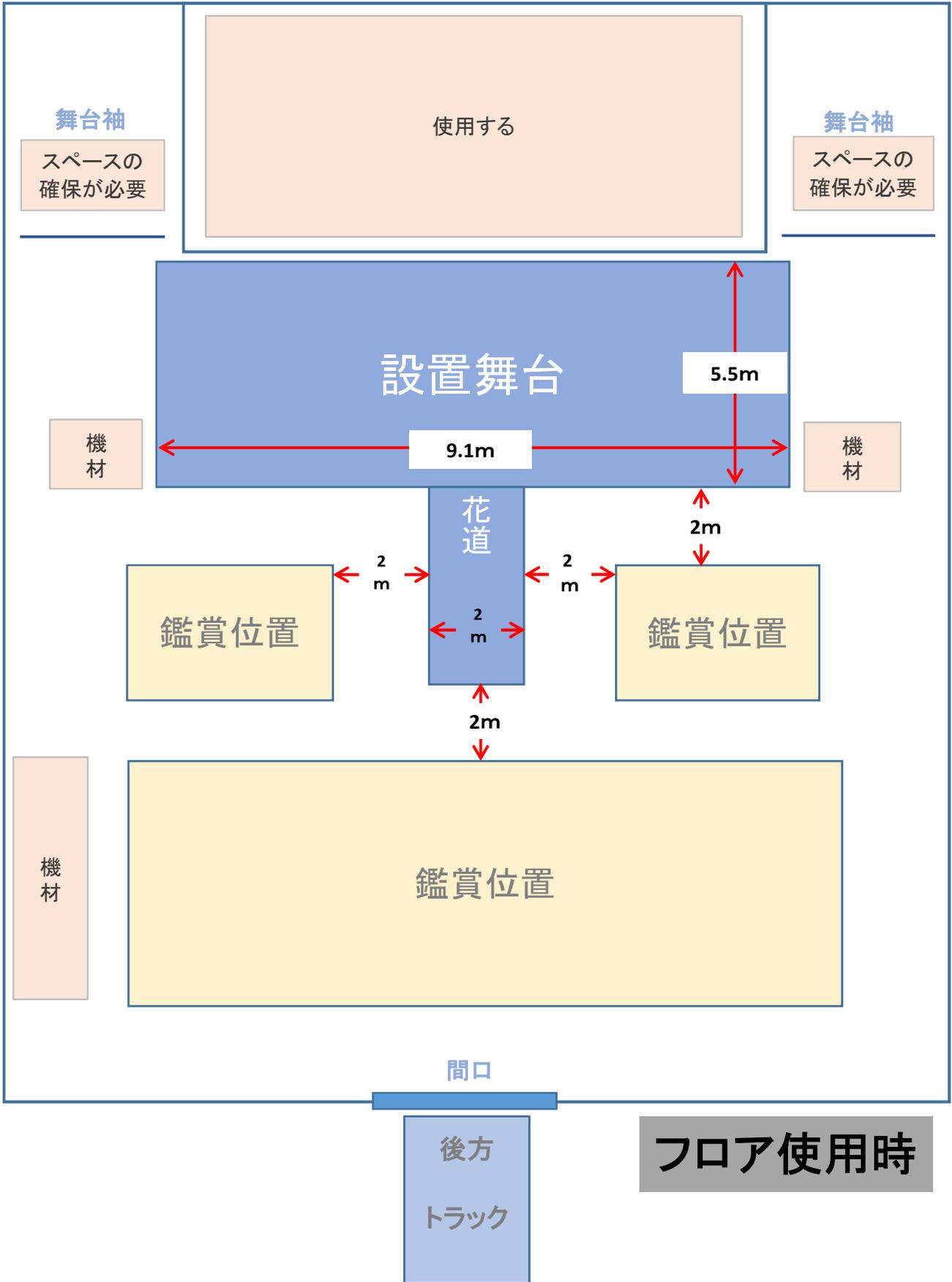
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	524	分野	演劇	種目	演劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク			制作団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	20名が昼食をとることが出来る、体育館に近い教室を希望。(体育館内の部屋は不可)					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	2台	中型バス	1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内					
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段の無い経路が望ましい。					
		理由			舞台大道具搬入の為					
	不可	設置階の制限 *			2階以上不可					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8	高さ	1.8			
WSについて	可	参加可能人数			70名程度まで(45分で入れ替え)					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			45分、もしくは90分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			350名程度まで ※体育館の大きさによる					
	可	舞台設置場所 *			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	9.1	奥行	5.5	高さ	6.5	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		移動が出来る程度			
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	劇中で暗転の場面があるため			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。				
	可			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			100A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
	可	舞台大道具の搬出入や客席の設営にご協力をいただく場合があります。								
	可	鑑賞の際に客席に椅子を用意してもらう場合があります。								
可	会場の分電状況により教室等から別系統の電源をいただくことがあります。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	5m程度			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

お芝居を観るてがかり

【スリッパと歯磨楊枝】

『フランドン農学校の豚』が書かれた大正時代、その頃の豚のえさは、食品工場からでる廃棄処分される食品や、家庭から出る食べ残などが中心でした。スリッパも歯ブラシも、今とは違う素材からできていて、スリッパには、竹の皮、イ草、蒲、といった植物が使われ、歯磨楊枝=歯ブラシは、牛の骨の柄に豚毛を植えたものだったそうです。

【ものをはかるための単位】

ちょっと聞きなれないことばを使っていますね。これは日本で、昔から使われてきた尺貫法という単位です。お芝居の中で出てくるのはこんな単位。今も、お米やお酒をはかるとき、建物を建てる時などに使われています。

【重さ】

1匁=3.75グラム
1000匁は1貫=3.75キロ

【体積】

1合=0.18リットル
10合は1升
10升は1斗=18.039リットル

【長さ】

1寸=3.0303センチ

【触媒】

そのもの自身は変化しないで他の物質の化学変化のなかだちをするもの。豚がえさを食べる=なかだちをすることによって、水やわらが肉にかわることを示しています。

【ヨークシャイア】

豚の品種。イギリスのヨークシャー州が原産の白豚。パークシャーはパークシャー州原産の黒豚のこと。

【肥育】

家畜の肉量や肉質を良くするために、運動量を制限して、良質のえさをあたえます。

【阿(亜)麻仁】

亜麻仁油。豚のえさにまぜて、肉をやわらかくする食用油。

【蹄鉄】

馬のひづめに打ちつけた鉄具。

【ショルダー】かたにく肩肉

【ぶま】

不問。間がぬけていることやようす。

【チッペラリー】

第一次大戦中にイギリスの軍隊で歌われていた、恋人を残してきた自分の故郷をなつかしむ歌。戦後、日本でも流行しました。

【傍若無人】

人のことを気にかけずに、自分勝手に振る舞うこと。中国の故事からでたことば。

【蓑帽子】

雪ん子ともいう。雪の多い地域で、雨や雪をふせぐのに用いられた、頭部から背中部分をおおう防寒具。ワラやスゲ、ぬのなどでつくられました。

【ズック】

木綿や麻を織った平織り布。帆布・テント・かばん・靴などの素材としても用います。

【金牛宮】

太陽の通り道にある12の星座のうち、2番目にあるのが金牛宮。星座でいうと牡牛座にあたります。

【弦月】

上弦または下弦の月。弓はり月



佃 典彦 つくだ・のりひこ

愛知県出身。劇作家・俳優・演出家。劇団B級遊撃隊主宰。日常に突飛な非日常が巻き起こる不条理劇を得意とし、新劇から児童劇まで幅広いジャンルを越えた作品を提供している。『KANKAN男』で第四回読売演劇大賞優秀作品賞。『ぬけがら』で第五十回岸田國士戯曲賞など受賞多数。



西沢 栄治 にしざわ・えいじ

東京都出身。演出家。JAM SESSION主宰。ギリシャ劇や歌舞伎などの古典を題材に、力強い舞台をつくる。日本演出者協会「若手演出家コンクール2003」で最優秀賞受賞。主な演出作品として『天保十二年のシェイクスピア』『女の平和』『四谷怪談』『阿部定の犬』『人間万歳』ほか。

フランドン 農学校の豚

～注文の多いオマケ付き～



知りたいことはなんだろう？

明日の天気？ テストの答え！ 晩ご飯のおかず？

いやいや。

なんで夏は暑いんだろう、とか
リトマス試験紙の赤と青について
夕飯のカレーの作り方。

それから。

あれ、カレー粉ってなにでできているんだろう？
どうやって作られるのだろう？ だれが見つけたのだろう？
いつからあるのだろう？……

大人がなんでも知ってるなんて、思ってる？

大人だってなんにも知らない、ほんとはね。

だから、きくだけじゃだめさ。

自分で、ずんずん、ずんずん考えなくちゃ。

子どもも大人も、

ずんずん、ずんずん考えれば、

いつもの夕ごはんが、特別なものになるはず！



座 高円寺
ZA-KOENJI PUBLIC THEATRE

どうして人間は食べられないのに

豚は食べられてしまうの？

お芝居をみる前に どんなお話かな？

●あらすじ

雪深いフランドン王国にある農業学校。今日は、校長先生も参加して、晩さん会が開かれます。おいしそうな料理に、みんなわくわく。でも、「待って！」それを見ていた1年生が声を上げます。だって、その料理に使われている「豚」は……。

1年生が観察しているのは、学校で育てている豚。なんでも食べる食いしんぼうの豚。生徒たちから、「糞や水から、肉や脂肪をつくる」不思議な力を持っている生きもの、なんていわれて、豚はちょっと自慢気だ。けれどある日、えさの中に自分と同じ短い毛が使われている歯磨楊枝を見つけた。なんだか変だ……。それから何べんもねたり起きたりするうちに、ずんずん太った豚は、今度は、畜産学の先生のふるまいに、首をかしげる。身体をあちこち測られたり、特別のえさを食べさせてもらったり、いままでとはちがう待遇だぞ、どうしてだろう？……。

そしてある日、フランドン王国の王さまから、「食肉にする時には、その家畜の許可が必要だ」という

法律が発令されて……。

このお芝居は、詩人・童話作家として知られる宮沢賢治さんが書いた、『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』の二つのお話からできています。どちらも大正時代後期に書かれた「食べる」ことにこだわったお話です。

お芝居に隠された大切な問い 賢治さんはなぜ “食べる”に こだわったのでしょうか

宮沢賢治さん(1896年～1933年)は、「いのちを生かす、大切に作る」という考えから、肉や魚を食べない時期がありました。自分が生きるため、ほかの生きものの命をうばう自然界のしくみについて、ずっと疑問を持ち、なやんでいたのです。賢治さんの「食べる」ことへのこだわりは、ほかの童話の中にもあらわれています。『雨ニモマケズ』『ビジテリアン大祭』『よだかの星』……。

今回のお芝居のもとになった二つの話のうち『フランドン農学校の豚』は、賢治さんが農学校の学生だったり、教師だったりしたときに、育てていた豚を食肉にするようすをみて感じたことをお話にし

たと言われています。飼育されている豚は、食べられる自分の運命をどのように感じているのだろう？

『注文の多い料理店』は、逆に、狩猟を楽しむ東京から来た二人の紳士が、動物たちに食べられる立場になってしまうお話です。自然や動物のいのちを大切にしないごうまん二人は、レストランの案内板の言葉をつごうよく受け取って、最後に自分たちが食べられてしまうという危機に直面します。

賢治さんは、友人にあてた手紙の中でこんなことも書いています。

……食べられるさかながもしわたしのうしろにいて見ていたら、何と思うでしょうか？「この人は、わたしの唯一のいのちをすてたそのからだを、まずそうに食っている」「怒りながら食っている」「やけくそで食っている」。……さかなや鳥の心づくしの犠牲があつてこそその料理を前に、不平や、これをいのちとも思わずにまずいのだろうという人たちを、食われるものが見ていたら、何というでしょうか。

いのちを生かす、 大切に作る

いのちには形がありません。いのちがあるとわかっている、いのちそのものを見ることはできません。でも、いのちはずっとずっとつながってきました。

最初にいのちが生まれたのは、38億年前。たった一つの細胞として誕生し、そのいのちをつなげるために、さまざまな種や形に進化していきました。生きものは生きも

のからしか生まれません。環境や天候の変化や、たくさんの危機を乗り越えて、生まれては死に、生まれては死に、まるでバトンリレーをするかのように、いのちをつなげてきたのです。そして、およそ700万年前に人類が誕生しました。

今、私たちがここにいるために、どれだけ多くのいのちがつながってきたのでしょうか。みなさんは、お父さんとお母さん二人からのちをさずかりました。お父さんとお母さんは、そのまたお父さんとお母さんから生まれました。そのまたお父さんのお父さんとお母さんと……そうやって、どんどんどんどんさかのぼってみると、だいたい500年くらいの間に、みなさんのいのちのために2000人をこえる人のいのちがつながっていることがわかります。つまりその2000人をこえる人の一人がいなくても、みなさんは生まれなかったのです。みなさんは生まれてきたのです。逆を考えてみましょう。みなさんのいのち、たった一人のいのちは、この先500年に何人のいのちにつながることにになりますか？

それだけではありません。朝食、給食、おべんとう……、食卓にならんだ、ごはんやおかず。あたりまえに、食べていませんか？ だから、口に入れるそのまえに、ちょっとだけ想像してみてください。肉や魚、野菜や果物……、料理される元のすがた。世界中の食べ物が手に入る理由。それから、どんな人が育てたのかな、とか、どこで、どんなふうで、育ったのかな、とか。

わたしたちは、生きるために、いろいろなものを食べています。私たちは生きものしか食べられま



舞台写真(2019年)●梁丞佑

せん。つまり、たくさんのいのちをいただいている。そうしたいのちに、生かされている。そのことを忘れないように、ごはんを食べる。大切に食べる。おいしく食べる。のこさず食べる。絶対、あしたの元気の素にする!

灰色の気分……灰色にしてややつめたく、透明になるところの気分

自分の身体中の毛が風に吹かれた草のよう、ザラザラッと鳴ったのだ

この教師は時々まるで北極の、空の様な目をして豚の体をジッと見る

風がどうと吹いてきて、草はざわざわ、木の葉はかさかさ、木はごんごんと鳴りました

音、におい、気温やさわった感じ、まるで身体全体でお話を体験しているような気がしませんか？

お芝居では、俳優たちが話すこうした賢治さんのことばのほか、歌や音、ダンスや動き、衣装や美術を加えて、みなさんが、お話の世界を旅する助けをしています。俳優たちがかわるがわる豚になるのもその工夫のひとつです。どうぞ、みなさんも豚の鼻を受け取ったつもりで、賢治さんがみなさんに伝えたかったことを一緒に考えてみてください。

童話から お芝居を作る時に、 どんな工夫を しましたか？

●脚本について 一佃 典彦

宮沢賢治の作品のとても大きな特徴は、その独特の言葉がもつニュアンスにあると思って、原作の言葉を大事にしました。そう語るのには、このお芝居を書いてくれた佃典彦さん。

そうなんです。賢治さんのお話には、現実のようでいて夢のよう、日常のようでいて自分が考えたこともない世界に連れていってくれる、とても不思議な力があります。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ○ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ ○なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ ゆうげんしゃ 有限会社 遊玄社		
代表者職・氏名	代表取締役 田邊慶一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野 3-4-2 (JR 東中野駅)		
電話番号	03-3369-4319	FAX番号	03-3369-4319
ふりがな 公演団体名	えんげきしゅうだん ゆうげんしゃ 演劇集団 遊玄社		
代表者職・氏名	代表 田邊慶一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒〒164-0003 東京都中野区東中野 3-4-2 (JR 東中野駅)		
制作団体 設立年月	平成6年6月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 田邊慶一 取締役 田邊俊子	赤羽弘行、桑垣紀彦、平山盛一、間辺稔、矢田秀明、 柳井萬治郎、 馬渡千春、わたなべひろみ、安井希久子 野田ヒカル、細川薫、三浦咲	
事務体制の担当	専任 ・ ○他の業務と兼任	本事業担当者名	田邊慶一
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	田邊俊子

制作団体沿革	平成6年6月設立。振付・演出家関矢幸雄氏のもとで長年、演劇・ミュージカルに取り組んできた俳優とスタッフが、新たな演劇表現の可能性を求めて結成。自由な発想で既成の演劇表現や観客の年齢・国籍に囚われない舞台の創造を目指す。		
学校等における 公演実績	平成30年9月5日～13日 宮城県文化育成事業 令和元年9月21日～28日 鹿児島県「市町村による青少年劇場」		
特別支援学校に おける公演実績	平成29年 茨城大学教育学部附属特別支援学校 平成30年 東京都立墨東特別支援学校 兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校 香川県立香川中部養護学校		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目のDVD または WEB 公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のID およびパスワード	ID: PW:
	Aの 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

演劇集団 遊玄社】

対 象	小学生(○低学年 ・ ○中学年 ・ ○高学年) ・ 中 学 生		
企画名	音楽劇・イソップランドの動物たち		
本公演演目	音楽劇・イソップランドの動物たち		
原作／作曲	原 作／イソップ寓話	構成・演出／関矢幸雄	
脚 本	音楽・演奏指導／Themba Tana(テンバ・タナ)	美 術／中地智	
演出／振付	照 明／佐久間巨照	衣 装／本田朋子	
	演 出 補／花輪充	制 作／田辺慶一	
	公演時間(1時間 25分)		
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる
			(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	この作品は数多あるイソップ寓話から、「ライオンとネズミ」「キツネとカラス」「犬とオンドリとキツネ」「カニの親子」「アリとキリギリス」「オオカミと羊番の少年」「ウサギとカメ」「王様を欲しがったカエルたち」の八つのエピソードを選び構成したオムニバス・ミュージカル・コメディです。音楽は南アフリカ出身の民族音楽家テンバ・タナ氏(カナダ在住)を招き、ジンバブエの楽器店に注文製作したマリンバ、フィンガーピアノをはじめとする民族楽器とアカペラコーラスで、20曲を超えるミュージカル・ナンバーのすべてを9人の俳優が演奏し歌います。舞台芸術の最大の魅力は『生』という考えから、音響機材は一切使わず、音楽はもちろんのこと、鳥や動物の鳴き声などの効果音に至るまですべて生の音で伝えます。		
演目選択理由	イソップ寓話はよく知られているがゆえに、古臭い教訓話として捉えられがちです。しかし、その内容には、動物の姿を借りて現代にも通じる人間の在り様が、楽しく陽気に描かれています。「笑い」は生物の中で人間だけが持つ良き生命の証しの一つです。しかしながら、今の子供たちの笑いには後味の悪いものも多数見受けられます。それは弱者を揶揄したり、自虐的な言動で笑いを取ろうとするものなどです。残念ながら、その種の笑いが好きなのも子供たちです。イソップの教訓話を材料として、それとは異なる屈託ない笑いを表現、体験できたらと考え、身体とアフリカ民族音楽の生演奏の表現を中心に据えたミュージカルとして制作いたしました。		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	この作品は初演当時から、観客の参加・共演が劇中に組み込まれています。 「ウサギとカメ」の上演後に『みんなで遊ぼう』という場が 20 分近くにわたり展開されます。 内容は、〈1. 俳優が扮する動物の名前当て。2. 子供たちが好きな動物に扮し、俳優の演じる動物と吠え声を競う。3. 俳優の扮するワニの棲む川を子供たちがつかまらずに渡る。4. 渡ろうとする子どもを民族楽器の演奏で応援する。〉といったものです。 外部から受けた文化・芸術的な刺激をすぐにでも実践してみたいのが成長過程にある人間の特性の一つです。それを実現させ、実際の舞台の上で演劇の原点とも言える「表現遊び」を楽しんでもらえればと願っています。		
出 演 者	赤羽弘行、桑垣紀彦、平山盛一、間辺稔、矢田秀明、柳井萬治郎 馬渡千春、安井希久子、わたなひろみ		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 9名 ス タ ッ フ: 2名 合 計: 11名	機 材 等 運搬方法	積載量 3.6t 車 長 8.6m 台 数 1台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・○無)会場設営の所要時間(2.5 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時45分	9時～12時	13時15分～ 14時40分	なし	15時～ 16時40分	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	120名				
	本公演	450名				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>生徒(最大120名くらいまで)を対象に以下のような手順で「表現ワークショップ」を行います。</p> <p>② 参加生徒各自が名札(自分が呼ばれたいと思う愛称)を書いて、胸に貼る。</p> <p>② お手玉を使って、準備運動と相手との距離を認識する遊び。</p> <p>③ バンダナ等の布を工夫して動物の形態を表現する。</p> <p>④ 劇中で使われる簡単な身体表現を体験する。</p> <p>⑤ アフリカ民族楽器(ジャンベ、カンコグイ、カバサ)を使ってのリズム遊び。</p> <p>⑥ 劇中曲(民族音楽)の演奏と歌唱指導。(コロナ要注意時は歌唱の代わりにリズム参加)</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>舞台芸術は、複数の人間がその創作に係わり、複数の人間が、同じ場所で同時に鑑賞できるという特性から、他の芸術ジャンルに比べ社会性を強く持つものの一つです。とりわけ演劇は芸術の様々な分野の性格を併せ持つ総合芸術と言われ、人と人との関係を表現することで、個々が担う社会性や社会正義を認識する一助となり、健全な人間社会の維持に一定の役割を果たしていると思われまふ。そのための表現の基礎を、楽しく経験してもらおうという意図で上記のような実施形態を取ります。</p> <p>①は自分以外の人格を認識してもらおうという意図。②では、お手玉をいろいろな距離、方法で投げ合い、表現は相手に伝わるということが重要ということをも身を持って体験してもらおうという意図。③、④は芸術を受け取るのに必要な感性や想像力を働かせて、創造へと繋げて欲しいとの意図。⑤は異文化を楽しく体験し、⑥では、より楽しく作品を観て、参加してもらおうためのものです。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>(ワークショップ)音楽を中心に、指導者が参加者と同じ目の高さで、個々の状態・コンディション・体調に合わせた表現方法の指導と、リズム遊びの実践。</p> <p>(公演)今までの経験から、特に変更の必要はないと思います。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

「音楽劇・イソップランドの動物たち」出演予定メンバー表

1. 桑垣 紀彦(くわがき みちひこ) 昭和 31 年 9 月 3 日生
2. 柳井 萬治郎(やない まんじろう) 本名:智寿(ともひさ) 昭和 31 年 2 月 14 日生
3. わたなべ ひろみ 本名:渡部 浩美 昭和 35 年 7 月 29 日生
4. 赤羽 弘行(あかば ひろゆき) 昭和 38 年 1 月 28 日生
5. 矢田 秀明(やた ひであき) 昭和 36 年 8 月 19 日生
6. 平山 盛一(ひらやま せいいち) 昭和 45 年 6 月 1 日生
7. 間辺 稔(まなべ みのる) 昭和 52 年 10 月 7 日生
8. 安井 希久子(やすい きくこ) 昭和 52 年 11 月 6 日生
9. 馬渡 千春(まわたり ちはる) 昭和 59 年 6 月 7 日生

令和 2 年 8 月現在

演劇集団 遊玄社

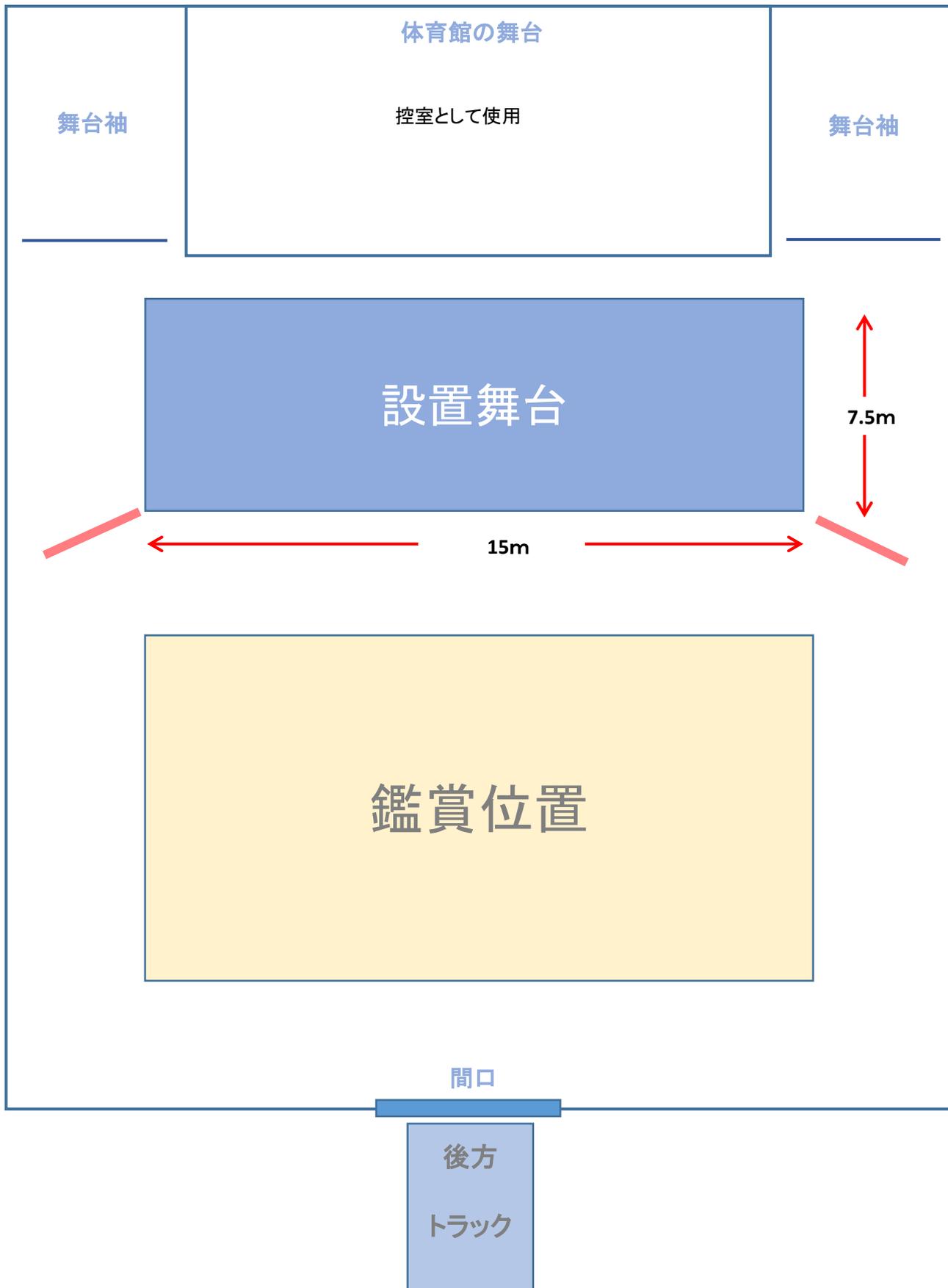
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	614	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック		区分	A区分
公演団体名	演劇集団 遊玄社			制作団体名	有限会社 遊玄社				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	体育館にステージがある場合はステージ上を控室として使用いたします。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台	小型バス	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(長さ8.6m、高さ3.3m、幅2.3m)					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			15m以内					
	可	搬入経路の最低条件			搬入口の大きさ：間口2m、高さ2m					
		理由			最大の幕パネルの搬入のため。					
	可	設置階の制限 *			1階					
	可	搬入間口について 単位：メートル		幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			120名程度					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
		所要時間の目安 単位：分			90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			450名程度					
	不可	舞台設置場所 *			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル		幅	15m	奥行	7.5m	高さ	4m	
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *					
	—				舞台袖スペースの条件 *					
	—				緞帳 *			バトン *		
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	演出上。公演時、窓・扉の開放も可。			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *				※指定位置は会場設置図面に御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律 *						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納できれば可				
	可	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		15m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和2年度

文化芸術による子供育成総合事業

— 巡回公演事業 —

演劇集団 遊玄社

《ミュージカル公演》

音楽劇

イ・ハ・フ・ワ・フ・ン・ドの
動物たち



「文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁

●この劇に出演する俳優と役柄●

赤羽弘行 くわがきみちひこ	キツネ、ウサギ、カエル	他
桑垣紀彦 ひらやませいいち	カニのお父さん、カエル	他
平山盛一 まなべみのる	オンドリ、羊番、カエル	他
間辺稔 やだひであき	アフリカドラム、マリンバ	演奏 他
矢田秀明 やないまんじろう	カラス、カメ、カエル	他
柳井萬治郎 まわたりちはる	ライオン、キリギリス	他
馬渡千春 やすいまくこ	ネズミ、カニの子ども	他
安井希久子	ジャンベ	演奏 他
わたなべひろみ	アリ、ヒツジ	他

●この劇を作った人たち●

原作 (劇のもととなる話をつくった人)	イソップ
構成・演出 (せりふや俳優の動きをつくった人)	関矢幸雄
音楽 (曲をつくったり、演奏や歌の指導をした人)	テンバ・タナ
美術 (舞台の装置をデザインした人)	中地 智
照明 (舞台の照明のあてかたをデザインした人)	佐久間巨照
演出補 (演出をたすけた人)	花輪 充
制作 (劇を企画した人)	田辺慶一

演劇 遊玄社 〒164-0003 東京都中野区東中野3丁目4番2号
TEL.03-3369-4319 E-mail: tc@yugensha.co.jp

げき 劇について.....

「音楽劇・イソップランドの動物たち」は、日本でも古くから知られているイソップ物語のたくさんの中から、8本を選んで音楽劇にしたものです。

音楽は南アフリカ共和国出身 (現在はカナダに住んでいます) の民族音楽家テンバ・タナさんが担当しました。アフリカの人たちが作つためずらしい楽器を使い、出演者がすべての音楽を舞台の上で演奏し、歌います。曲目は南アフリカ、ナミビア、マラウイ、ジンバブエ、モザンビークなど、アフリカ南部の国に昔から伝わる仕事の歌、子守歌、それにわらべ歌などです。



ものがたり

◆ライオンとネズミ

ライオンが昼寝をしていると、小さなネズミがぶつかりました。ライオンはネズミをつかまえると、すぐに食べてしまおうとします。ところが――

◆キツネとカラス

カラスがチーズをくわえて、高い木の上で休んでいるところへキツネがやってきて――

◆犬とオンドリとキツネ

犬とオンドリが仲良しになり、いっしょに旅に出ました。夜になり、オンドリは木の上で、犬は門番のために根もとの穴で寝ました。夜明け近くになり、オンドリがいつものように「コケッココー!」と時を告げたので、ニワトリが大好き物のキツネに見つかってしまいます――

◆カニのおやこ

カニの親子がいました。お父さんがニは、子どものカニが横にしか歩かないのを見て、怒りだしますが――

◆アリとキリギリス

夏の間は働かないで遊んでばかりいたキリギリスが、冬が近づき食べ物もすっかりなくなり、働きもののアリの家をたずねますが――

◆オオカミと羊番の少年

羊番の少年が村の人たちにいたずらをしてやろうと、オオカミが出たとうそをつきます。なんどもなんどもうそをついているうちに――

◆ウサギとカメ

うまわつき足の速いウサギと、足のおそいカメが競走をすることになりました――

◆王様を欲しがったカエルたち

よごれた池に住むカエルたちのお話です。きれいで住みやすい池にしてみらうために、りっぱな王様をさずけてくださいと、神様にたのみますが――

この劇でうたわれる主な歌

「イソップランドの動物広場」

さあ歌おう さあ踊ろう 動物たちと遊ぼう
 笑い声 こだます イソップランドの広場
 ほら見えてくるよ たいせつなものが
 やさしい心と あふれる笑顔
 さあ歌おう さあ踊ろう 動物たちと遊ぼう
 笑い声 こだます イソップランドの広場



「イソップランドの動物たち」

(原曲: CHENGA MIRA)

CHENGA MIRA HIZOSITORA USISEE
 NKULULEKWENI
 意味(友だちはいのちと同じ みんないっしょに きてごら
 んみんなで しあわせもちよう)
 CHENGA MIRA HIZA HIZA HIZA HIZA
 (友だちはいのちと同じ そうさ そうさ そうさ そうさ)
 CHENGA MIRA HIZA HIZA HIZA HIZA
 (友だちはいのちと同じ そうさ そうさ そうさ そうさ)
 イソップランドの動物の話は そんなにむかしの遠い
 話じゃない
 ほら いつでもある どこでもある そんな話
 今日の話 パパの話 ママの話 きみの話 ほくの話

この劇で使われるアフリカの楽器

●ジャンベ (Zimbe)

西アフリカでよく使われるたいこです。大きなさかずきのような形のお
 かげで、低音から高音までいろいろな音色が奏でられます。

●アペンテマ (Appentema)

アフリカ南部で使われているたいこで、一本の木をくりぬいて胴を作
 ります。スプリングボックなどの野生の鹿の皮を張ります。

●マリンバ (Marimba)

アフリカの木琴です。ムクワというかたい木で鍵盤を作り、ひょうたん
 を下につけて音を大きくします。この劇で使われているものは、ジンバ
 ブエ第二の都市ブラワヨの楽器屋さんに作ってもらったものもあり、そ
 れには、ひょうたんのかわりにプラスチックの管が使われています。

●ンビラ (Mbira)

英語でフィンガー・ピアノ (指ピアノ) と呼ばれています。アフリカの代
 表的な楽器の一つです。板の上に取りつけられた金属の鍵を親指と
 人さし指ではじいて演奏します。

●カバサ (Kabassa)

ひょうたんにじゅず玉をぬいこんだ網をかぶせてあります。
 マラカスのもとになった楽器です。

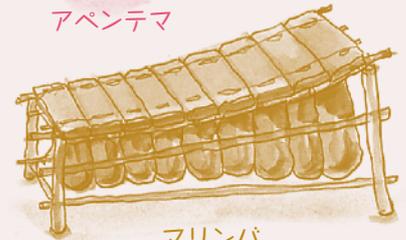
●カンコグイ (Kankogui)

英語ではカウ・ベルといい、牛の首につける鐘のことです。
 棒でたたいてリズムをとる楽器です。



アペンテマ

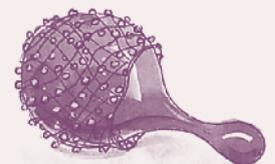
ジャンベ



マリンバ



ンビラ



カバサ



カンコグイ

えんげきしゅうだん ゆうげんしゃ しょうかい
・演劇集団 遊玄社の紹介・

ゆうげんしゃ えんしゅつか せきやゆきおし ぶたいげき とくく はいゆう
 遊玄社は、演出家・関矢幸雄氏のもとで、舞台劇やミュージカルに取り組んできた俳優とスタッフが
 あら えんげきそうどう か のうせい もと ねん せつりつ えんげきしゅうだん けいしき かんきやく ねんれいそう
 新たな演劇創造の可能性を求めて、1994年に設立した演劇集団です。ジャンルや形式、観客の年齢層
 にもこだわらない自由な発想の舞台創りを目指しています。また、演劇の最大の魅力は『生』であるとの
 かん はいゆう しんたい こえ ひょうげん さいじゅうようし おんきょうきざい いっさいつか おんがくげき とくく
 考えから、俳優の身体と声の表現を最重要視し、音響機材を一切使わない音楽劇に取り組んでいます。



し 知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～
 がつ いたち こくさい おんがく ひ

1977年(ねん)にユネスコ(ようせい)で設立(せつりつ)された国際音楽評議会(こくさいおんがくひょうぎかい)という会議(かいぎ)で、翌年(よねん)の1978年(ねん)から毎年(まいとし)10月1日(がつ いたち)を、
 世界(せかい)の人々(ひとびと)が音楽(おんがく)を通じて(つう)お互い(たが)に仲良(なかよ)くなり交流(こうりゅう)を深(ふか)めていくために「国際音楽の日(こくさいおんがくひ)」とすることとしました。
 日本(にほん)では、1994年(ねん)から毎年(まいとし)10月1日(がつ いたち)を「国際音楽の日(こくさいおんがくひ)」と定(さだ)めています。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん かたやまけのうがく・きょうまいほぞんざいだん		
制作団体名	公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団		
代表者職・氏名	理事長 片山清司		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒605-0088 京都市東山区新門前大和大路東入西之町224 (京阪電車三条駅、地下鉄三条京阪駅下車徒歩5分)		
電話番号	075-561-6535	FAX番号	075-532-2841
ふりがな	こうえきざいだんほうじん かたやまけのうがく・きょうまいほぞんざいだん		
公演団体名	公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団		
代表者職・氏名	理事長 片山清司		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒605-0088 京都市東山区新門前大和大路東入西之町224 (京阪電車三条駅、地下鉄三条京阪駅下車徒歩5分)		
制作団体 設立年月	平成8年6月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 片山清司 理事 稲盛和夫(京セラ株名誉会長) 井上八千代(京舞・人間国宝) 他6名 ※「No.1別紙 理事・監事名簿、評議員名簿」参照	※定款参照	

事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="radio"/> 他(の業務と兼任)	本事業担当者名	駒井 潤
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	経理責任者名	駒井 潤
制作団体沿革	<p>観世流片山家は世阿弥が大成した能の伝統を京都で受け継いでいる家柄。明治期に至るまで「禁裏御能(きんりごのう)」と呼ばれる、御所において天皇が主催される能に奉仕するという大役を受け持っていました。明治期に六世片山九郎右衛門と京舞井上流三世家元井上八千代の結婚とともに、一つ屋根の下に「能」と「京舞」という二つの伝統芸能が共存することとなりました。能・京舞の技術的な伝承だけでなく、数多く保存されている能面や能装束なども後世により良い形で残していきたいということもあり、財団法人化への機運が高まり、平成8年6月に財団法人を設立。その後、平成23年6月に京都府より認可を受け、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団となりました。京舞井上流四世家元井上八千代、九世片山九郎右衛門(片山幽雪)、京舞井上流五世家元井上八千代の親・子・孫と三代にわたり三人の人間国宝を輩出している。</p>		
学校等における 公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立命館小学校にて年間を通じて特別授業年約30回、小公演・ワークショップ年2回(平成18年より毎年) ・香川県高松市教育委員会の依頼により、高松市内小中学校にて公演・ワークショップ(平成12年より毎年10月、昨年は6校) ・同志社中学校能楽鑑賞会にて公演(平成14年より毎年2月) ・京都外国語大学にて特別講義およびワークショップ(平成25年より年2回) ・京都大学能楽鑑賞会にて公演(昭和31年より毎年12月) ・京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)にて特別講義およびワークショップ(令和2年1月25日実施) ・高台寺にて、修学旅行生(主に中学生、学校単位にて)を対象に臨濟宗の法話の後、公演・ワークショップ(平成20年より毎年50校程度) 		
特別支援学校に おける公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年5月14日岡山県健康の森学園支援学校にてワークショップ ・平成27年6月19日岡山県健康の森学園支援学校にて公演 		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVD を提出します。
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団】

対象	小学生(<u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>) ・ <u>中学生</u>		
企画名	いだてん ～韋駄天が大活躍の古典ファンタジー～ 絵本語りとともに楽しむ 能「 <u>舍利</u> 」～		
本公演演目	能「舍利(しゃり)」		
原作／作曲 脚 本 演出／振付	従来は世阿弥の作とされていたが不明		
	公演時間(90分)		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>① 絵本語り「舍利」(15分)</p> <p>能のお話を絵本にした「舍利～韋駄天と足疾鬼～」(文 片山清司、絵 小田切恵子、企画制作 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団、発行 BL出版)の画像をステージ上のスクリーンに映して、紙芝居のように場面を展開し、絵本の朗読をします。後で本物の能をみる時に、この絵本語りが鑑賞の大きな手引きとなります。</p> <p>② 児童、生徒共演による仕舞 (15分)</p> <p>能楽師と共演する形で児童、生徒が舞台上で謡(うたい)、仕舞(しまい)を実演します。</p> <p>③ 能「舍利」(45分)</p> <p>京都の泉涌寺に足疾鬼(そくしつき)という足の速い鬼が現れ、お寺の宝である「舍利」を奪って逃げます。泉涌寺にある「舍利」とはお釈迦様の歯のことで、この舍利を取り戻すためにお祈りをすると、泉涌寺の守護神である韋駄天(いだてん)が現れ、足疾鬼を追いかけます。天上世界を自在にかけめぐり、宇宙を又にかけた壮大な古典ファンタジー。さて、追いかけこの顛末は…。</p> <p>能の曲の中で五番目物といわれる華やかでテンポの良い曲です。豪快で迫力のある演技をお楽しみいただけます。</p> <p>④ 質疑応答(15分)</p> <p>児童・生徒の質問に能楽師が直接、回答します。</p> <p>※本物の能を体感していただくために、京都から能舞台を運び学校の体育館を能楽堂に変身させます。また、演目の一部分やダイジェスト版ではなく、能「舍利」一曲を通して鑑賞いただけます。</p>		
	 		

演目選択理由	<p>能「舍利」は、京都の泉涌寺に安置されているお釈迦様の歯をめぐって、鬼とそれを追いかける韋駄天という神様との攻防が描かれています。ストーリーがわかりやすく、また鬼と神様というキャラクターの親しみやすさもあり、子どもたちにも、古典芸能を十分に楽しめる作品です。作品の中では鬼になっていますが、いろいろなタイプの人間を許容する、中世以来、能の曲目に流れる人間の心の優しさを感じ取っていただくことができるでしょう。</p> <p>ワークショップの際もこの「舍利」の一部分の謡と仕舞をお稽古しますが、初心者でも取り組みやすく、身体全体を使う楽しい内容になっています。また、当財団で制作した能の絵本「舍利～韋駄天と足疾鬼～」の絵本語りと合わせて鑑賞することによって、より深い理解が得られると考えています。</p>		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	<p>児童・生徒が能楽師とともに舞台上がり、謡(うたい)と仕舞(しまい)の発表をしていただきます。発表の内容は後で見ていただく能の一部分にあたるので、自分がお稽古していたことを、能の舞台で確認していただくことができます。ワークショップに参加した児童・生徒全員が舞台上がり発表することになります。</p>		
出演者	<p>観世流片山家十世片山九郎右衛門(かたやま くらうえもん)をはじめ、観世流片山家一門の能楽師を中心に、能楽界の第一線で活躍中のシテ方、ワキ方、囃子方、狂言方が一公演につき17名出演します。</p> <p>※出演予定者は、「No.2 別紙メンバー表」の通り。</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 17名 <u>スタッフ: 8名</u> 合計: 25名</p>	機材等 運搬方法	積載量 2 t 車長 5.5m 台数 1台

【公演団体名 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2時間30分程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30~11:00	13:20~15:00	10分	15:00~17:00	17:00
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	150名ぐらいまで				
	本公演	500名(スペースがあれば500名以上でも可)				
ワークショップ 実施形態 及び内容	能楽全般について、また、本公演で鑑賞する能「舍利」について、わかりやすく解説をした後、能楽師の丁寧な指導のもと「舍利」の謡(うたい)と仕舞(しまい)のお稽古に取り組んでいただきます。ワークショップ実施後、本公演までの期間、発表に向けて児童・生徒に自分たちでお稽古をしていただきます(お手本の映像が入ったテキスト DVD 有り)。開催校の先生と相談の上、基本的にはワークショップに参加の児童・生徒全員に本番の公演の日に能舞台の上で発表をしていただきます。					
ワークショップ 実施形態の意図	お稽古の内容は、本公演で鑑賞する能「舍利」の一部分です。自分たちが学び、発表したことが、本物の舞台では、どのように展開されるのか、それを確認できるのが本番の公演になります。ただ、ワークショップをするだけ、発表するだけ、公演をみるだけ、というのではなく、ワークショップやその後のお稽古を頑張るほど、本公演を楽しくみることができ、より深い理解につながっていくという一連のプログラムになっています。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	古典芸能という性質上、公演について内容や表現方法を変えるというわけにはいかないが、支援学校には様々な形態があり、実際に公演、ワークショップに参加する児童・生徒の状況を確認した上で、担当の先生と綿密に協議し、お互いに、できること、できないことをきちんと把握し、その中でよりよい形を考えていきます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

出演予定メンバー表（一例）

能「舍利」

シテ（足疾鬼）	片山 九郎右衛門	☆
ツレ（韋駄天）	味方 玄	☆
ワキ（旅僧）	宝生 欣哉	☆
間狂言（堂守）	小笠原 匡	☆
囃子方（笛）	杉 市和	☆
〃（小鼓）	吉阪 一郎	☆
〃（大鼓）	河村 大	☆
〃（太鼓）	前川 光範	
後見	青木 道喜	☆
〃	大江 信行	☆
〃	大江 広祐	
地謡	古橋 正邦	☆
〃	分林 道治	☆
〃	橋本 光史	☆
〃	田茂井 廣道	☆
〃	橋本 忠樹	☆
〃	梅田 嘉宏	

☆印は、重要無形文化財（総合指定）保持者

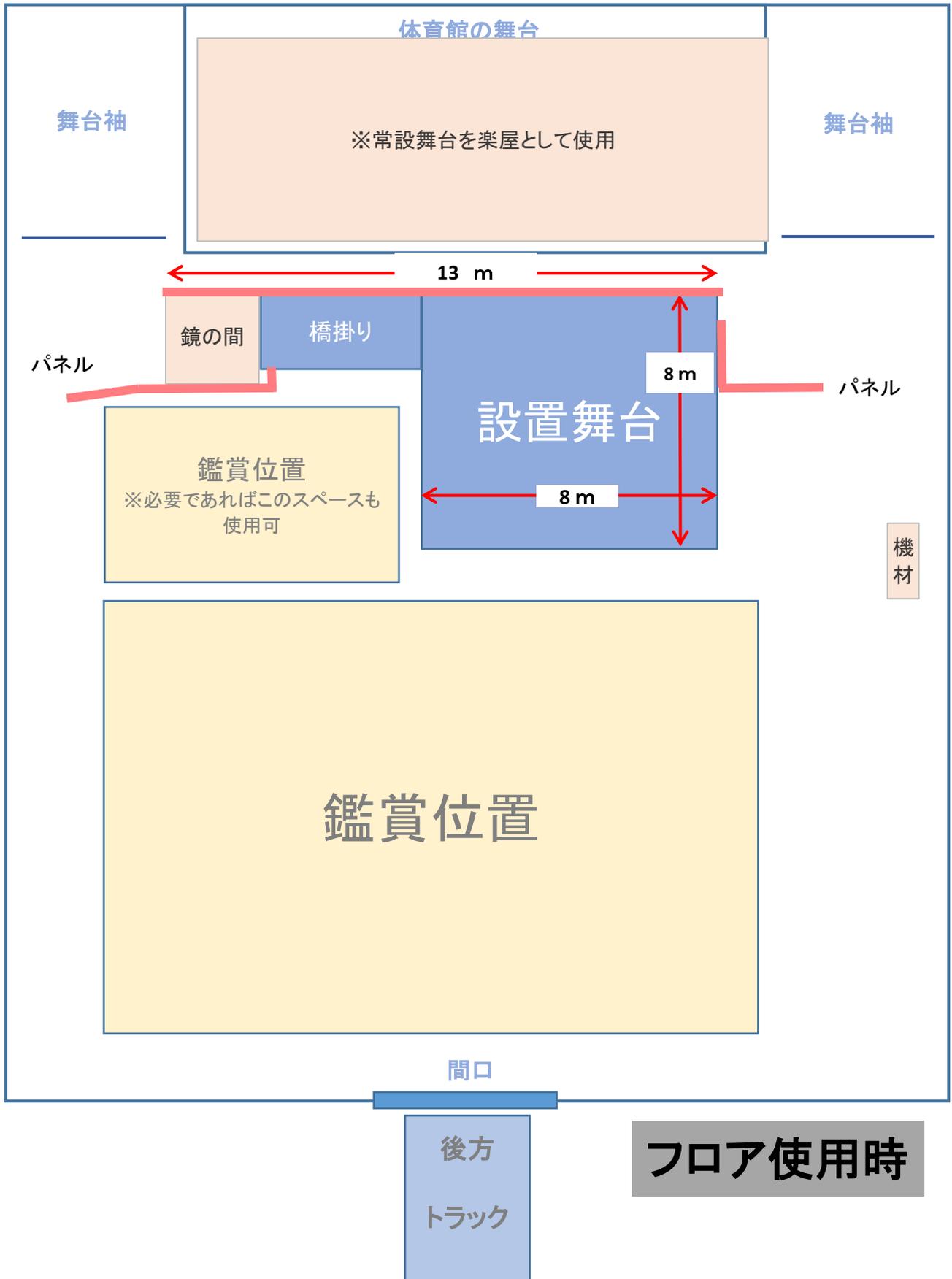
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	916	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック		区分	B区分
公演団体名	公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団				制作団体名	公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	25名が座れる部屋を希望、昼食をとる時のみ使用する。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	大型バス	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 				
		理由			能舞台を搬入するため				
	—	設置階の制限 *			問わない				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		
WSIについて	可	参加可能人数			150名程度まで				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			500名程度(スペースがあれば500名以上も可)				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	8m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要	
	可				舞台袖スペースの条件 *			特になし	
	可				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	舞台上のスクリーンに画像塔影するため。		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	可			ピアノの事前調律 *	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			100A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

舍利しゃり

第一部

絵本語り「舍利」

能のうの絵本えほん「舍利しゃり」（文ぶん・片山清司かたやまきよし 絵え・小田切恵子おだぎりけいこ）の絵えをスクリーンに映うつし、絵本えほんの朗読ろうどくをします。後あとで能のうを鑑賞かんしょうする時ときの大きな手引きてびきになります。

第二部

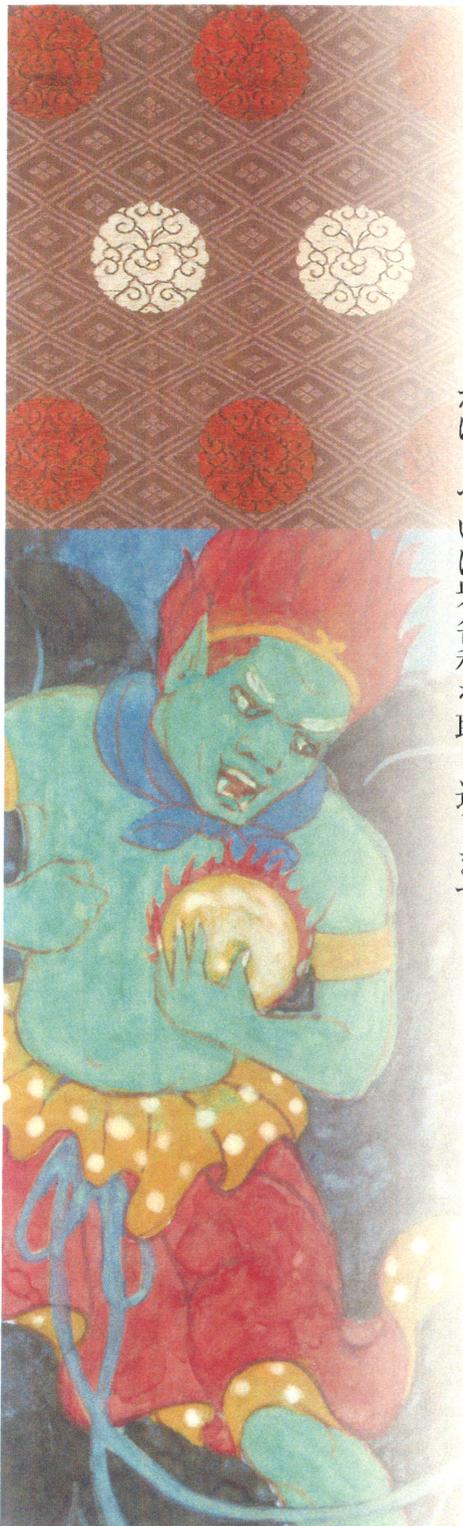
謡うたいと仕舞しまいの発表はつぴよう

みなさんの代表だいひようが、舞台ぶたいで謡うたいと仕舞しまいを発表はつぴようします。プロの能楽師のうがくしとの共演きようになります。

第三部

能のう「舍利しゃり」

出雲いずもの国くにから都みやこへ出てきた僧そうが、お釈迦様しゃかさまの牙舍利げしゃり（お釈迦様しゃかさまの歯は）をおさめていることで名高なだかい泉涌寺せんにゅうじにやってきます。僧そうが舍利しゃりを拝おがんで感激かんしていると、近ちかくに住すむという男おとこがやってきて、一いっしょ緒しょに拝おがみます。そして、仏舎利ぶつしゃりのありがたいいわれを語かたっていましたが、にわかそらに空そらがかき曇くもり、お堂どうの上に雷光らいこうが走り出し、その男おとこは、いつのまにか鬼おにの姿すがたとなり「自分じぶんは、昔むかしお釈迦様しゃかさまの歯はを盗ぬすんでにげた足疾鬼そくしつきである」といつて牙舍利げしゃりを奪うばい天井てんじょうを蹴破けやぶって虚空こくうへ飛び去なります。僧そうは、寺男てらおとこから守護しゅご神しんの韋駄天いだてんの話はなしを聞き、二人ふたりで祈いのると韋駄天いだてんがあらわれ、足疾鬼そくしつきを追いかけ、ついに牙舍利げしゃりを取り返かえします。



能楽とは…

能楽は今から約六〇〇年前の室町時代に完成されました。音楽劇の「能」と喜劇の「狂言」を合わせて「能楽」と呼びます。

世界で一番古い歴史を持つ舞台芸術で、歌と舞と音楽からなる劇で日本の中世に生まれたミュージカルです。演目は二五〇曲以上有り今でも新作能などが作られています。

今回、見ていただく「舍利」は室町時代の軍記物「太平記」から取材をしたものです。

能楽は二〇〇一年、ユネスコの世界無形文化遺産に指定されました。

お囃子とは…

笛、小鼓、大鼓、太鼓の四つの楽器からなる能のオーケストラです。笛は、合奏をしないため一本一本音程が違います。

小鼓と、一回り大きな大鼓は桜をくり抜いた胴に、馬皮でできた皮を麻紐で組み立てます。同じ構造ですが性格は正反対に作られ、乾燥した堅い音をだす大鼓に対して、小鼓は柔らかい音を出します。

太鼓は牛の皮で出来た二枚の皮を、ケヤキの胴にかけ麻紐で組み立て、台に置き二本のバチで打ちます。

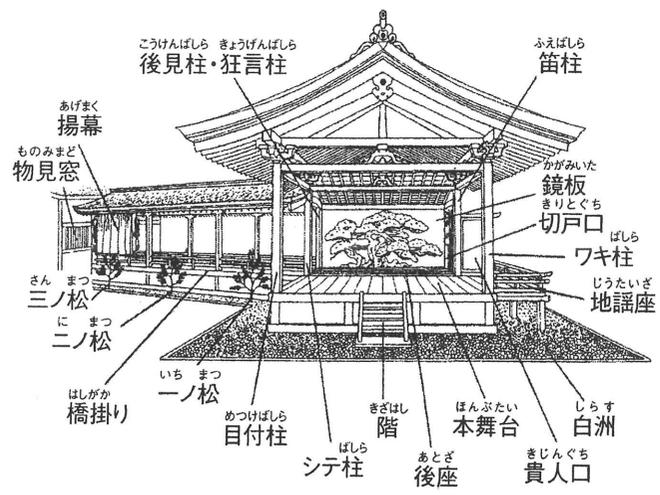
楽譜は縦書きで、かけ声によって拍数と気合いなどの連絡を取り合うように出来ています。

舍利について

この絵本の題材となった能「舍利」は、京都の東山山麓に今もある泉涌寺が舞台となっています。そこは一番大切な、お釈迦様の牙舍利（お釈迦様の歯）が安置されています。

釈迦入滅ののち、そのことをしのび、あとを慕う人々はもちろん、世に継ぐ者も、お釈迦様の骨はいくつにもいなくなり、小さく小さく分けられてゆき、ついには米粒ほどになってしまいました。お寿司のご飯を「舍利」と呼ぶのはここからきています。泉涌寺の舍利は大きさもさることながら、お釈迦様が法話をなさるそのお口に近い「歯」ということもあって、一等大事なお舍利として信心を集め、大切にされてきました。

能楽の舞台



VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野□	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, (邦楽), 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

(A区分のみ) ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ (なし)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ あーとういる 有限会社アートウィル		
代表者職・氏名	代表取締役 平沼仁一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒158-0082 東京都世田谷区等々力 5-15-3 (最寄り駅/東急大井町線「尾山台」駅)		
電話番号	03-5707-1711	FAX番号	03-5707-1712
ふりがな 公演団体名	とうきょうだけきだん 東京打撃団 (和太鼓)		
代表者職・氏名	団長 平沼仁一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒158-0082 東京都世田谷区等々力 5-15-3 (最寄り駅/東急大井町線「尾山台」駅)		
制作団体 設立年月	1993年 3月		
制作団体 組織	役員 代表取締役社長 平沼仁一 取締役 村岡 (平沼) 尚子	団体構成員及び加入条件等 代表兼構成演出 1名 / 制作&経理 2名 篠笛奏者兼音楽監督 1名 / 太鼓奏者 6名	
事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	村岡 尚子
経理処理等の 監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	服部 大次郎

<p>制作団体沿革</p>	<p>1992年に代表の平沼仁一がフリーのプロデューサーとして独立。友人からの依頼により浦和のギャラリー『楽風』の開設プロデュース&イベント企画を始め、同時に前職（和太鼓集団『鼓童』制作）を見込まれて、篠笛奏者や和太鼓奏者にマネージメントを頼まれるようになる。</p> <p>翌1993年に法人格を取得。 制作に村岡尚子（ホールのオープニング・コンサートなど多ジャンルコンサートの企画制作を前職とする）が加わり、有限会社アートウィルとして登記。</p> <p>和太鼓を中心としたコンサートやイベントの企画制作・舞台協力及び和太鼓奏者や篠笛奏者、尺八奏者、三味線奏者など、純邦楽分野の個人の実演家への制作面での支援・リサイタルの企画制作等を行うほか、必要に応じて和太鼓関連の楽器レンタル（=イベント等での和太鼓調達など）、実演家派遣も開始。</p> <p>1995年には和太鼓集団『東京打撃団』を結成し、現在に至るまでマネージメント事務所として公演活動を展開中。</p> <p>2002年から10年間、和太鼓の啓蒙・普及・育成活動の一環として「東京国際和太鼓コンテスト&ワークショップ」の統括プロデュース業務に携わる。審査員に、石井眞木・山本寛斎氏（その後他界）、磨赤兒・高田みどり氏、講師に齋藤孝氏他を迎えるなど、広い視野で和太鼓界全般のグレードアップを牽引すべく尽力するほか、川崎市内小学校等にて継続的に小学生に太鼓指導も行っている。</p> <p>2014年、法人登記簿謄本の「目的」項目を実務内容に合わせて修正。 和太鼓集団『東京打撃団』のマネージメントを中心に、平沼代表の、太鼓界における幅広い人脈を活かして、多角的に和太鼓の演奏活動の継承、新境地開拓、および後進の育成に貢献している。</p>
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>国立劇場 第二回伝統音楽鑑賞教室 石川県高文連文化教室（H29/4 公演・H28/2 公演・H27/2 公演・それ以前 5 公演） 長野県北信地区&中信地区高等学校芸術鑑賞会（14 公演） ひたちなか市芸術鑑賞会（中学校/7 公演） 横浜かなつくホール事業「神奈川県中学校音楽講座」（4 公演）</p> <p>桐蔭学園中学校・高等学校、和洋九段女子中学校・高等学校、錦城学園高等学校 成城学園中学・高等学校、立教新座中学校、東京家政大学附属女子中学校 日本大学附属第二中学校・日本大学附属第三中学校・日本学園中学校・高等学校 他の単独の私立中学校・高等学校</p> <p>神奈川県立横須賀工業高等学校、都立つばさ総合高等学校 栃木県立大田原女子高等学校、愛知県立小坂井高等学校 埼玉県立吉川高等学校、四日市立四郷高等学校、静岡県立静岡南高等学校 世田谷区立玉川中学校、江東区立第三大島中学校、平塚市立山城中学校 京都府園部町立園部中学校、平塚市立江陽中学校、師勝町立訓原中学校、 江東区立越中島小学校、川崎市立宮崎小学校 他の単独の公立小学校・中学校・高等学校 他</p> <p>※ 小学校では、打撃団メンバーで構成された小編成の別ユニット名でも活動。</p>

特別支援学校における公演実績	大田区矢口養護学校/福島県立相馬養護学校/東京都立北特別支援学校 他 その他、合同の芸術鑑賞会では養護学校、ろう学校、盲学校等と一緒に参加してdいる。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	△有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://youtu.be/PBQBAQfSiNw DVDも提出します。
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID:無し PW:無し
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京打撃団】

対象	小学生(<u>低学年</u> ・ 中学年 ・ 高学年) ・ <u>中学生</u>		
企画名	和太鼓 東京打撃団公演		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	1) 萬来〔富田和明/作曲〕 2) 焔迅〔横山亮介/作曲〕 3) 輪〔露木一博/作曲〕 ※4) 空透彩〔内藤哲郎/作曲〕……小学校の場合は「 <u>お馴染みの曲のコーナー</u> 」 5) X〔高田淳/作曲〕 6) 《日本の伝統的な祭りの太鼓打法の紹介》 【休憩】 《太鼓体験/発表コーナー》 7) 碧空〔村山二郎/作曲〕 8) 大太鼓〔加藤拓哉/作曲〕 9) 篠笛独奏〔村山二郎/作曲〕～華疾風〔加藤拓哉/作曲〕		
	公演時間 (90分)		
著作権	—	制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる <input type="checkbox"/> 有 <small>(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無</small>
演目概要	<p>◆楽器や伝統的な太鼓打法を紹介しながら、舞台公演で演奏をしている東京打撃団のオリジナル曲を鑑賞していただきます。又、「口唱歌」という昔より慣例の方法にて太鼓のリズムを参加生徒さん全員にその場で覚えて唱えていただきながら(状況によっては、合いの手参加)、会場にいる生徒さんの中から代表で十数名に舞台上で実際に太鼓演奏を体験していただきます。体験より発表演奏を希望される場合には、事前ワークショップで行なった太鼓曲を舞台上で発表します。</p> <p>いずれの場合も、東京打撃団のメンバーが生徒さんの間に入り各種楽器で演奏参加しますので、楽しく賑やかな舞台演奏が出来ます。</p> <p>衣装は、中学校では和の要素を取り入れた現代的オリジナル衣装ですが、まだあまり法被&股引きスタイルに馴染みの薄い小学生に対しては和衣装着用にて演奏します。また、小学校では、子供達が理解し易いお話の仕方でのコミュニケーションを取りながら公演を進めます。</p> <p>【演目】</p> <p>1) 萬来(ばんらい) …かつぎ桶太鼓の動きのある曲で会場後方から登場します。かつぎ桶太鼓は桶太鼓に帯(ストラップ)を付けて肩から提げて動きながらリズムを刻む打法で現在とても人気がありますが、青森県のねぶた囃子等がその源流にあります。そのスタイルにて新たな曲を創りました。</p>		



- 2) 焔迅 (えんじん) … 桶太鼓や締太鼓を組んだセット太鼓を3名で、スピード感のある演奏を行います。「セット太鼓」は最近の和太鼓の舞台では盛んに用いられる太鼓演奏のスタイルですが、「焔迅」ではバチの動きがピストンのようにドンドン加速して行き、低学年の生徒さんも釘付けとなる一曲です。現代的な演奏を楽しめます。



- 3) 輪 (りん) … 1台の長胴太鼓を両面から二人で打つ、八丈島の太鼓等で有名な打法をアレンジした横打ち曲です。高めの×台に乗せて演奏します。二人の打者の持ち味を生かした掛け合いが見所です。



- ※4-1) 空透彩 (くうとうさい) … 締太鼓、宮太鼓、桶太鼓、チャップパによる座奏アンサンブル曲で、それぞれの楽器の音を大切にしながら複雑なリズムを組み合わせた、太鼓の新しい可能性を追い求めた曲です。

(中学校公演のみ)

- ※4-2) お馴染みの曲のコーナー…アニメ『もののけ姫』のテーマ曲をお話しを交えながら篠笛で演奏します。日本古来の楽器で奏でる、お馴染み曲の音色体験に加え、途中から舞台袖にて太鼓打ちが鳴り物をならし、楽器が加わる事で奥行きと情緒感のある演奏となることを実感してもらいます。

(小学校公演のみ)

- 5) X (くろす) … ガーデニング用の鉢他を使用した創作太鼓の、軽妙なタッチの楽しい演目です。ショートコント的な動きを入れて会場の雰囲気をやかにしながら(低学年の子供達の笑い声を場に合せて受けながら)、早技のバチ捌きも楽しめる曲です。自分達で創った楽器でも舞台上げることが出来る事にも気付いてもらえたら嬉しいです。



6) 《日本の伝統的な祭りの太鼓打法の紹介》

東京都三宅島に伝わる『神着の木遣り太鼓（通称『三宅太鼓』）と青森県の『登山囃子』（『下山囃子』）、そして埼玉県の『秩父屋台囃子』の三つのお祭りの太鼓打法の簡単な解説を、実演と楽器の紹介を行ないながら進行します。和太鼓の公演で使用される主な楽器はここで紹介出来ます。

【休憩6～7分】

《生徒による太鼓体験 or 発表コーナー》

色々な太鼓打法をご紹介した後で、トイレ休憩を挟み、生徒さんに実際に太鼓を叩いていただきます。

「口唱歌」で太鼓のリズムを生徒さん全員にその場で覚えて唱えていただきながら（状況により、合いの手応援参加の場合も有）、その全員の合唱の応援の中で12名～18名程度の生徒さんに舞台に出て実際に太鼓を叩いていただきます。

事前ワークショップに参加した生徒さんの中から代表者を選ぶ場合には発表会形式にて、より多くの生徒さんに太鼓に触れて貰う事を主にする場合には体験形式にしますので、学校側の希望に応じて行ないます。

尚、楽器数などが可能な範囲で発表の生徒さん数を多めにする事も可能です。また、和太鼓部がある学校では、日頃生徒さんが練習している演奏内容を取り入れながら発表出来るようにしますので、自信を持って楽しく出来、今後の練習にもプラスの発表体験になると思います。

（※体験者への準備運動を兼ねた、生徒全員でのストレッチコーナー有）

- 7) 碧空（へきくう）…篠笛のメロディーに乗せて、タイゴング、トーラと太鼓で奏でる叙情豊かな美しい曲です。この曲で使用する「タイゴング」と「トーラ」も、各音階を持つサイズの違う単体の打楽器を組み合わせるとメロディーを奏でられるように我々が創意工夫した楽器です。和太鼓奏者がアジアの金属打楽器で日本の情緒を表現します。



- 8) 大太鼓…迫力ある大太鼓（平胴）の演奏です。直径1m近い大太鼓を、表打ちと裏打ち（=地のリズムを刻む）の2名で演奏します。和太鼓の特徴である「身体で体験出来る音」を一番感じる事が出来る演目です。



9) 笛独奏～華疾風 (はなはやて) …日本の繊細な情感を表現する篠笛の演奏に続き、和太鼓奏者全員による大編成の組太鼓アンサンブルをご披露します。演奏をしながらフォーメーションを変えて行き、最後では舞台前面横一列に太鼓を並べて連打する、とても躍動感ある華やかなフィナーレ曲です。



演目選択理由

大小様々な太鼓を使用し、大音響から繊細な演奏まで、日本の伝統楽器である和太鼓というものが、比較的単純なリズム楽器であるのにもかかわらず、多彩な表現ができることを感じてもらえるよう、横打ち/伏せ打ち/座奏(中学のみ)/セット太鼓等色々な打法と編成(=楽器の組み合わせ)の演目を散りばめました。又、日本全国に代々伝わってきた伝統的な打法から特徴も人気もある代表的なもの(秩父屋台囃子/神着の木遣り太鼓/登山囃子他)を選択して紹介し、改めて私たちの根源にある日本的なリズムとその味わいや魅力に振れて温故の大切さを、又、それらを元に発展して来た現代的な打法やリズム等が加わる事により、日本の伝統楽器やそれらを使用した演奏が過去だけのものではなく、過去から現代に繋がり、いつの時代にも新たな要素や工夫が加わったりすることにより、各時代に活着していること(知新)も伝えたい演目となっています。

児童・生徒の共演、参加又は体験の形態

児童・生徒さんの本公演への参加は2種類の方法から選択できます。いずれも本公演中盤の《伝統的な太鼓打法の紹介》の後に、生徒さんの代表12~18名にステージに上がっていただいて、和太鼓を叩いて東京打撃団のメンバーと一緒に演奏をしていただきます。

1) 発表会形式

事前ワークショップでは、福井&石川県に伝わる「三つ打ち」のリズムを元にした曲で太鼓の演奏を体験していただきますが、その太鼓演奏の練習の成果を、生徒さんに本公演で発表していただきます。

公演当日も生徒さん全員による口唱歌練習時にリズムの復習が出来るようにいたしますし、東京打撃団メンバーも生徒さんの間に入って、生徒さんが自信を持って演奏出来るよう誘導、共演いたします。

事前ワークショップを、より進展させたい学校に向けています。

(※本公演当日に予めリハーサルを希望される場合には調整いたします。)

	<p>2) 体験形式</p> <p>より多くの生徒さんに太鼓を体験してもらいたいと考えている学校に向いています。事前ワークショップに参加した生徒さんでも構いませんが当日初めて太鼓に触れる生徒さんも参加可能で、秋田県の「西馬音内盆踊り」の太鼓リズムを口唱歌で覚えながら舞台に出て実際に太鼓を体験していただきます。東京打撃団メンバーがバチの持ち方や構え方なども指導しながら一緒に叩きます。また生徒さん全員による口唱歌も同じように行ないます。</p> <p>どちらの形式でも、舞台上がれない生徒さんには、口唱歌 or 手拍子にて一緒にリズムを刻むか合いの手応援かで参加していただき、会場全体が一体感を持てるようにしたいです。</p>		
出 演 者	<p>笛&和太鼓 ……村山二郎 和太鼓……田川智文・加藤拓哉・横山亮介・露木一博・佐藤晃弘</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出 演 者： 6 名 ス タ ッ フ： 2 名 合 計： 8 名</p>	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 2 t ~ 2 t ロ ン グ 車 長 5 ~ 6 m 台 数 1 台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(4 時間程度) <table border="1" data-bbox="389 936 1430 1016"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9時</td> <td>9時~12時30分</td> <td>13時30分~15時</td> <td>6~7分</td> <td>15時~16時30分</td> <td>16時30分</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	9時	9時~12時30分	13時30分~15時	6~7分	15時~16時30分	16時30分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
9時	9時~12時30分	13時30分~15時	6~7分	15時~16時30分	16時30分													
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	120名(1学年)程度まで。																
	本公演	850名程度まで。会場(体育館)の広さによる。																
ワークショップ実施形態及び内容	<p>事前のワークショップでは、太鼓演奏のデモンストレーションを交えながら、楽器の紹介やバチの持ち方などの説明をいたします。 (生徒さんは床に直座り。)</p> <p>その後、身体をほぐすためのストレッチ等を行ってから中くらいの大きさの宮太鼓の伏せ打ち(床に置いた太鼓台の上に、太鼓の打面を上にしてセットし、上から打ち降ろして演奏する形態)をメインとしたシンプルな打法にて、多くの生徒さんに実際に太鼓を叩いていただきます。 (参加生徒数は1クラス~1学年まで応相談。)</p>  <p>参加者全員立って太鼓毎に列をつくり、一区切りのリズム毎に、ドンドン交代して何度も順番が巡ってくるようにしながら、太鼓という楽器になるべく多く親しんでいただけるように実際に叩ける時間を多く取ります。 バチは生徒さん間で次々バトンして行き、コミュニケーションを取りながら楽しく体験できるようにします。</p>																	

色々な一区切りのリズムを何種類も体験しながら繋いでいくと、いつの間にかひとつの曲（「三つ打ち」を元にした曲）となっており、最後には交代で舞台発表者と観賞者の立場で今まで叩いて来たものを発表し合います。
（※参加生徒数に応じてグループ分けします。）

発表する生徒さんには、舞台人になったつもりで最初の礼から形式的な動きを大切にしたバチ構えまでの流れ～演奏～演奏後のバチ納めと最後の礼まで気持ちを引き締めて演奏するように指導し、鑑賞する生徒さんには拍手で演奏者を迎え、演奏を盛り上げ、演奏した友達の頑張りを称えることにより演奏に参加して貰いつつ、今まで自分も叩いていた演奏内容を客観的に観てもらいます。

※本公演の生徒さん参加コーナーにて、事前ワークショップに参加した生徒さんの発表（東京打撃団メンバー助演）を希望される学校においては、この段階で12～18名の生徒さんを、自主性を重んじながら選び、その生徒さんだけで1回演奏を披露する時間を設ける事も出来ます。（但し、ワークショップの時間が少ない場合を除く。尚、本番までの練習のために映像をご希望でしたら、この部分のみビデオ収録可能です。）

最後に再び全員でストレッチを行ない、その後に生徒さんの感想を聞いたり、質問に答えたりします。

- 上記の流れを進行する中で、生徒さんの演奏休憩を兼ね、「モンゴルの草原で太鼓の音がどの位遠くまで聞こえるか実験してみた話し」などの太鼓に纏わる体験話を挟んだり、太鼓打ちによるミニ演奏披露を挟んだりいたします。

ワークショップ
実施形態の意図

和太鼓の基本的なことを押さえながら、太鼓演奏の高揚感や楽しさの体感を通して、伝統楽器としての「和太鼓」をより身近に感じていただきたいです。和太鼓に興味を持ち好きになって貰うことが、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上にとって、とても大切だと考えております。

そして、ワークショップを通して、和太鼓の曲は色々なリズムの組み合わせにより成り立っていることに改めて気づき、今後のリズム遊び（遊びの中での上達）や打楽器演奏のほか、将来の創作意欲に繋がれば嬉しく思います。

また、説明を聞いているだけでなく実際に沢山叩くことにより、太鼓演奏が身体全体を使って演奏すること、バチで打った反動が大きいこと、張られた皮の伸びが大きな振動を起こし大きな音が出ること等楽器への理解も深まり、演奏鑑賞への感度も高まります。

本公演での東京打撃団の演奏も、ワークショップで使用したのと同じ楽器を使って演奏を行ないます。演奏者も事前ワークショップで顔なじみとなっているメンバーが出て来ます。発表形式での演奏も体験済みとなりますので、本公演では、より身近な気持ちで鑑賞し、緊張し過ぎないで共演や体験が出来る事と思われれます。

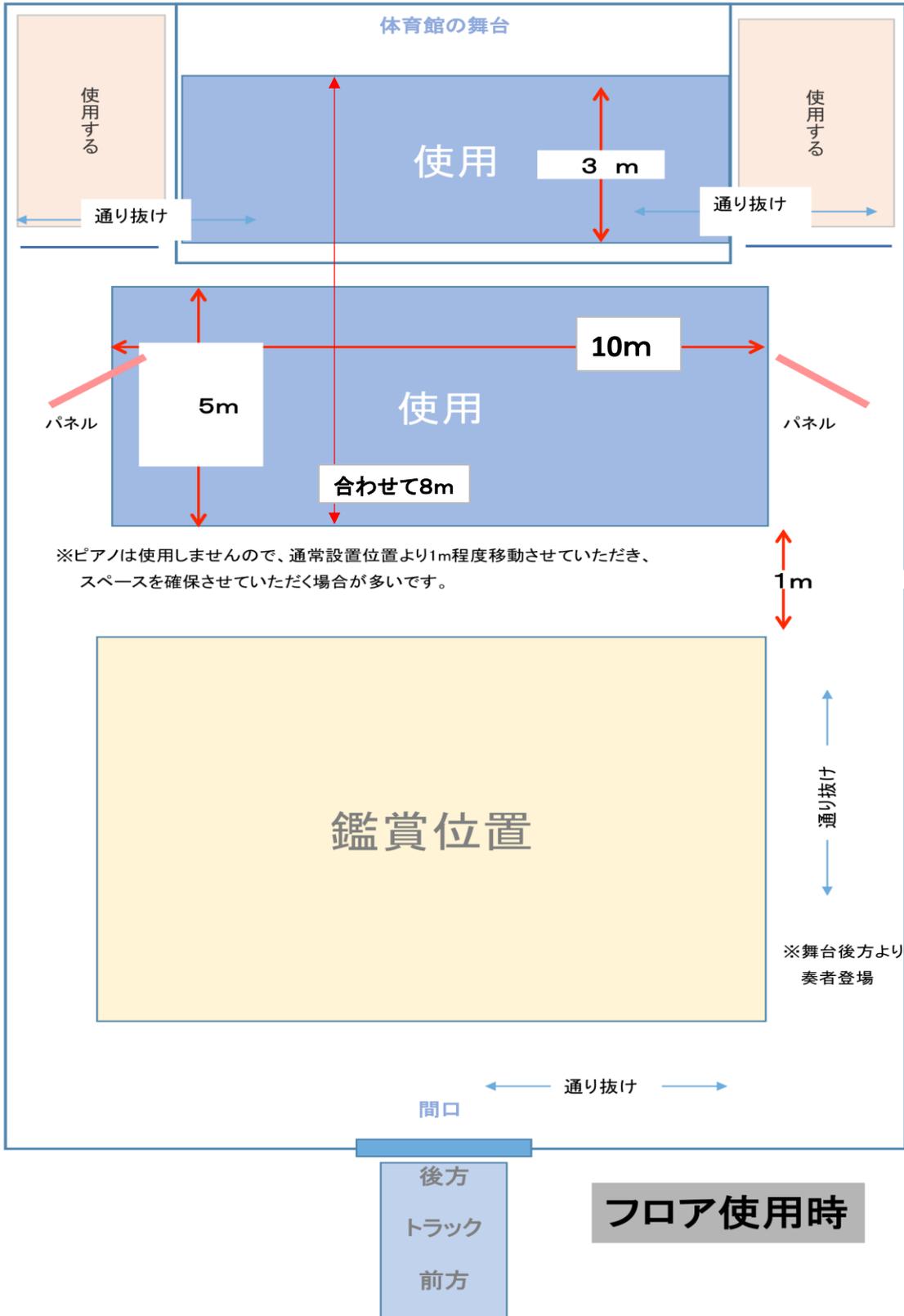
特別支援学校での実施における工夫点	<p>和太鼓は身体で感じることの出来る音楽ですので、鑑賞やワークショップ自体は大きな変更はしなくても問題ないと思っています。ただ、事前に学校側からの要望や生徒さんの状況などをお伺いし、状況に合わせて、特定の奏法の紹介や生徒さんによっては難しそうな体験の代わりに、分かり易い太鼓の紹介や体験とし、音圧を体感していただきながら、太鼓の魅力を味わっていただけるようにアレンジを加えます。</p>
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1106	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	東京打撃団(和太鼓)			制作団体名	有限会社 アートウィル				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数*	1室	条件	体育館に近く、カーテンのある部屋が希望です。							
搬入について	不可	来校する車両の大きささと台数*			2トラック	1台	パン	2台				
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック							
	可	搬入車両の横づけの要否*			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			10m以内							
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 							
		理由			<ul style="list-style-type: none"> ・大きくて重い太鼓群を搬入するため。 							
	可	設置階の制限*			エレベーターの設置等があれば2階以上も可							
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1m以上が望ましい	高さ	2m位						
WSIについて	可	参加可能人数			120名(1学年)程度まで。							
	可	学年の指定の有無*			なし	指定学年*	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			850名程度まで。会場(体育館)の広さによる。							
	可	舞台設置場所*			ステージ上・フロアの両方							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	10m程度	奥行	8m程度	高さ	3m以上				
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保*			要				
	不可				舞台袖スペースの条件*			袖に荷物が少ない状態(要・スペース)				
	—				緞帳*	不要		パトン*	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否*			要	理由	太陽がまぶしい時のみ遮光					
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動*	要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。						
	—			ピアノの事前調律*		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可							
	—	公演に必要な電源容量			※主幹電源の必要容量							
	その他特記事項											



搬入間口について	幅	1m80cm (最低0.9m)	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

とうきょうだげきだん
東京打撃団

けっせい ねん とうきょう ちゆうしん かつどう わだいのこ にほん でんとうぎ
結成をして24年となる、東京を中心に活動している和太鼓グループです。日本の伝統的
なたいこのリズムを大切にしながら、自由で新しい、そしてどこか懐かしい舞台を心がけています。
かつどう にほん 活動は日本ばかりでなく、アフリカやアジア、ヨーロッパ、カリブ諸国、メキシコなど海外
でも公演ツアーをしています。それ以外にも、お芝居やダンスの公演に曲を提供したり、舞
たい しゅつえんしゃ たいこ しどう えいが しゅつえん おこな
台の出演者に太鼓の指導をしたりもします。映画にも出演したことがあります。フランスで行
われたサッカーワールドカップの閉会式での演奏、ドイツの世界博覧会やロシアで行われた
にほんぶんか しゃんはいばんぼく えんそう た いま にんぎ
日本文化フェスティバル、上海万博などでも演奏しました。その他、今人気のあるダンスと
うた ぜんこく たいこ えんそう さんか
歌のグループ「エグザイル (EXILE)」の全国ツアーに太鼓の演奏で参加したりもしました。

ホームページ <http://dagekidan.com>



「国際音楽の日」に
つなぐ

し がつついたち こくさいおんがく ひ
知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~
ねん ようせい せつりつ こくさいおんがくひょうぎかい かいぎ やくとし ねん
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年か
まいとし がつついたち せかい ひとびと おんがく つう たが なかよ こうりゅう ふか
ら毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために
こくさいおんがく ひ
「国際音楽の日」とすることにしました。
にほん ねん まいとし がつついたち こくさいおんがく ひ さだ
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れいわ にねんど
令和二年度
ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-

こころとからだ
躍動する、
日本の太鼓の響き



とうきょうだげきだん

東京打撃団

TOKYO DAGEKIDAN

わだいのこ
和太鼓コンサート
ほうがくこうえん
邦楽公演

ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」



わ くに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこうちゅうがっこう
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校などに
こうえん こども すく ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい
おいて公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会
え こども はっそうりよく
を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション
のりよく いくせいしょうらい けいじゆつか いくせい こくみん げいじゆつかんしょうのりよく
能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の
こうじょう ちもてき
向上につなげることを目的としています。
じぜん こども
事前のワークショップでは、子供たちに
じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな
実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演では、できるだけ子供たちにも
じつえん こども
参加してもらいます。



演 目

1 萬来

青森県のねぶた囃子などで使われている「かつぎ桶太鼓」。日本中に広まった打ちながら自由に動き回れるこのスタイルでオリジナル曲を創りました。

どみだかすあき/さつきよく
(富田和明/作曲)

5 X

ガーデニング用の鉢と木の板を使用して自分たちでつくった楽器で演奏します。軽妙なタッチの楽しい曲となりました。(高田淳/作曲)

9 篠笛独奏～華疾風

繊細な情感を表現する日本の伝統楽器「篠笛」の単独演奏に続き、多人数による組太鼓アンサンブルとうねりを楽しんでもらう「華疾風」という曲を演奏します。演奏しながら太鼓の組み合わせを変化させ、たたみかけるように音を重ねて行きます。大編成で迫力のある、「一気呵成」の音をお楽しみ下さい。

しのぶえどくそう：むらやまじろう、はなはやて：かとうたくや/さつきよく
(篠笛独奏：村山二郎、華疾風：加藤拓哉/作曲)

「太鼓について」

日本の太鼓は、古典芸能などの伴奏楽器として演奏されて来ました。太鼓だけで演奏される「組太鼓」はまだ誕生して約50年という新しい演奏スタイルです。

なぜ私たちは太鼓に惹かれるのでしょうか。それは太鼓の音がどこか懐かしい気持ちを起こさせるからかも知れません。また、わくわくとする感情も湧き上がってきます。音が心の奥深いところに響いているような気がします。

演奏スタイルも様々な組み合わせが生まれています。横打ちや伏せ打ち、座奏、観客に背を向ける背面打ち、低い姿勢のスタイルや太鼓を足で挟んで力強く打つ、座った姿勢など。それぞれリズムやバチ捌きに密接に結びついていて、機能的で美しい姿です。

日本の多様なリズムやその演奏スタイルを比較しながら、私たちの演奏をお楽しみ下さい。

2 焔迅

パチの捌きがエンジンのピストンのように加速していきます。「セット太鼓」演奏と呼ばれる、音の組み合わせとスピード感ある現代的な演奏が持ち味です。

よこやまりよすけ/さつきよく
(横山亮介/作曲)

6 日本の伝統的な祭りの太鼓打法の紹介コーナー

登山囃子と下山囃子(青森県岩木山)/ 秩父屋台ばやし(さいたまけん) かみつき きや たいこ(とうきょうとみやげじま) 囃子(埼玉県)/ 神着の木遣り太鼓(東京都三宅島)の解説を交えて演奏します。

じっさい たいこ たいけん(はつびょう) として実際に太鼓を体験(発表)してみましよう。

3 輪

八丈島の太鼓などで有名な、1台の長胴太鼓を両面から打つスタイルの曲です。2名の打者の持ち味を生かした掛け合いが見所です。(露木一博/作曲)

7 碧空

アジアの打楽器を取り入れた曲です。タイのゴングと中国の金属楽器「トーラ」と篠笛と太鼓を組み合わせ、叙情あふれる曲に仕上げました。

むらやまじろう/さつきよく
(村山二郎/作曲)

4 おなじみの曲のコーナー

童謡やアニメの曲などから演奏します。さて、どんな曲が飛び出すか？

みんなの知っている曲だといいですね。

8 大太鼓

直径1m近い大太鼓を表打ち、裏打ちの二人で演奏します。深く響く重低音を身体全体で感じて下さい。(加藤拓哉/作曲)

「太鼓の種類」



ながどうだいこ
長胴太鼓
みやだいこ い けやき
宮太鼓とも言います。櫛などの木材を削り抜き両面に皮を張り、鉄を打って仕上げます。太鼓の中で最も力強い音を響かせます。



おけどうだいこ
桶胴太鼓
ふるおけ すぎ
風呂桶などのように、杉やヒノキなどの板を張り合わせた寄木で胴を作り、鉄の輪で張った皮を細いロープで両側から締めています。軽いのので肩で担ぐ音の高低が調整できます。



つけしめだいこ
附締太鼓
ちよつけい たいこ
直径30cm くらいの太鼓で、みやだいこ どうよう けやき 木材を削り抜いた胴に、鉄の輪で張った皮を太いロープやボルトで強く締め上げたものです。とても甲高い音が出ます。



かね ちやっぱ
鉦・チャッパ
たいこ まる はや
太鼓ではありませんが、祭り囃子などで太鼓と一緒に使われる金属製の打楽器です。太鼓に負けない高い音が出るので、リズムのスピードをリードします。

とうきょうだげきだん

東京打撃団

1995年東京を拠点に旗揚げした和太鼓グループです。従来のスタイルや慣習にとらわれず、新しい感性で民俗芸能のリズムを取り入れた、懐かしくて、新しい太鼓の世界を表現しています。劇場での公演を中心に、イベントや映画出演(野村萬齋主演「のぼうの城」など)、演劇やダンスの舞台へ楽曲を提供するなど幅広く活動しています。また、アーティスト等への太鼓指導も行っています。

現在までにフランス・アフリカツアー・ヨーロッパツアー、東南アジアツアー、カリブ諸国ツアー、メキシコツアーなどを行いました。FIFAワールドカップサッカー・フランス大会の閉会式、ハノーバーEXPO(ドイツ)、ロシアでの日本文化フェスティバルや上海万博でも演奏し、エグザイル(EXILE)全国ツアー他にも参加演奏したりしました。

ホームページ <http://dagekidan.com>



国際音楽の日について

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

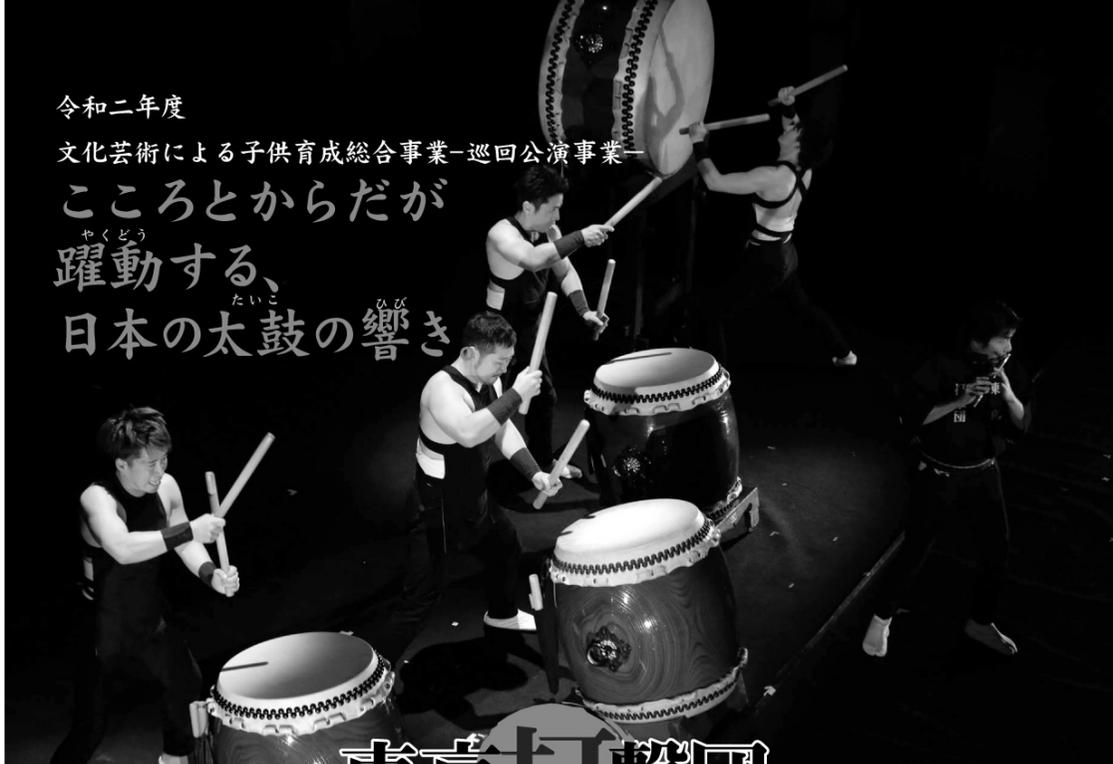
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和二年度

文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-

こころとからだ
やくどう
躍動する、
日本の太鼓の響き
たいこ
びび



とうきょうだげきだん

東京打撃団

TOKYO DAGEKIDAN

和太鼓コンサート 邦楽公演

「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」



我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校などにおいて公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

演 えんもく 目

1 萬来

青森県のねぶた囃子などで使われている「かつぎ桶太鼓」。日本中に広まった打ちながら自由に動き回れるこのスタイルでオリジナル曲を創りました。

(富田和明/作曲)

5 X

ガーデニング用の鉢と木の板を使用して自分たちで創った楽器で演奏します。軽妙なタッチの楽しい曲となりました。(高田淳/作曲)

9 篠笛独奏～華疾風

繊細な情感を表現する日本の伝統楽器「篠笛」の単独演奏に続き、多人数による組太鼓アンサンブルとうねりを楽しんでもらう「華疾風」という曲を演奏します。演奏しながら太鼓の組み合わせを変化させ、たたみかけるように音を重ねて行きます。大編成で迫力のある、「一気呵成」の音をお楽しみ下さい。

(篠笛独奏：村山二郎、華疾風：加藤拓哉/作曲)

「太鼓について」

日本の太鼓は、古典芸能などの伴奏楽器として演奏されて来ました。太鼓だけで演奏される「組太鼓」はまだ誕生して約50年という新しい演奏スタイルです。

なぜ私たちは太鼓に惹かれるのでしょうか。それは太鼓の音がどこか懐かしい気持ちを起こさせるからかも知れません。また、わくわくとする感情も湧き上がってきます。音が心の奥深いところに響いているような気がします。

演奏スタイルも様々な組み合わせが生まれています。横打ちや伏せ打ち、座奏、観客に背を向ける背面打ち、低い姿勢のスタイルや太鼓を足で挟んで力強く打つ、座った姿勢など。それぞれリズムやバチ捌きに密接に結びついていて、機能的で美しい姿です。

日本の多様なリズムやその演奏スタイルを比較しながら、私たちの演奏をお楽しみ下さい。

2 焰迅

パチの捌きがエンジンのピストンのように加速していきます。「セット太鼓」演奏と呼ばれる、音の組み合わせとスピード感ある現代的な演奏が持ち味です。

(横山亮介/作曲)

6 日本の伝統的な祭りの太鼓打法の紹介コーナー

とざんばやし げざんばやし ちちぶやたい
登山囃子と下山囃子(青森県岩木山) / 秩父屋台
ばやし かみつぎ
囃子(埼玉県) / 神着の木遣り太鼓(東京都三宅島)
の解説を交えて演奏します。
そして実際に太鼓を体験(発表)してみましょう。

3 輪

八丈島の太鼓等で有名な、1台の長胴太鼓を両面から打つスタイルの曲です。2名の打者の持ち味を生かした掛け合いが見所です。(露木一博/作曲)

7 碧空

アジアの打楽器を取り入れた曲です。タイのゴングと中国の金属楽器「トール」と篠笛と太鼓を組み合わせ、叙情あふれる曲に仕上げました。

(村山二郎/作曲)

4 空透彩

つけしめだいこ みやだいこ おけどうだいこ
附締太鼓、宮太鼓、桶胴太鼓、チャッパのひとつひとつの音を大切にしながら、複雑なリズムを組み合わせ、太鼓の新しい可能性を追い求めた曲です。

(内藤哲郎/作曲)

8 大太鼓

直径1m近い大太鼓を表打ち、裏打ちの二人で演奏します。深く響く重低音を身体全体で感じて下さい。(加藤拓哉/作曲)

「太鼓の種類」

ながどうだいこ
長胴太鼓

みやだいこ けやき
宮太鼓とも言います。櫂などの木材を削り抜き両面に皮を張り、鉄を打って仕上げます。太鼓の中で最も力強い音を響かせます。

おけどうだいこ
桶胴太鼓

ふるおけ
風呂桶などのように、杉やヒノキなどの板を張り合わせた寄せ木で胴を作り、鉄の輪で張った皮を細いロープで両側から締めつけています。軽いのので肩で担げ、音の高低が調整できます。

つけしめだいこ
附締太鼓

直径30cm くらいの太鼓で、みやだいこ けやき
宮太鼓と同様に櫂などの木材を削り抜いた胴に、鉄の輪で張った皮を太いロープやベルトで強く締め上げたものです。とても甲高い音が出ます。

かね
鉦・チャッパ

太鼓ではありませんが、祭り囃子などで太鼓と一緒に使われる金属製の打楽器です。太鼓に負けない高い音が出るので、リズムのスピードをリードします。